

2023 年度

事 業 報 告 書

および

活 動 報 告 書

2023 年(令和 5 年)4 月 1 日～2024 年(令和 6 年)3 月 31 日



社会福祉法人けやき福社会

(目次)

【1】法人全般

①総括	1-3
②自己評価、虐待防止アンケート	4-7
③振り返り、社会人基礎力チェックアンケート	8-10

【2】各事業所報告

①けやきの家の概要	
ア 総括	11-17
イ 体制等	18
ウ ヒヤリハット、事故報告まとめ	19-24
②輪来工房の概要	
ア 総括	25-29
イ 体制等	30-31
ウ ヒヤリハット、事故報告まとめ	32-35
③第1けやきホームの概要	
ア 総括	36-38
イ 体制等	39
ウ ヒヤリハット、事故報告まとめ	40-42
エ 会議、研修一覧	43
オ その他(にっこりホット)	44-50
④れすばの概要	
ア 総括	51-52
イ 体制	52-57
年齢構成、支援区分、障害種別 利用実績(居宅介護、移動支援)まとめ	
ウ ヒヤリハット、事故報告まとめ	58-59
エ 会議、研修一覧	60
オ その他(多胎児育児支援事業)	61
⑤こんばすの概要	
ア 総括	62-63
イ 会議、研修一覧	63
⑥れすば～さくら館の概要	
ア 総括	64
イ 体制等	65
ウ ヒヤリハット、事故報告まとめ	66
エ 会議、研修一覧	67
オ その他(自己評価表)	68-70
⑦れすば24の概要	71

【2】令和5年度 会計報告

- ①資金収支計算書
- ②事業活動計算書
- ③貸借対照表

2023年度 けやき福祉会事業報告

【1】法人全般

①総括

(1) 輪来工房」の開始

「輪来工房」については昨年度末に無事竣工に至り、令和5年4月5日にオープニングセレモニーを行いました。

また、事業開始につきましては、指定申請の関係で、令和5年7月1日より開所し、19名のご利用者が通っております。

(2) 本部体制

①コロナへの対応

コロナの影響で1月～2月にわたって再度事業所の閉鎖に至りました。

今回もスタッフによるその後の適切なBCPの運用・徹底によりその傷口を最低限に留められたことにより、結果として閉鎖が功を奏したと考えています。

②虐待防止

虐待防止委員会を設置し、令和5年8月に法人スタッフ全職員を対象とした虐待防止研修（愛知県知的障害者福祉協会の動画を視聴）を開催し、虐待及び身体拘束の理解を深めました。

③職場環境

昨年に引き続き、ストレスチェックを実施しました。

引き続き高ストレス者になった職員及び新たに高ストレス者になってしまった職員も見受けられましたので、希望者には面談での聞き取りを行い、その改善を図りました。

ストレスチェックについてはその効果性も踏まえ、引き続き実施していきたいと考えています。

④各種会議の開催

理事長を交えた本部会議を毎月1回、部長課長会議を適宜開催しました。

⑤各種アンケートの実施

サービス評価基準及び虐待防止にかかるアンケートを行いました。（資料別途）

⑥法人及び関係各所からの表彰

前年に引き続き、法人の永年勤続表彰や愛知県及び春日井市各所からの表彰等の手続を行い、職員のモチベーションアップを図りました。

(3) 助成・寄付関係

①寄附金に関する事項

受入先	金額 (件数)
法人本部拠点区分	¥ 1,245,000 (11 件)
けやきの家拠点区分	¥ 50,000 (1 件)
合計	¥ 1,295,000 (12 件)

寄附金を頂いた個人並びに諸団体に厚く御礼申し上げます。

②コロナ対策に基づく補助金等 (いずれも愛知県)

事業名	受入先	金額
燃油価格高騰対策支援金 (ガソリン代補助)	けやきの家	¥ 210,000
	れすぱ	¥ 29,000
	こんぱす	¥ 20,000
	さくら館	¥ 99,000
	輪来工房	¥ 72,000
光熱費高騰対策支援金	けやきの家	¥ 200,000
	ホーム	¥ 406,000
	輪来工房	¥ 20,000
合計		¥ 1,056,000

③愛知県障害児通所支援事業所安全対策事業費補助金 ¥309,560

④日本財団殿より、セレナ e-power の購入に際し助成金を賜りました。

(3) その他

(ア) 理事会、評議員会等

①理事会：4回開催

②評議員会：2回開催

③評議員選任・解任委員会：1回開催

④監査：内部監事監査1回 (R5.6.10)

：行政指導監査2回

(R5.10.4) →春日井市によるこんぱすに対する指導監査 (運営・会計)

(R6.2.28) →春日井市による移動支援に対する指導監査 (運営・会計)

(イ) 各種規程類の改正

① 「定款」改正

② 「就業規則」改正

③ 「給与規程」改正

④ 各事業所「運営規程」改正

令和 5（2023）年度評議員会

開催年月日	出席者 定数	決 議 事 項	理事出席者
R5. 6. 28	4名 7名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 4 年度事業報告（案）について ・ 令和 4 年度会計報告（案）について ・ 生活介護事業所「輪来工房」事業計画（案）について ・ 生活介護事業所「輪来工房」当初予算（案）について ・ 就業規則の改正 ・ 役員の改選について 	山縣紀子 桑田大輔
R6. 3. 26	6名 7名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5 年度補正予算（案）について ・ 令和 6 年度事業計画（案）について ・ 令和 6 年度当初予算（案）について ・ 定款の改正 ・ 就業規則の改正について ・ 運営規程の改正について ・ 給与規程の改正について ・ 役員等退任慰労金規程の創設について 	山縣紀子 桑田大輔 藪下公紀

令和 5（2023）年度理事会

開催年月日	出席者 定数	決 議 事 項	監事出席者
R5. 6. 12	5名 6名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 4 年度事業報告（案）について ・ 令和 4 年度会計報告（案）について ・ 生活介護事業所「輪来工房」事業計画（案）について ・ 生活介護事業所「輪来工房」当初予算（案）について ・ 就業規則の改正 ・ 定時評議員会の招集について 	沖高司
R5. 7. 6	4名 6名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新理事長の選任について 	花井謙造
R5. 2. 16	5名 6名	<ul style="list-style-type: none"> ・ わだちの処分の審議・承認 ・ 輪来工房の裏の駐車場についての審議・承認 ・ 就業規則の改正 ・ 給与規程の改正 ・ 定款の改正 	沖高司 花井謙造
R6. 3. 18	5名 6名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積立金の目的外取り崩しについて ・ 令和 5 年度補正予算（案）について ・ 令和 6 年度事業計画（案）について ・ 令和 6 年度当初予算（案）について ・ 運営規程の改正について ・ 給与規程の改正について ・ 定時評議員会の開催について 	沖高司

②自己評価、虐待防止アンケート

虐待防止のまとめ

最近、新聞等で報道が続いている障害者グループホーム大手の福祉事業会社「恵」では、不正請求や食材費の過大徴収が「経済的虐待」にあたると認定され、一部のホームでは、利用者を怒鳴りつけたりして「心理的虐待」暴行して「身体的虐待」と認定されました。

ここ1カ月の期間でも和歌山・茨城の障害者施設の虐待のニュースが報じられました。

以前「恵」のグループホームに見学に行き、担当者からの説明では接し方や虐待の研修は1年に数回、プログラムとして行っていて、未経験の人でも支援が出来るようになるとの事でした。(ただ毎月、研修をやっても結果は変わらなかったように感じます。)

研修の内容は大事ですが、回数ではなく、福祉会・事業所・支援者それぞれの意識を高めていかないと、どこで起こっても不思議はないと思います。

今年度も虐待研修は行っていきますが、「前と同じ内容だと、つまらないなあ」などではなく、自分たちの支援を振り返る機会になっていけたら、研修の時間も生きてくるのではないかと思います。

2023年度 虐待防止委員長

令和5年度 自己評価チェックシート回答

回答98名にて集計

質問項目	計	%	記入コメント等	
1 利用者さんへの対応、受け答え、挨拶は丁寧に行うよう日々心がけている	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	93 0 3 2 0	94.9% 0.0% 3.1% 2.0% 0.0%	・受け答えについてはなるべく反応しているが、仕事の内容次第では反応できない時がある。また動いてほしい時などは時間をみて声をかけはするが、少々声色が強くなりすぎるため威圧的だと思われるかもしれない。(状況的)利用者さん同士で言いあっている時に止めるためなど)利用者さんの訴えに対してすべて良いと答えられない内容のものもあるため、その場合は「ためです」と否定している。
2 利用者さんの人格を尊重し、接し方や呼称に配慮している	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	87 1 7 2 1	88.9% 1.0% 7.1% 2.0% 1.0%	・時々ちゃん付けで呼んでしまうことがある ・年齢が上がってきたのを考えると、そろそろ「ちゃん」づけは控えたほうが…と思っはいます。 ・時々くん付けで呼んでしまうことがある。 ・その場の状況による ・少しさの言葉がついてしまう
3 声掛けや誘導をする際に威圧的な態度や命令口調で誘っていない	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	89 0 7 2 0	90.9% 0.0% 7.1% 2.0% 0.0%	・受け答えについてはなるべく反応しているが、仕事の内容次第では反応できない時がある。また動いてほしい時などは時間をみて声をかけはするが、少々声色が強くなりすぎるため威圧的だと思われるかもしれない。(状況的)利用者さん同士で言いあっている時に止めるためなど)利用者さんの訴えに対してすべて良いと答えられない内容のものもあるため、その場合は「ためです」と否定している。 ・好き勝手な行動は互いによくないので、場合によっては強く言うこともある ・強い態度が必要もあるため
4 利用者さんに解りやすく伝えるようにしている	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	88 1 7 2 0	89.9% 1.0% 7.1% 2.0% 0.0%	・説明の仕方がへたなこともあります ・自分ではそのつもりでもきちんと伝えられるかは… ・伝えるつもりですが利用者さんが理解できたか不明 ・機会があれば ・伝えるよう努力している
5 利用者さんからの訴えに対して、無視や否定的な態度はとっていない	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	90 0 6 2 0	91.9% 0.0% 6.1% 2.0% 0.0%	・支援の一環として、肯定的無視をすることはあるかなと思います。 ・その場の状況による ・受け答えについてはなるべく反応しているが、仕事の内容次第では反応できない時がある。また動いてほしい時などは時間をみて声をかけはするが、少々声色が強くなりすぎるため威圧的だと思われるかもしれない。(状況的)利用者さん同士で言いあっている時に止めるためなど)利用者さんの訴えに対してすべて良いと答えられない内容のものもあるため、その場合は「ためです」と否定している。 ・あて無視をして、意識を次のことへ向けられるように誘導することがある ・必要に応じて ・機会があれば
6 利用者さん自身が納得して、次の行動に移せるように支援の努力をしている	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	89 0 4 0 0	90.8% 0.0% 4.1% 0.0% 0.0%	・そういった機会が仕事柄ない ・機会があれば
7 個人の記録(日報等)をむやみに広げたりせず、使用後は速やかに元の保管場所に戻している	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	89 2 3 3 1	90.8% 2.0% 3.1% 3.1% 1.0%	・用事はない ・個人ファイルや記録等出さなければいいことがある ・ついあとにしてしまった事がりました
8 職務上知りえた利用者さんの個人情報については、業務外では話をしていない	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	98 0 0 0 0	100.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%	
9 利用者さんのプライベート空間(利用者個室・トイレ・浴室等)に支援等で入室する場合は、必ず声をかけ許可を得てから入っている	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	83 3 6 4 2	84.7% 3.1% 6.1% 4.1% 2.0%	・状況に出合わない ・機会があれば ・その場の状況による ・急いでいる時は声掛けなし ・耳の遠い利用者さんがあり、一声声かけはするが聞こえてはいないため許可という面ではとれていない。その利用者さんにとては強引に入ってきたと思わせているかも。
10 利用者さんの嫌がることを強要したり、嫌悪感を抱かせるような支援は行っていない	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	92 0 3 3 0	93.8% 0.0% 3.1% 3.1% 0.0%	・〇〇さんは入浴したくない、私はなんとか入ってもらえるように伝えている ・気をつけていても、嫌悪感を抱かせてしまう時はあると思います
11 けやき福祉会の倫理綱領・行動規範を守っている	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	91 1 4 0 2	92.9% 1.0% 4.1% 0.0% 2.0%	・ただの生活支援員です ・職員の専門性の部分など自分の実力がおよんでいないことが多々あり感じる
12 危険回避のための行動上の制限が起きた場合は、必ず個別支援計画等に制限のことを記載して、ご家族・後見人に同意を得ている	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	62 3 17 4 12	63.3% 3.1% 17.3% 4.1% 12.2%	・今現在、その様な事案にあった事がないので、答えがありません。 ・行動の抑制を行うほどの事案には直面していない ・行動記録はする機会がない ・ご家族と後見人は私の仕事外だから ・必要な人が居ない ・ただの生活支援員です ・行動上の制限似たことがあった(した)場合、それを報告しても個別支援計画記載されたことがない、またはその事を面談などで話しているのかがわからない。 ・そういった機会が仕事柄ない ・該当する場面に出くわしていないため ・ご家族や後見人の方とはお話しする立場ではないため ・一度もそういった場面になった事がないので ・確認はしている ・これまでに経験がない ・具体的に何を言っているのかわからない ・そのような機会がない
13 ヒヤリ・ハット案件が生じた場合は、必ず記録し上司に報告している	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	84 2 8 4 0	85.7% 2.0% 8.2% 4.1% 0.0%	・時々忘れる ・今現在、その様な事案にあった事がないので、答えがありません。 ・ただの生活支援員です ・そういった機会が仕事柄ない ・離れたところがあったため ・該当する場面に出くわしていないため ・小さなことでも ・確認はしている
14 ある特定の利用者さんに対して、そんな態度・受け答えをしていない	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	94 0 1 3 0	95.9% 0.0% 1.0% 3.1% 0.0%	
15 ある特定の職員に対して、そんな態度・受け答えをしていない	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	95 0 2 1 0	97.0% 0.0% 2.0% 1.0% 0.0%	・自分からは無いが、あきらかに他の職員との対応の差は感じる時がある ・自分なりに仕事をすすめて共に仕事する相手への声かけや指示を怠ったことがあり、2年以上話し合いの場をもたれた。相手からは他の人と自分への態度の差を指摘された。 ・自分のイライラで
16 支援内容について疑問が生じた場合は、積極的にサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者若しくは、サービス提供責任者に相談するようにしている	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	84 2 7 4 1	85.8% 2.0% 7.1% 4.1% 1.0%	・ただの生活支援員です ・疑問を感じたら会議や何があった時に話している ・上司に話す ・スタッフの方にアドバイスを求める事が多い
17 倫理綱領や行動規範に違反した支援をしているスタッフがいた場合は、本人に注意するかサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者若しくは、サービス提供責任者に通報している	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	66 7 16 3 6	67.4% 7.1% 16.3% 3.1% 6.1%	・今現在、その様な事案にあった事がないので、答えがありません。 ・こういった場面には遭遇していない ・責任者が怒鳴ったり職員をけなす言葉を使っていた、本人にとっては怒鳴っていないつもりなのかも知れないがずっと聞える。「そんな事、小学生でもわかるよ」と〇〇さんに言っていた。せっかく希望を持って入職して頂いたのに、タヌな癖ばかり指摘しては育たない、この仕事が好きなら、単年でもサポートをして欲しい。スタッフが許めると他のスタッフの体にも影響する。 ・ただの生活支援員です ・そういった機会が仕事柄ない ・該当する場面に出くわしていないため ・通報するようなスタッフがいないの通報した事がないので ・一声かけはする ・通報、注意の場面がない ・そのような機会がない ・どれが違反かまだ知らないことがあるため ・今迄可憐なスタッフ会ってない
18 精神的ストレスが生じた場合は、休みを申請する環境ができています(と思う)	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	82 5 10 0 1	83.7% 5.1% 10.2% 0.0% 1.0%	・ストレスが生じて休みの申請をしたことがない ・仕事については勤務通りにしています。休んだことがまた罪悪感になる。 ・不調や精神ストレスがかってたとしても人手がないため出勤していた(持病や発熱以外での不調をのぞき) ・人がいない ・よくわからない ・愚りにはできているが自分ではない ・身だしなみはひげをそっていない
19 職員としてのふさわしい言動・身だしなみに心がけている	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	96 1 1 0 0	98.0% 1.0% 1.0% 0.0% 0.0%	
20 職員に落ち度があった場合は、速やかに謝罪し、改善に努めている	①出ている ②出でない ③どちらともいえない ④あてはまらない ⑤記入無し	92 1 2 1 2	94.0% 1.0% 2.0% 1.0% 2.0%	・できることのできないことがある ・ただの生活支援員です

【管理者】令和5年度 虐待防止チェックリスト 回答

8名にて集計

	質問項目	回答	項目計	割合	記入コメント等
規程、マニュアルやチェックリスト等の整備	1 倫理綱領、職員行動規範を定め、職員への周知ができています	ある	8	100.0%	
		ない	0	0.0%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	2 虐待防止マニュアルやチェックリスト等について、職員に周知徹底すると共に活用している	ある	8	100.0%	
		ない	0	0.0%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	3 緊急やむを得ない場合の身体的拘束等の手続き、方法を明確にし、利用者や家族に事前に説明を行い、同意を得ている	ある	7	87.5%	
		ない	1	12.5%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	4 個別支援計画を作成し、適切な支援を実施している	ある	8	100.0%	
		ない	0	0.0%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	5 利用者の家族から情報開示を求められた場合は、いつでも応じられるようにしている	ある	8	100.0%	
		ない	0	0.0%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
風通しの良い職場環境づくりと職員体制	1 職員会議等で情報の共有と職員間の意思疎通が図られている	ある	8	100.0%	
		ない	0	0.0%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	2 上司や職員間のコミュニケーションが図られている	ある	8	100.0%	
		ない	0	0.0%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	3 適正な職員配置ができています	ある	4	50.0%	
		ない	3	37.5%	
		どちらにもあてはまらない	1	12.5%	
職員への意識啓発と職場研修の実施	1 職員への人権等の意識啓発が行われている	ある	6	75.0%	
		ない	2	25.0%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	2 職場での人権研修等が開催されている	ある	4	50.0%	
		ない	3	37.5%	
		どちらにもあてはまらない	1	12.5%	
	3 職員の自己研さんの場が設けられている	ある	7	87.5%	
		ない	1	12.5%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
利用者の家族との連携	1 利用者の家族等と定期的に連絡調整が図られている	ある	8	100.0%	
		ない	0	0.0%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	2 利用者の家族と支援目的が共有できている	ある	8	100.0%	
		ない	0	0.0%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	3 職員として利用者の家族から信頼を得られている	ある	8	100.0%	
		ない	0	0.0%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
外部からのチェック	1 事業所の監査において、虐待防止に関わるチェック等を実施している	ある	7	87.5%	
		ない	1	12.5%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	2 地域ボランティアの受け入れを積極的に行っている	ある	3	37.5%	
		ない	5	62.5%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	3 実習生の受け入れや職場見学を随時受け付けている	ある	6	75.0%	
		ない	2	25.0%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
苦情、虐待事案への対応等の体制整備	1 虐待防止に関する責任者を定めている	ある	8	100.0%	
		ない	0	0.0%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	2 虐待防止や権利擁護に関する委員会を法人又は事業所内に設置している	ある	8	100.0%	
		ない	0	0.0%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	3 職員の悩みを相談できる相談体制を整えている	ある	7	87.5%	
		ない	1	12.5%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	
	4 事業所内で虐待事案の発生時の対処方法、再発防止策等を具体的に文章化している	ある	5	62.5%	
		ない	3	37.5%	
		どちらにもあてはまらない	0	0.0%	

【職員】令和5年度 虐待防止チェックリスト 回答

SSJを除く90名にて集計

		質問項目	回答	計	割合	特記(記入コメント等)
利用者への体罰など	1	利用者に対して殴る、ける、その他けがをさせるような行為を行ったことがある	よくある	0	0.0%	
			時々ある	0	0.0%	
			ない	87	96.7%	
			記入なし	3	3.3%	
2	利用者に対して、身体的拘束や長時間正座・直立等の肉体的苦痛を与えたことがある	よくある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	87	96.7%		
		記入なし	3	3.3%		
3	利用者に対して、食事を抜くなどの人間の基本的欲求に関わる罰を与えたことがある	よくある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	87	96.7%		
		記入なし	3	3.3%		
4	利用者に対して、自分の意思で開けることのできない居室・車等に隔離したことがある	よくある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	87	96.7%		
		記入なし	3	3.3%		
5	利用者に対する他の職員の体罰を容認したことがある	よくある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	84	93.3%		
		記入なし	6	6.7%		
利用者への差別	1	利用者を子ども扱いするなど、その人の年齢にふさわしくない接し方をしたことがある	よくある	0	0.0%	呼び方
			時々ある	14	15.6%	
			ない	74	82.2%	
			記入なし	2	2.2%	
2	利用者の障がいの程度、状態、能力、性、年齢等で差別したことがある	よくある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	88	97.8%		
		記入なし	2	2.2%		
3	障がいにより克服困難なことを、利用者本人の責めに帰すような発言をしたことがある	よくある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	88	97.8%		
		記入なし	2	2.2%		
4	利用者の言葉や歩き方等の真似をしたことがある	よくある	0	0.0%		
		時々ある	8	8.9%		
		ない	80	88.9%		
		記入なし	2	2.2%		
5	利用者の行為を嘲笑したり、興味本位で接したことがある	よくある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	88	97.8%		
		記入なし	2	2.2%		
利用者に対するプライバシーの侵害	1	職務上知り得た利用者個人の情報を他に漏らしたことがある	よくある	0	0.0%	
			時々ある	2	2.2%	
			ない	88	97.8%	
			記入なし	0	0.0%	
2	利用者の同意を事前に得ることなく、郵便物等の開封、所持品を確認したことがある	よくある	0	0.0%		
		時々ある	2	2.2%		
		ない	84	93.3%		
		記入なし	4	4.4%		
3	利用者の了解を得ずに居室、寝室、トイレの個室等に入ったことがある	ある	0	0.0%		
		時々ある	10	11.1%		
		ない	77	85.6%		
		記入なし	3	3.3%		
4	a(男性職員が)女性利用者の入浴、衣服の着脱、排泄、生理等の介助を他に頼める女性スタッフがいるのに、したことがある	ある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	70	77.8%		
		記入なし	20	22.2%		
b(女性職員が)男性利用者の入浴、衣服の着脱、排泄等の介助を他に頼める男性スタッフがいるのに、したことがある	ある	0	0.0%			
	時々ある	0	0.0%			
	ない	68	75.6%			
	記入なし	22	24.4%			
5	利用者本人や家族の了承を得ずに、本人の写真や制作した作品を展示したことがある	よくある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	87	96.7%		
		記入なし	3	3.3%		
利用者への人格無視	1	利用者を呼び捨てやあだ名、子どものような呼称で呼んだことがある	ある	1	1.1%	「○○ちゃん」とちゃん付けで呼ぶ
			時々ある	22	24.4%	
			ない	65	72.2%	
			記入なし	2	2.2%	
2	利用者に対して、威圧的な態度や命令口調で話したことがある	ある	0	0.0%		
		時々ある	6	6.7%		
		ない	82	91.1%		
		記入なし	2	2.2%		
3	利用者の訴えに対して、無視や拒否をするような行為をしたことがある	ある	4	4.4%		
		時々ある	4	4.4%		
		ない	83	92.2%		
		記入なし	3	3.3%		
4	利用者を長時間待たせたり、放置したことがある	ある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	87	96.7%		
		記入なし	3	3.3%		
5	担当専門医の指示によらず職員自らの判断で薬を使用したことがある	ある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	87	96.7%		
		記入なし	3	3.3%		
6	まだ十分にトイレで対応できる利用者にもオムツ対応したことがある	ある	0	0.0%		
		時々ある	2	2.2%		
		ない	83	92.2%		
		記入なし	5	5.6%		
利用者への強要制限	1	利用者に対して、わいせつな発言や行為をしたことがある	ある	0	0.0%	
			時々ある	0	0.0%	
			ない	88	97.8%	
			記入なし	2	2.2%	
2	利用者の作業諸活動や取り組み、余暇活動に対して、いたずらにノルマを課したことがある	ある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	86	95.6%		
		記入なし	4	4.4%		
3	利用者に嫌悪感を抱かせるような取り組み・外出先などを強要したことがある	ある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	85	94.4%		
		記入なし	5	5.6%		
4	日用品等の購入を制限したことがある	ある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	85	94.4%		
		記入なし	5	5.6%		
5	無理やり食べ物や飲み物を口に入れたことがある	ある	0	0.0%		
		時々ある	1	1.1%		
		ない	85	94.4%		
		記入なし	4	4.4%		
6	自由な帰省、面会、外出を一時的に制限したことがある	ある	0	0.0%		
		時々ある	0	0.0%		
		ない	84	93.3%		
		記入なし	6	6.7%		

③振り返り、社会人基礎力チェックアンケート

【2023年度 ふりかえり 集計結果】

98名にて集計

質問項目	質問項目の回答について	回答	計	割合	「いいえ」と回答した理由					
1 今年度のけやき福祉会の活動指針を言えますか？	⇒2023年度法人目標は「お互いの事業の理解を深めよう」	記入有	92	93.9%	(うち正答率)	85件	92.4%			
		未回答	6	6.1%						
2 では、今年度のご自身の所属する事業所の活動指針は何でしょうか？ (複数業務している方はすべて)	●けやきの家 事業所目標「新しいことにチャレンジ」 ●第1けやきホーム 事業所目標「相手にとってわかりやすい伝え方の工夫をしよう」 ●れすば 事業所目標「ねえ伝わった？再確認しよう」 ●れすば～さくら館 事業所目標「子供と一緒に成長しよう」 ●こんばす 事業所目標「相談員としての利点をより活かそう」 ●管理部 部門目標「事務の基本を完全マスター」	記入有	91	92.9%	(うち正答率)	77件	84.6%			
		未回答	7	7.1%						
3 「かわらばん」を読んでいますか？	⇒毎日、重要なお知らせを載せています。 	はい	98	100.0%	私の知らない事、事業その他の事がわかる					
		いいえ	0	0.0%						
		未回答	0	0.0%						
4 また「かわらばん」を手元に保管していますか？		はい	82	83.7%	保管までは不要と思う	読んだので	特に意味を感じない	必要なものだけ保管しています		
		いいえ	16	16.3%	一読しているだけです	読んだら処分している	必要であれば保管する			
		未回答	0	0.0%	一部	一読後自宅保管	読んで必要あるものは取ってあります			
5 有休はとれていますか？		はい	86	87.8%	まだ使っていない	自発的にはとってないです	れすばについては、自分から有休とりたいと言いくい	スタッフ数が少ないため、かなり考えて有休を入れていきます	取得したばかりで機会がない	
		いいえ	10	10.2%	まだ取得してないため	なかなか	とりあえず	しかし退職時はあまり使用されませんでした、半年前に伝えましたが伝え方が悪くて…		
		未回答	2	2.0%	取る機会がなかった為	まだない	たぶんありません	欲しい日はとれているが、消化しきれないほど休める余裕がない		
6 有休取得の時、届出(有休届)等は期日までに「管理者」へ提出していますか？	⇒届出用紙がピンクファイルに入っています 	はい	83	84.7%	まだ使っていないため	コロナで閉所等の理由で事後有休扱いという形が多いので		すみません、忘れがちです		
		いいえ	10	10.2%	まだ取得してないため	事業所の休業や急な休みは後から提出しました。		急にキャンセルになった場合		
		未回答	5	5.1%	まだない	うち忘れ、出し忘れ(てい出したようではないこと)		取得したばかりで機会がない		
7 ピンクのファイルの存在を知っていますか？		はい	86	87.7%	取得したばかりで機会がない					
		いいえ	8	8.2%				わからない	分らない	有給申請時、世話人は書類をもらうから
		未回答	4	4.1%						

【2023年度 社会人基礎力チェック 集計結果】

98名にて集計

質問項目	回答	計	割合	回答内容の理由について							
1 自分からあいさつをすることができる	○	96	98.0%								
	△	2	2.0%	自分からあいさつできない時がある							
	×	0	0.0%								
	回答無	0	0.0%	あいさつが返ってこなかった事が多いのでやわらくなっている							
2 仕事の準備や後片付けに自ら進んで取り組むことができる	○	93	94.9%	自分の出したものは片付けられる人が出したものほどここに片付けるかわからない時はしない							
	△	5	5.1%	後片付けが強い、片付かない。							
	×	0	0.0%	分からない場合は教えてもらうため							
	回答無	0	0.0%	得手不得手あり できない時もある							
3 分からないことや出来ないことを素直に伝え、アドバイスを求めることができる	○	89	90.8%	過去形の話							
	△	9	9.2%	アドバイスを上司に求めたい時に時間がとれなかったりする							
	×	0	0.0%	しゃきょうに相談するが社内ではあまりしていない、納得したことがない。							
	回答無	0	0.0%	事業所内のキャリア的に自分の中で考えこみがち、ホームでは一人仕事になるし。 完全には出来ないけど分からない事は聞くようにしている							
4 業務の見直しや改善を提案し、実践することができる	○	61	62.3%	できることはする							
	△	26	26.5%	実践できてない。							
	×	9	9.2%	見直しをする事を怠っている							
	回答無	2	2.0%	内容によって 提案が出来ない 提案までに至っていない 改ぜん出来ない時はさいてかいてんてる							
5 理想の将来像を持ち、目標に向かって前向きに努力することができる	○	69	70.5%	目標を決めてないです							
	△	22	22.4%	健康で現状維持に努力							
	×	5	5.1%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	2	2.0%	将来像がわからなくなるときがある							
6 自身の成長のために、積極的にいろいろな経験を積みよう心がけている	○	78	79.6%	目標を持っていない							
	△	15	15.3%	健康で現状維持に努力							
	×	4	4.1%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	1	1.0%	将来像がわからなくなるときがある							
7 教えてもらったこと・学んだことは、記録(メモ)に残して活用している	○	76	77.6%	目標を持っていない							
	△	14	14.3%	健康で現状維持に努力							
	×	7	7.1%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	1	1.0%	将来像がわからなくなるときがある							
8 周りの人からの助言を素直に受け止め、自分の課題にすることが出来る	○	90	91.9%	目標を持っていない							
	△	6	6.1%	健康で現状維持に努力							
	×	0	0.0%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	2	2.0%	将来像がわからなくなるときがある							
9 業務の優先順位を考慮し、仕事の流れをイメージできる	○	86	87.8%	目標を持っていない							
	△	11	11.2%	健康で現状維持に努力							
	×	1	1.0%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	0	0.0%	将来像がわからなくなるときがある							
10 行っている業務の状況により、計画を柔軟に変更・修正できる	○	81	82.6%	目標を持っていない							
	△	13	13.3%	健康で現状維持に努力							
	×	4	4.1%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	0	0.0%	将来像がわからなくなるときがある							
11 専門的知識や技能、資格等の習得に向けて、前向きに取り組んでいる	○	42	42.9%	目標を持っていない							
	△	35	35.7%	健康で現状維持に努力							
	×	21	21.4%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	0	0.0%	将来像がわからなくなるときがある							
12 課題や問題点に気づき、それについて考えることができる	○	73	74.5%	目標を持っていない							
	△	19	19.4%	健康で現状維持に努力							
	×	4	4.1%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	2	2.0%	将来像がわからなくなるときがある							
13 ミーティングや会議等の場で、自分の意見を伝えることができる	○	78	79.7%	目標を持っていない							
	△	17	17.3%	健康で現状維持に努力							
	×	2	2.0%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	1	1.0%	将来像がわからなくなるときがある							
14 報告、連絡、相談を適切に行っている	○	80	81.7%	目標を持っていない							
	△	16	16.3%	健康で現状維持に努力							
	×	2	2.0%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	0	0.0%	将来像がわからなくなるときがある							
15 あいづちや目を合わせるなど、相手に話しやすい状況を作ることができる	○	89	90.9%	目標を持っていない							
	△	7	7.1%	健康で現状維持に努力							
	×	2	2.0%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	0	0.0%	将来像がわからなくなるときがある							
16 相手の話を素直に聴くことができる	○	93	94.9%	目標を持っていない							
	△	5	5.1%	健康で現状維持に努力							
	×	0	0.0%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	0	0.0%	将来像がわからなくなるときがある							
17 自分の意見を持ちながら、人の意見にも共感を持って聴くことができる	○	91	92.9%	目標を持っていない							
	△	7	7.1%	健康で現状維持に努力							
	×	0	0.0%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	0	0.0%	将来像がわからなくなるときがある							
18 相手がなぜそう考えるか、相手の気持ちになって考えることができる	○	81	82.7%	目標を持っていない							
	△	15	15.3%	健康で現状維持に努力							
	×	1	1.0%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	1	1.0%	将来像がわからなくなるときがある							
19 「かわらばん」を読み、法人内の共通認識ができている	○	84	85.7%	目標を持っていない							
	△	13	13.3%	健康で現状維持に努力							
	×	1	1.0%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	0	0.0%	将来像がわからなくなるときがある							
20 同僚のスタッフの状況に配慮し、必要な行動をとることができる	○	81	82.7%	目標を持っていない							
	△	15	15.3%	健康で現状維持に努力							
	×	1	1.0%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	1	1.0%	将来像がわからなくなるときがある							
21 提出期限や法人内のルールを守る事ができる	○	80	81.7%	目標を持っていない							
	△	16	16.3%	健康で現状維持に努力							
	×	2	2.0%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	0	0.0%	将来像がわからなくなるときがある							
22 出勤などの業務時間の厳守や、それに伴う必要な連絡ができる	○	92	93.9%	目標を持っていない							
	△	6	6.1%	健康で現状維持に努力							
	×	0	0.0%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	0	0.0%	将来像がわからなくなるときがある							
23 食事・睡眠など健康管理に気を配り、自分なりのストレス解消法を持っている	○	86	87.8%	目標を持っていない							
	△	10	10.2%	健康で現状維持に努力							
	×	2	2.0%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	0	0.0%	将来像がわからなくなるときがある							
24 周りの人に相談したり、アドバイスを受けることにより、ストレスを緩和できる	○	81	82.6%	目標を持っていない							
	△	14	14.3%	健康で現状維持に努力							
	×	3	3.1%	将来像がわかっていないが、前向きにはいきたい。							
	回答無	0	0.0%	将来像がわからなくなるときがある							

～2023年度のふりかえり～ みんなが考える大事にしていること
 全回答92名分

1	事故、怪我をしないように仕事に取りくむ
2	互の理解する事
3	利用者さん1人1人に対してどのように接するか、又楽しく生活していく為の工夫をと感じて仕事にはあっています。これは、利用者だけでなく、一緒に働く人達、皆んなの事ですが、(家族)の方々も含めて、出来るかぎりコミュニケーション取りあってよりよくなって行きたいです。
4	コミュニケーション能力
5	入所者の立場に立って支援する、安全、安心
6	1人1人を尊重すること、自分を出して自分をよく知ってもらう努力をしつかり子どもたちの関係づくりをすること、自分が楽しむこと、笑顔ですごすこと、よい所を探すこと、よく目を配ること
7	健康に過ごせるように気を配り、仕事の段どりや事前にスタッフとの話し合いを持ったり、子どもとの意見・聞いてほしいことを耳をかたむけるようにすること、相手のことや自分を大切にすること
8	できるだけ、周りに迷惑をかけないようにする。わからない事は、きちんと聞く。
9	決められたことをきっちりやる。利用者が穏やかに過ごせるよう心がける。自分の感情をコントロールする。
10	健康管理
11	いれすばの仕事は、利用者さんにとっていき抜きでできる場所になるようにしたいと心掛けています。そのために自分も一緒に楽しめるようにしたいと考えています。
12	うまく言葉にできない利用者の方の心の声を(=今、何を考えているか?何を求めているか?)透かさないようにしています。
13	体調管理に心がけ急な休みをとらないよう努める(計画的な休みは頂きます)、受け答えに対しておざなりにしない。できそうな返事をしない。まじめにとりくむ。
14	笑顔、明るさ、大きな声ではっきりと伝える事
15	ホームでの生活は、穏やかにすごしてもらおう事。
16	利用者さんの態度で理解する事、何を要求しているのか、わかるかぎり応じてあげる。出来ない事は、出来ない旨を告げる。
17	利用者さんに対してやさしく接する(今もしているが)
18	ミスをしないようにすること。出来るだけ速くやること。期日の確認と進捗状況の報告。
19	利用者の尊厳と支援者の倫理観とスキルで利用者を笑顔にしたい、スタッフとのコミュニケーション、デイサービスが利用者にとって楽しい居場所になれる様にしたい、何が利用者にとって必要な事なのか考え続ける
20	利用者さんにはまず安全に、そして楽しく過ごしてもらえようように心掛けています。ある程度時間が経ちても、利用者さんが出来ることは自分ですべてしていただける様に、見守り・支援しています。
21	一人で決めない。「報告・連絡・相談」を意識して仕事をすること。
22	表面的に見えていることだけでなく、その背景に何かあるのかを考えること。
23	利用者様の安全と快適に暮らせるサポートをする事、一人一人の気持ちに寄り添って接する事
24	利用者さんが家にいる時のようにリラックスして過ごせるよう、心がけています。こちらから無理強いをしないようにしています
25	利用者の状況に応じた対応、利用者の想い
26	健康です。
27	利用者とのコミュニケーションは積極的にとるよう心がけています
28	利用者を1番に考え仕事をさせていたいています。
29	利用者様に寄り添った支援、1人1人理解をした支援(したいと思っております)、ホームの中では自由な生活(あれしてこれして余り言わない)、健康、検温、表情
30	利用者様の皆様と誠意を持って向き合う、利用者様の心に寄り添う、利用者様の生活環境に配慮する
31	利用者さんその日の気持ちの状況に沿える対応。
32	利用者さん1人1人に対して意見をもちょうとして対応して利用者にお風呂でお話する時間を大切にしています。
33	利用さんのすこしやすらひに気を付けています。
34	利用者さんを尊重し、ほどよい距離感を保つようしている
35	いつもましがいのないようにしています
36	体調を整え、精神面でも平常心でいられる状態で仕事に取り組むように心がけています
37	特になが、笑顔と元気
38	体調管理に気をつける、利用者さんの行動や訴えに気を配る、または観察し必要に応じて報告する。
39	メリハリ、やる時はやる！抜く時は抜く！
40	出来ることは早めに前倒して優先順位をつけて行う、忘れそうなどは自分らのDoリストを作って実施確認をしている。記録やドキュメント化はできる限り行うようにしています、都度連絡は伝わっているか確認するようにしている、利用者の変化は記録や申し送りして伝わるようにしている
41	がんばりすぎず人にたよること、自分だけではなく相手のことをかんがえて行動・意見すること、知ったかぶりせずに、相手を知ろうという気持ちをつねにもつこと、イライラせずに感情をコントロールすること
42	担当している利用者、関わる支援者に迷惑をかける、困らないように仕事をすること、障害をお持ちの方の持っている、感じている価値観や感覚は理解できない所もあるが尊重する。社会福祉法人であり、たの福祉事業を営む会社よりもより公共性を大切にすることが必要。障壁の類々の責任のようなものではなく、そこを克服することはない。
43	同じ利用者さんでも毎回表情、言葉が違うので自然体で向かいコミュニケーションを取りながら想いを引き出し、いい関係が作れる様にも、信頼してもらえる様にしていきます
44	報告、連絡、相談を適時、適切なルートで行うように心がけている。兼務にあたっては、ホームスタッフとして世話人支援員としての心持ちと、こはまずスタッフの相談員としての心持ちの切り替えをしっかりと行うことができるように心がけている。
45	健康、利用者自衛
46	新しい環境は今までは行ったことのない利用者さんも多いと思いますが、スタッフの方から新しい生活リズムをとり入れることで利用者さんの生活リズムの変化を促せると考えます。スタッフが悩めば利用者さんにはもつ悩むので、スタッフの方から理解を深める必要があると考えます。
47	利用者さんの事を知る、表情を見る、言葉や声(利用者さんが伝えられるような環境)待つ
48	お給料分の仕事をすること。(もう少しもらってもバチはあたらないと思います。)/バランス(職員・利用者)事業所維持において、ひくくめてバランスをとること。適正な運営。仕事をしすぎず、しなすぎずの息ぬき。
49	こちらのやってもらいたい事を押しつけないように、自分の意志や思いで選択できるように支援したいと思っています。
50	プライベートの充実(プライベートが充実してないという気にならないで)
51	できる限りオンオフを切り替えて仕事に向かっています
52	利用者の変化を大事にしている
53	利用者さんが何をしたいのかよく考える。相手の気持ちによりそえるようにする。報連相をこころがける。
54	利用者さんの気持ちを大切にすること
55	予定表を確認しています。公用車の安全運転を心がけています。利用者さんに笑顔で接することを心がけています
56	自分の感情に流されず、どんな場面・状況でも公平に判断をする。利用者さん・スタッフ共に相手の立場になって発言や行動の理由を考える。
57	人権の尊重、言葉づかい、あいさつ、コミュニケーション、自分の気持ち、価値観を押しつけない
58	利用者さんの意志行動を読みとる、尊重する
59	利用者がイヤな思いをしていないか、今を楽しんでいるかという事を大事にしている。
60	利用者さんの安全面、利用者さんが普段と異なる行動・言動があった時、その思いを汲み取り対応する。スタッフ間の情報共有(特に同じ取り組み時)。仕事の合間のスタッフとの会話。
61	スタッフ間の人間関係
62	一人の人間として大人として接する事
63	スタッフにも利用者さんにも笑顔で接していく事
64	新しい事業所と新しい取り組みと利用者の方々早く慣れる事
65	自分の健康に注意して、利用者個々への対応を注意深く見守る事。
66	皆で楽しく過ごす
67	利用者さんの意見を尊重すること
68	相手(利用者さん)の気持ちになって考える。相手の立場になる。
69	利用者さんファーストの取り組みを心掛けています
70	毎日楽しかったと思っただけで帰っていただけのように支援しています。利用者さんを一人の大人として接するようにしています。
71	良かった事も悪かった事も後で振り返り、次回に生かす
72	利用者さんに対して、感情的にならない。人格を尊重し、嫌がることを強要しない。
73	自分の支援を受ける方の立場になって考えてみる。心地良いかどうか、楽しいきもちになれるかどうか、その方の役に立てるかどうか、その方の特性に合っているかどうか。スタッフ同士の連携とコミュニケーションを大切にすること。
74	利用者さん1人ひとりの出来ること、喜びを探してゆきたいです。なるべく手足を使い少して身体を動かしたり、気持ちがあくような活ききとした活動の時間を持っていたら良いなあと考えています。そして、できるだけ利用者さんご本人の意志や力を促してその方のペースで取り組んで頂ける雰囲気を作れたら良いなあと考えています。
75	利用者さんの気持ちを理解し利用者さんの立場になって考える
76	色々な人と話をする!!こと
77	利用者さんに喜んでいただける支援。
78	利用者の安全と、理解しあう、安全運転に心がける
79	報告、相談、連絡、安全、相互理解、健康管理
80	利用者さんが1日楽しいと思う気持ちを少しでもサポートできるように関わり、人格を尊重し丁寧に接して支援していく事、安全安全に過ごせるように心がける。言葉かけの配慮や意欲を持てる気持ちに繋げたい。
81	利用者さんファーストで接するよう心がけています。利用者さんに対して、笑顔で接するようにしています。あいさつなど声かけをするようにしています。
82	1.利用者さんの自衛、2.利用者家族の思い、3.回覧とのチームワーク、4.自身の健康維持、5.技術の取得
83	利用者さんのリズム・状態に合わせて接するよう心がけています。利用者さんからコミュニケーションを取ろうと接してもらった時は笑顔で、答えるよう心がけます。
84	運転中は一秒で状況は変化する事を念頭に置き利用者さんの身体に負担がかからない様アクセルワークを上手に使い安全運転心掛けています。
85	利用者の個性を理解し対応する。次の仕事までに空いた時間何をするかを考える。
86	安全運転
87	他のスタッフさんのすばらしい支援の仕方・声かけを学び、自分自身の支援・声かけの改善につなげられるよう、日々努力している途中です。利用者さんスタッフさん全ての人に対して、優しくあふれる職場にしたいです。(今でもそう思っています)
88	利用者さんの特性を理解するよう努力して、接するようになっている
89	チームで仕事を行っているのでコミュニケーションが大事だと思っている。外に出る事が多いので何度も話し合うようにしている
90	●やきの家掃除:時間制約有るので、ルーティン通りやる。手を抜かない。第1けやきホーム掃除:手抜かずに、ルーティン通り進める。第1けやきホーム補助:〇〇さん、愛情もって急がせない、臆下うまくいよう鋭い観察、●
91	●さん、急がせず愛情持って補助。◇◇さん、転ばぬよう最高の注意。常に観察、機転考察。
92	安全運転に心掛けることです。
93	締切を守ること、利用者さんには丁寧に接すること

【2】各事業所報告

①「けやきの家」概要

事業区分	障害福祉サービスメニュー
生活介護事業所	自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会を提供します。

ア 総括

5月に新型コロナウイルス感染症の分類が5類になり、けやきの家での活動で制限して行えなかった活動も少しずつ再開していきました。特に実感するのは、輪来工房との合同イベントや外出グループでのレストラン外出で、大人数での活動を再開することができ、皆で楽しめる活動が戻りつつあります。大人数での活動が再開される中で、前年度に比べて体調不良者も増えることなく活動することができたことは、コロナ渦での習慣(手洗い・うがい等)の継続やご家族や関係各所の皆様のご協力が大きいと強く実感しています。普段より、ご協力して頂きありがとうございます。

輪来工房が7月に完成し、曜日ごとに利用が変更されて戸惑われていた利用者も徐々に環境になれてきています。また、利用希望の学生の実習体験や10月から新しい仲間も増え、変化と新たな始まりを感じさせる年でした。

けやきの家では、高齢化や体力不足等によって、ゆっくり過ごされる利用者が増えてきています。今後、新しい仲間が増えていくことを踏まえての受入れ準備や加齢に伴う心身の変化等、それぞれのニーズと安全に配慮しながら元気に楽しく通って頂けるよう努めてまいります。

(2)各報告

①外出全体まとめ

今年度も新型コロナウイルスの対策を行いながらのスタートでした。

木曜日の外出チームは7月の輪来工房開所に伴い、4月から6月までと短い外出でしたが、公園に行ったり、おやつを食べたりして過ごしました。火曜日・水曜日・金曜日の外出は1年通して様々な余暇を満喫することができました。

今年度もなかよしハウスをお借りして、創作や個人での遊びや食事等を通して交流を深めました。また、メンバーの誕生日月にはみんなでお祝いしたり、夏場はかき氷、冬場は鍋をしたり、春は豆まきしたりと室内で楽しく過ごしてもらえるよう季節イベントを交えながら活動しました。

外出では近隣の公園や高速を使ってお出掛けをし、お弁当を食べたりしました。また、3月には念願のレストラン外出も行う事ができ、エアポートウォークのフードコートで好きな物を注文し、みんなで一緒に食事を楽しみました。利用者の皆さんが満足そうな顔をしておられ、スタッフもやって良かったと感じました。

来年度も利用者さんの笑顔が見られるように外出支援を頑張っていきたいと思えます。

○火曜日出出チーム

火曜日グループの外出は利用者さん10名、スタッフ5名の計15名で出掛けています。

今年度の外出は、コロナウイルス対策として5類に緩和されていきましたが、基本なかよしハウス(以下ハウス)で過ごし、昼食を食べた後で外出に出掛けています。

ハウスでは、利用者さんの誕生日月にはMさんのお手製のケーキでお祝いしたり、今年の1月には鍋パーティーを行いました。利用者さんには野菜を調理はさみで切ってもらって準備をして頂き、様々な味付けの素を利用者さんと召し上がりました。その時はおかわりが多く、お腹一杯食べる事ができました。締めはうどんやラーメンを食べ、身体が温まりました。利用者さんの満足された顔を見ると微笑ましい気持ち

ちになりました。

2月は豆まき(袋に入ったお菓子投げ)を行いました。利用者さん2人が鬼役で、鬼のお面とマントを羽織って演じてくれましたが、鬼がお菓子を投げる一幕もあり、楽しい豆まきとなりました。

外出では、多治見の虎溪山永保寺・陶史の森などに行きました。

陶史の森では、スーパーで弁当を買って公園のベンチで食べました。自然の中の食事はピクニック気分でごせました。昼食後は動物がいる所まで歩き、ウサギや孔雀や羊などを見ておられる方もいらっしゃいました。

虎溪山永保寺では、古来からある建物を見ながら散歩しました。帰りは坂が急で昇るのに苦労した利用者さんもおられましたので、ゆっくり休みながら登りました。

また、高速道路を使って愛知牧場に行き、ソフトクリームを食べる予定でしたが、あいにくお休みに、急遽初めて三好公園に行きました。午後は、三好池を散歩し、帰りの高速道路PAのコンビニで好きなスイーツを買って休憩所で頂きましたが、あつという間の完食でした。

そして、3月には念願のレストラン外食が実現でき、エアポートウォークのフードコートで利用者さんの好きな物(唐揚げ、ハンバーグ、ハンバーガー、チャーハンなど)を頼みました。好きな物を頼んだ事もあるすべて完食されました。その後、展望台へ行きました。天候が悪い影響か飛行機をみる事ができませんでしたが、これも良い思い出となりました。

これからも利用者さんに楽しんで頂ける外出にしていきたいと思えます。

火曜日外出担当

○水曜日外出チーム

水曜日の外出チームは、50歳前後の利用者さんが5名、30代半ばの利用者さん1名の6名でしたが、今年度後半からはけやきの家の最年長の方が加わり、7名の利用者さんとスタッフ4名で楽しんでいます。

このチームは活発に動き回る事よりもゆっくり、のんびりとスロースペースを好む人ばかりですので外出先も大半はなかよしハウスを利用させていただいています。食事にも時間がかかるため食後の散歩もそれほど遠い所に出かけることは出来ません。定番が一番近い都市緑化植物園です。しかし、季節の良い春には小牧の四季の森にも出かけました。猛暑の夏にはなかなか出かけることは出来ませんが、涼しい日を選んで細野キャンプ場の木陰を散策しました。秋には焼山公園や紅葉を見に多治見の喜多緑地にも出かけました。新年初めの外出先は恒例の岩船神社です。みんな慣れたものでお賽銭を投げ、手を合わせていました。寒さも緩んだ3月末には小幡緑地公園に出かけ散歩や、子供用の遊具に乗って楽しみました。また、コロナ過で中断していた待望のレストラン外出にも出かける事が出来、大満足の様子でした。

食事後のハウスでの過ごし方は、自分の好きな球団の話をする人、ラジオで音楽を聴く人、ボールを磨いたり投げて遊ぶ人、紙切りをしたり、磁石で遊ぶ人、みんなが楽しんでいる姿を見てニコニコしている人とさまざまです。おやつ時にはアイスコーヒーを飲みます。お茶はあまり飲まなくてもアイスコーヒーは好んで飲んでいただけなので水分補給にも役立っています。おやつも夏には恒例のかき氷に変わります。シロップも4種類用意していますので、各自好みの物を選んでいきます。冬には新年会としてみんなで鍋を囲みました。節分の時には鬼に扮したスタッフに豆ならず個包装されたお菓子を投げて楽しみました。

この一年、大きな事故もなく無事に楽しい外出ができたことに感謝し、来年度も水曜メンバーならではの体験ができるよう力を注ぎたいと思えます。

水曜日外出担当

○木曜日外出チーム

7月からの輪来工房開所に伴いこのグループでの外出支援は6月まででした。5月までは起点をアネックス、6月からは開所前の輪来工房として外出の取組を行いました。起点が変わる等バタバタする事が多かつ

た期間であったので、少しでも安心して落ち着いて過ごせる場所が良いと思い、外出場所をしぼって、定光寺や多治見方面に行きました。行程が分かりやすかったこともあり皆さん大きく崩れることなく外出を楽しまれたと思います。また、スタッフからの声かけに皆さん落ち着いて応じられて昼食関連の荷物を現地のログハウスに手分けして運ばれていました。また、昼食後の散歩もコースが決まっている事や散歩後におやつを食べられる事が分かっておられるので穏やかに過ごされていました。

7月からは新たな構成での外出になる事から、4月頃には桜が見られる公園での花見、5月頃には新緑を楽しみながら散歩しました。また、お出かけの時にはクッキーやチョコレート等のおやつを用意していて、休憩場所でおやつが食べられると利用者さんは分かっているため、休憩場所が近づくとしづつ足取りが早くなります。到着するとお茶の準備をしてくれて、順番も待ってメンバー全員でおやつを楽しむことができました。

全体を通し、利用者、スタッフ共に協力し楽しい外出が出来ていたと感じています。今後も、慣れるまで時間がかかるとは思いますが、新たな構成での外出でも互いに協力し楽しい時間を過ごせられるように外出を行っていきたいと考えています。

木曜日外出担当

○金曜日外出チーム

今年度の金曜日外出チームはメンバーの入れ替わりがありました。利用者さんは4月に1名加わり、10月には1名入れ替わり、12月には退所される方が1名おりました。また、4月にスタッフも加わり、スタッフ5人、利用者さん11人～12人での取組となりました。

昨年度に引き続き、コロナ禍での外出では、2チーム（けやきの家となかよしハウス）に分かれて給食を食べ、昼食後に合流して公園等に出かけて散歩したり、ハウスで季節にちなんだ創作を行ったりしました。また、お弁当の日には全員バスに乗って遠出し、有意義な時間を過ごしたりもしました。

外出の取組は初めてだった自分にとって普段のけやきの家にいる時以上に利用者さん達の個性が見られたと感じています。自分の納得いくタイミングまでバスや車から降りない方、ご飯を待ち切れない方、好きな利用者さんの方へだんだんと近づいていく方、話好きでスタッフと会話を楽しんでいる方、他の利用者さんの行動をみて注意してくれる方、いつも同じ弁当を選ぶ方、メニュー表を見てじっくり選んでいる方など様々な様子を見ることができました。

また、散歩の場面で、ペアで手を繋いだり、他の利用者さんがはぐれない様に気にしてくれたり、車椅子の方をスタッフと一緒に押してくれたり利用者さん同士の人間関係を知れたり、他の人を気づかう優しさなどが見られました。

そして、今年度は数年ぶりに新年の鍋パーティーを行ったり、レストラン外出にも出かける事ができました。利用者さんの中にはそれらのイベントがあるのを知ると前々からスタッフと話題にして楽しみにしている方もいました。コロナ禍が緩和されつつある今後は徐々に出来る事が増えていくので、利用者さん達の「楽しみ」となる様な事をこれからしていけたらなと思っています。

金曜日外出担当

②外部講師活動全体のまとめ

今年度もコロナ禍は続き、各講師の方やスタッフも細心の注意を払って取組を行いました。音楽療法では、絵画の作品やリスを利用者さんに見て頂く等、取組が制限されている分、普段とは違った楽しみを提供して頂きました。一方で、徐々にコロナが緩和されてきた事もあり、リトミックでは一人一人対面での楽器対応を再開するなど、本来の活動内容に近づいた取組が出来て利用者さん達に楽しんでいただけました。

ホースセラピーでは、あまりコロナ禍の制限を受けずに取組ができ、乗馬時の重心移動や身体のコントロールが各利用者さん共に進歩が見られました。動作法では、スタッフが利用者さんにつく担当にこだわらず、同じ空間で仲間と時間を共有する大切さを意識して行いました。理学療法では、曜日が固定され参加者の偏りがみられ、今後は曜日を固定せず参加する利用者さんを増やしていく課題も残りました。

来年度も引き続き情勢の状況に順応しながら安全に楽しく活動を行っていきます。

○音楽療法

今年度は、コロナに罹らない、持ち込まないように心がけながら活動を行い、コロナで始まりコロナで終わった年のような気が致します。そして、私の個人のことでありますが、コロナでお休みの間にはウッドバーニングの個展を開催するために作品制作に費やしました。

ここ数年、けやきの家が季節感あふれるディスプレイの施設に変化され、毎週みるのを楽しみにしています。また、音楽療法にとって季節感と五感を刺激することはとても大切で、視覚、オブジェの触覚を交えながら季節に合わせて曲を選んでますので、とても助けて頂いていると思っております。

現在は、2階は火曜日、1階は木曜日と分けて活動を行っています。ご自分の好きな曲をリクエストしたり、終了後は道具を片付けて下さったりと、積極的に参加する方が増えました。音楽療法（ミュージックセラピー）だけでなく、絵画療法（アートセラピー）の私の絵や3月はお雛様。動物療法（アニマルセラピー）では私の娘？のクレール(リス)も参加、とこれからも組み合わせをしながら皆さんに楽しんで頂きたいと思っております。

音楽療法士 原田

○ホースセラピー

馬の乗り降りでの重心の移動とそれに伴う身体のコントロールの改善を目標としました。達成度に個人差はあるものの想定範囲で進歩してきたと思います。

乗馬自体は個人活動ではありますが、団体活動でもあるので、そのバランスをとりながら個々での成長をどう進展させるかがこれからの課題になっていきそうです。例えば、手綱を使う事とか、速歩きをする事、馬上で体操をするなど、今後は個々の特性に合わせて目標立てて進めていきたいと考えています。これからも、日頃から関わっているスタッフの皆さんと協力して情報共有や案を出し合いながら活動していきたいと思っております。2024年度の成長が楽しみです。

げんき牧場代表 加藤

○リトミック

今年は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5月から5類に移行され、世の中も少し明るさを取り戻したいかのような風潮でした。私たちの音楽の時間もコロナ禍で一人一人対面での楽器対応を中止していましたが、対面での活動は、利用者さんと渡辺との距離が近くなり、より一層、一緒に音楽を楽しめるようになりました。

①タンバリンであいさつを行うというプログラムでは、「こんにちは ○○さん」の呼び掛けに対し「○○さん」のところをタンバリンでパン・パン・パンと打つ手法です。全員の方が手を出して鳴らしてくれます。タンバリンが馴染みのある楽器であることが要因の一つかもしれません。時には、いたずらっぽくタンバリンの打つ高さや位置を変化してもそれに対応できる利用者さんもみえます。

②ディスクベルは楽器の上部にボタンのような突起部分を手のひらで押して鳴らします。♪おおシャンゼ

リゼの曲に合わせてドシラソファミレドと順番に鳴らすプログラムを長年続けてきました。今年度のある日、スタッフがディスクベルを鳴らしやすいように準備すると、その方が自主的に手を順番に動かすさまを見て「わーっ、自ら動かしているようねー!」と皆で感動しました。そして、それ以降も動かしてくれています。

③ギターは、音楽活動の終わりに♪さよならの曲で、一人一人6本の弦を上から下に指を下ろしながら鳴らします。弦の振動を体に入れ楽しむプログラムで、多くの方が自然と弦に手が伸び、達成感がある様子でした。弦の振動が苦手な方には渡辺が手を持ち、一緒に体感してもらっていますが、活動終了後に笑顔でお別れしていただけるので安心しています。

④身体活動としては、今年目立って伸びたのは歩行タイムです。♪さんぽと♪天国と地獄の曲をギター伴奏と歌の音楽とともに2階廊下を歩くプログラムです。前年よりも歩く時間が長くなっています。皆さんの今日の体調が分かるスタッフの方とのアイコンタクトで終了を決める場面もよくありました。今年度は、他の施設に行く方、新しい方、同時間帯に外出で楽しまれた後に参加される方やイレギュラーの参加もある中での音楽の時間となりました。なるべく多くの利用者さんに経験させたいという施設側の対応を感じます。そして、スタッフの方々より「皆さん楽しみにしていますよ。」「皆さん先生の方を見て集中しているよ。」とお声をもらい、ありがたい気持ちです。また来年度も、利用者さんの皆さん、スタッフの方々のご協力で楽しい時間にしたいと思います。皆さんどうぞよろしく願いいたします。

音楽療法士 渡辺

○動作法

今年度は、年度初めに利用者さん（以下トレーニー）とスタッフ（以下トレーナー）で担当を決めて動作法を行って参りました。しかし、動作法は1対1のみで行うものではなく、同じ部屋の仲間達と時間・空間を共有して取り組む『不安を取り払うもの』『温かな空間をつくるもの』でもあります。そのため、担当にこだわり過ぎず、仲間と同じ空間で取り組むことにも意識して行いました。また、身体と心の問題点・改善点を見つけ、心身が健康的になるようにも取り組みました。

動作法は、マッサージと違い、『トレーナーがトレーニーの身体を力で動かしたり、身体を揉む・押ししたりしないことである』と藤本先生からよく教えてもらっています。

緊張で余分な力が入ることで身体が丸まってしまう人（猫背）や片側へ筋肉の負担をかけることで身体のバランスが崩れてしまう人等に対して、状態を伝えながら、リラックスして脱力できるように声をかけつつ、身体に触れて意識してもらいながら動作を促します。

けやきの家での動作法は、伸ばした腕を頭上へ目指して上げていく仰臥位の腕上げを主に行っています。日々繰り返すことで、腕上げの最中に普段動きがぎこちなかったトレーニーの動作が自然な美しい動作になることがあります。そのように日々の動作法の訓練が実を結び、力の抜けた動きができた時は、トレーニーの心身が整った美しい状態であると感じます。今後も、良い状態が続くように継続していきたいと思っています。

動作法担当

○理学療法

2023年度は週に1度程度、リハビリテーションを実施した。

実施内容については

対象者 : 5名～12名

場所 : けやきの家2階

実施内容 : 集団体操、セラバンドを使用した体操、筋トレ、ラジオ体操等、個別相談

実施時間 : 30～45分

課題 : 参加人数が安定しなかった。曜日を固定していたため、参加者に偏りがあった。

2024年度については曜日を確定せず、より多くの利用者が参加できるように計画する。

開始当初に比べ、若干ではあるが参加者も増加し、活動内容も浸透しつつあるので、根気よく指導を継続していく。その他、利用者のみならずなるべく多くのスタッフに参加していただくよう啓発していく。

中部大学 理学療法学科 宮本

③看護師業務報告

今年度もインフルエンザ・コロナウイルスによる体調不良者が多く、コロナ抗原検査を実施しました。毎朝の検温の継続や、症状・観察を通して異常の早期発見に努められたらと思います。

まきのファミリークリニック精神科医の牧野先生による、月1回のカウンセリングは、その時に支援の方法が分からない事など、具体例を挙げて質問しています。牧野先生から具体的ないくつかの声のかけ方・支援の方法を教えていただき、少しでも支援に活かせる事ができているのではないかと感じています。

毎年行っている歯科検診、健康診断、内科検診、インフルエンザ予防接種は、今年度もコロナ禍での実施でしたが、昨年同様混乱なく行うことができました。

また、利用者さんの高齢化もみられるようになりました。それに伴い転倒による怪我、足や膝などの症状が出現し、ADL(日常生活動作)の低下もみられるようになりました。その為、本人用のクッションの案内、食事形態の変更、食事介助の工夫(トロミ剤の使用など)、観察も必要になってきました。今後もよりよい支援につなげられるよう、観察・情報交換、また医療機関、系列の違うホームとの連携を密に行えたらと思います。

④作品展まとめ

今年度は12月に市役所、3月にむがむちゅう展で作品を展示させていただきました。昨年度に引き続き、利用者さんとスタッフで何か月も前から話し合い作品作りをしてきました。

けやきの家からは、なじみのある西高森山のジオラマ、絵の具や紙すき製品を使い作った季節の作品、粘土を市役所の展示会に出展。また、個人の作品2点をむがむちゅう展に出展しました。

作品展担当

⑤生産活動まとめ

○紙すき

けやきの家

7月から輪来工房が開所され、けやきの家と輪来工房の2か所での活動が始まりました。

これまでけやきの家で行ってきたことを分業し、けやきの家では、漉くまでの作業を中心に行いました。また、以前行っていたハガキやコースターを本格的に再開し、ハガキなどに落ち葉の貼り付けや模様が付くか等、新しいことにも挑戦しました。

本格的に紙すきを再開したことや輪来工房での新たな活動により、材料が多く必要となり、元となる牛

乳パックめくり、ちぎり作業、ミキサーを使ったパルプ作り等、けやきの家で取り組む回数を増やしました。

紙すき担当

○薪

けやきの家では結束した薪を輪来工房に取りに行き、車に積み、けやきの家で棚に並べて販売できるように準備をしてもらっています。

売上げの方は去年よりは下がりました。お客様からの注文はありましたが、原木の仕入れが追いつかずにお客様のご要望の本数をご用意できなかったのが原因となりました。

薪担当

○カレンダー

けやきの家では、カレンダー用のこうぞ入り和紙作りを行っています。1回の取り組みで6~7枚作成しています。

カレンダー担当

○缶

今年度も多くの缶を提供して頂き、缶洗いや缶潰しの作業を行うことができました。スタッフが声をかけると準備を始める人、声をかける前から張り切って準備する人、準備が整った状態をみて移動する人など様々で、定着して活動が行えています。袋にアルミ缶以外の物が入ってしまっていることがあり、業者に注意を受け、仕分け作業を今まで以上に念入りに行うようになりました。

缶担当

○粘土

今年度はメンバーも変わり、初めて粘土に参加する利用者さんもいました。スタートし始めは、手に付く触感を嫌がりなかなか触ることが出来ませんでした。繰り返し行っていると、小さくちぎった粘土を重ね岩の塊のようなものを作り、スタッフから驚かされていました。

粘土が得意な利用者さんは毎月テーマを決めて制作することを継続しています。今までは動物や生き物を多く制作していましたが、最近は植物にも挑戦しています。

来年度もそれぞれが自分に合ったペースで取り組めていけるといいなと思います。

粘土担当

(2)その他事項

①会議等

職員会議(月1~3回) 計40回(内イベント担当のみの会議5回)

* 職員会議では、利用者ケース検討(11回)、担当業務報告、イベント打ち合わせ、各委員会報告、輪来工房の話し合い、ヒヤリハット報告の共有、その他連絡・検討事項が主な議題内容

②防災訓練

避難訓練(11月・3月)実施

11月：ケーキ室からの火災を想定し駐車場への避難と消火訓練

3月：地震発生を想定し机下に隠れてから駐車場へ避難と消火訓練

イ 体制

		2023/4/1時点		2024/3期末	
		人員	常勤換算数	人員	常勤換算数
管理者	常勤	1	1	1	1
サービス管理責任者	常勤	1	1	1	1
生活支援員	常勤	4	21.4	2	15.6
	非常勤	34		32	
添乗員	非常勤	5	0.5	4	0.6
運転手	非常勤	3	0.9	2	0.3
看護師	非常勤	2	0.6	2	0.6
医師	非常勤	1	0.1	1	0.1

利用日数と利用率

2023年度

区分別	区分4	区分5	区分6	
男性	2	12	17	31
女性	2	4	9	15
合計	4	16	26	46

区分別	区分4	区分5	区分6	
男性	2	9	9	20
女性	2	3	8	13
合計	4	12	17	33

年度途中の入所者・退所者含む

利用者数				
月	開所日数	延開催日数	延利用日数	延利用率
4月	20	920	889	0.97
5月	20	920	884	0.96
6月	22	1012	973	0.96
7月	20	660	531	0.8
8月	20	680	545	0.8
9月	20	660	555	0.84
10月	21	714	601	0.84
11月	20	680	570	0.83
12月	20	680	562	0.82
1月	17	561	443	0.79
2月	17	561	458	0.82
3月	20	660	521	0.79
合計/平均	237	8708	7532	0.85

※2023年7月より輪来工房開所に伴う利用者増減・両事業所利用の方含む。

下半期感染症の影響で延利用日数が減少しています。

2023年4月1日～2023年6月30日

年代別	20代	30代	40代	50代	60代	2024.3現在
男性	4	8	9	9	1	31
女性		8	4	3		15
合計	4	16	13	12	1	46

2024年3月31日時点

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	2024.3現在
男性	1	1	4	6	6	1	19
女性			7	4	3		14
合計	1	1	11	10	9	1	33

2023年4月1日～2023年6月30日

総契約者数	46名	割合
男性	31名	約67%
女性	15名	約33%

退所者	2024.3.31時点
男性	2名
女性	

2024年3月31日時点

総契約者数	33名	割合
男性	20名	約60%
女性	13名	約40%

入所者	2024.3.31時点
男性	1名
女性	

ウ ヒヤリハット、事故報告まとめ

ヒヤリハット報告の提出数 35 件

2023年度 ヒヤリハット報告一覧

発生日	場所		内容	要因	対策
4月4日	少年自然の家多目的広場駐車場	パニック (他害)	目的地に到着し、車から降り仲間たちがトイレに行き、待っていたが待ちきれずイライラし、他害行為をしようとした。 それを止めたスタッフに当たり、注意を受けるとイライラのぶつけ所がなくなり、興奮する。近くに停めてあった一般の方の車のボンネットに足を乗せてしまった。	①自分のやりたかった草取りができず、不安になりイライラ、興奮につながった。 ②2班に分かれて先に出発することが難しい状態だった。 ③車には当たらないだろうと過信し、ノーマークだった。	①待っている間近くの草取りをしてもらう。 ②状況に応じて先に出発する。 ③興奮したら周囲に害を及ぼさないよう、細心の注意を払う。
4月18日	けやきの家 2階食堂	転倒	音楽が終わり、椅子から立ち上がった際、踏み台に足が引っ掛かり転倒(左側に) 左肩の上あたりをぶつけたのかたんこぶができていた。 アイシングをし、その後白山外科へ受診しました。	足が完全に踏み台から降りていなかったため(推測) 音楽終了後、片付けをしていた時だった為、その瞬間を誰も見ていなかった。	利用者さんの行動から目を離さない。切り替わり行動の際は、踏み台など障害になるものを避けておく(当該利用者さんの場合)
4月25日	けやきの家	転倒	おやつ前の手洗いを終え、元の席に行くとき椅子が無く、スタッフが利用者さんの後ろから椅子を持ってきてくださり、座ったことを確かめ支えていた利用者さんの手を離れた時にバランスを崩し、机の角で右の額を打った。	座った利用者さんが机に近づくために、机と利用者さんの間にいたため、手を放してしまった。 もう少し安全を確かめて手を放すべきだった。	前に倒れやすいということをもっと心に留めて支援する。
4月26日	なかよしハウス	転倒	ハウスから外に出るが、すぐ戻られる。 玄関の段差を上がろうとしてよめられる。別のスタッフが手を持って対応したが間に合わず、転倒する。左後頭部と左臀部を打つ。 すぐ頭と臀部をスタッフと確認、15:30けやきの家へもどりサビ管に報告。確認してもらいが特に外傷はありませんでした。	外から玄関に入り、スタッフには伝ええず利用者さんから離れてしまったことが転倒の原因だと思います。	今後は対応を直接頼むこと。しっかり『お願いします』と伝えることをしていきたいと思います。
5月17日	なかよしハウス	転倒	利用者さんと一緒にハウスの玄関まで入る。部屋に入り長椅子に座ってもらおうと両手で後ろから支えて、床にあがってもらおうと介助したが右足が動いておらず、結果的に倒れて右膝をついてしまった。 すぐにトイレにて足の状態を確認し、15:00にも調べるが外傷等ありませんでした。	右足が動いてないのに気づかず、上半身を動かしてしまったことが原因だと思います。	無理に身体を動かすのではなく、足が動く準備ができたなら介助する。 支える時は後ろから左手で片側を持ち、右手で前の片側を持ちポジションを取る。万が一転倒しそうなっても、その体勢で介助していきたいです。
5月18日	分場駐車場	物損	午前中のCグループ外出から帰ってきて、午後の外出を行いやすくするためにハイエースをバックで車庫入れをした際、分場の緑の柱に衝突する。	車庫入れをバックで入ってしまい、距離感を見誤り、傷つけてしまう。 運転行為、業務で決められた「前から駐車」ができていない。 後方からの車庫入れに対し、ハイエースのような普通大型車なら車の下にぶつからないので良いと考え違いをしている。運転のルールが徹底されていない。	車庫入れの技術的な問題と、やむを得ず後方から駐車する場合、他のスタッフに後方確認を依頼する。 利用者さんが暴れたり、大声を出している時は、運転しづらいので、静かになるのを待つ。
5月23日	けやきの家食堂	誤嚥	昼食中、気管支の方に食べ物が詰まった(誤嚥) 始めは軽い咳の状態だったが、次第に咳き込みが激しくなり顔色も非常に悪くなってきたので、口の中の物を出し背中を強く叩き、咳をさせて吐き出させた。5分くらい続いた。	入れ歯なし。細食だが、肉は固く噛み切れず、そのまま飲み込んだ様子。	細食より、刻みの方がよい。絶対に1人で食べさせない。
5月25日	けやきの家1階	パニック (他害)	昼食時、1階玄関近くで座っている利用者さんに近づいていったので、他のスタッフが利用者さん同士を離すと、当該利用者さんがパニックになった。そして、ソファに座っている他の利用者さんに頭突きをしたので、自分と他のスタッフで止めに入り、自分は脚を噛まれた。トイレ誘導したがしばらく暴れ、その後トイレに入り静かになった。	当該利用者さんは、普段から利用者さんの後ろについていく様子がみられる。今回、利用者さんに触ろうとしたが、スタッフが引き離したので、触れなかったのが引き金になったと考えられる。	利用者さんの動きをスタッフ全員が注意深く観察する。 また、パニックの前兆が見られたときはトイレ誘導等の早めの声掛けをするのと共に周囲の安全確認や導線の確保を行うようにする。

6月13日	けやきの家 (調理室)	引火 (ヒヤリ)	麦茶を沸かすため、やかんに水をいれて強火にしたところ、横にあった布巾に燃え移った。 すぐに発見し、直ちに消した。	コンロ周辺に燃えやすいものがあるか確認していなかった。	確認を徹底する。
6月14日	けやきの家	パニック (他害)	皆で机に向かい創作している中、ジッとできなくなった利用者が椅子から立ち上がり長椅子に座っている利用者の前を通り過ぎる際、急にパニックになり利用者の後ろから抱きつき、下着の上あたりを噛んでしまった。 すぐアイシングをし、様子を確認する。(歯形有り、出血無し) 12:40頃赤みは落ちついていた。 15:30頃赤みはほぼなく、歯形くっきり。	急にパニックになるというのを知っていたにも関わらず、皆で作業に集中し、きちんと見ていなかったから。	常に周りに目を向け、利用者さんに背を向けられないように気を配りながら支援する。
6月19日	けやきの家 (駐車場車内)	他害	朝けやきの家へ来所し、車で待機中、後部座席から前に座っていた利用者の左肩につかみかかってしまう。	お迎え時からあまり調子が良くなかった。	不調の時には、席を離れて座るようにする。
6月21日	愛知青少年公園 築水池東屋	確認不足	西高森山までの散歩に出発し、築水池前の東屋でコーヒー休憩をし再出発をしたときに、当該利用者がそのまま東屋で座っていることに気付かず出発してしまう。	散歩の再出発時に点呼確認をせず出発してしまった為。 (先頭リーダーと後方スタッフのダブルチェックが成されていなかった為)	確実な出発前点呼の実施。 行進中の頻繁な人数確認が必要
6月23日	けやきの家	他害	給食を食べている時、隣に座っていた利用者さんにいきなり近づき、頭に自分の頭を押し付ける。その利用者が逃げられないように首に両手を巻き付ける。	ここ3週間ほど調子が悪い日が続いている。今日は来所前にGH(グループホーム)の見学に行っていて、そのストレスもあったかもしれない。	本人の調子が悪そうな時は、他の利用者さんを近づけない。
6月23日	外出先	ヒヤリ	午後の外出時の休憩時に利用者さんの頓服薬のチャックが開いているのと同時に中身がないことに気づいた。外出先の自分が歩いた場所を探したが見当たらず、バスに戻ると自分の隣の利用者さんの席にあった。	朝薬袋を持ち出す際に、中身やチャックが開まっているかの確認不足だった。他のスタッフからは、利用者さんは自分のノートが入っているファイルのチャックを開けることもあるので開けたかもしれないと聞いた。	薬を持ち出すときは、中身やチャックが開まっているかの確認をかならずする。バス等の密着した場所では近くの利用者さんが薬袋に触る可能性があることも頭に入れて注意する。
8月22日	ほくと前の車内	ヒヤリ	帰りの送迎で、ほくとに到着後利用者がドアにロックをし、降りようとしなかった。スタッフが降りるように声掛けをし、開けようとするが手を払い拒否をする。 ドライバーがロックを解除し、ドアが開き(最初に誰があげたかは不明)ホームスタッフが降りるように促すが利用者が閉めようとした。ドアが止まり、再度動き出した時に左足が下の隙間に挟まってしまった。	スタッフが利用者さんに降車拒否がある事を知らなかった。 今回の拒否が見られた際の利用者さんの体の向きや、脚の位置等から、起こりえる危険性を意識していなかった。	今回のケースでは、スタッフは利用者さんの隣に座っていたので、降車の際に足を挟む危険性があることを踏まえ、脚全体が見える位置から見守りをすれば危険にいち早く気づき、対応できた可能性がある。 今後、同乗スタッフとして乗る機会には、左記のことを頭に入れて行動する。
8月31日	けやきの家食堂	誤嚥	給食のちらし寿司を食べていると喉が痛い(?)と途中でやめてしまったので様子を見てみると、苦しそうな表情になった。 背中を叩き、咳をするよう促すとゴホンと大きい咳と共に、輪切りのキュウリが口から出てきた。	細食でありながら、調理される際輪切りのまま出され、本人は噛まずに飲み込んだ様子。	本人の目の前に出す前に、細かくされているのか再チェックが必要。 目の前にいて注視する。
9月2日	1階B室	誤嚥	外出の日で、ホットモットで弁当(カルピ丼)を買い、B室で食べる。肉は細に切り、ごはんはタレがあるが、少しお茶をかけて食べやすいようにした。(前日にキュウリの薄切りを喉につまらせている) ゆっくり食べるよう、よく噛むように促したが肉の大片の方は本人も注意していた。 突然せき込んでいたので、背を叩いて出すが、ごはん3粒のみ、本人に指を口に入れてもらおうが何も出さず、本人ももうないと言う。数分せき込んで顔も少し赤くなった。	足の爪が割れてお姉さんに病院に連れて行ってもらう件で"3時半に来る"と気にして、1日中その話をしていた事で気持ちが安定せず、食事に集中できていなかったため。	食べる時に、大きな具は切る。ご飯はお粥にする等、本人と話し合って納得した状態の食事にする。
9月5日	2階調理室	火消し忘れ (ヒヤリ)	朝8:45頃、お茶を沸かし終えた後、コンロの火を消したつもりが、弱火のまま送迎に出てしまい、調理担当が9:30に出勤した際気付く。	コンロの火を消すダイヤルを押さずに左にダイヤルを回したのみで消えたと思ひ込み、消火を確認しなかったことが火が消えていなかった原因と思われる。	再度ガスの消し方を教えてもらい、ガスを消してみました。 火をつけて消すときはボタンを押してから消火を確認する事を自分自身でチェックするように徹底したいと思います。

9月13日	元気牧場	落馬 (ケガ)	乗馬の取り組み中、10:40頃下馬ポイント付近で馬が飛び跳ね、乗っていた中谷さんが落馬した。左足腰→尻→左右肘の順に打った。すぐ怪我の状態を調べたが、目だつ怪我等はなかった。乗馬中の利用者さんがしっかりと手綱を握っていたことや、男性スタッフが咄嗟に片手で受け止めたので、軽傷で済んだ。	虻が乗馬場に発生しており、馬の後ろ足を刺したことによって馬が急に飛び跳ねだした為。	虻の発生が著しい場合は、除虫作業をお願いする。普段は乗る利用者さんが男性の時でも女性ボランティアの方がつく事もあるが、いざ落馬してしまった時に受け止めやすいように男性スタッフが両サイドについたり、虻の発生状況により一人ずつ両サイドに虫よけスプレーを持って備える等を検討する。
9月14日	2階	転倒	昼食後、左右に支えないソファに座って(ピンクのソファ)左にゆっくり滑り落ちて、茶色のソファとの間に横になっていた。	左右に支えないソファに座っていて、見守りをしている人がいなかった為。	左右に支えないソファに座っていたら、支えのある椅子に座ってもらい、見守る。左に傾きやすいため、左にクッション等を置く。
9月29日	調理室	与薬遅れ	15:00 昼食後飲み忘れに気付く デバケンシロップ5ml(てんかん発作を抑える薬) 15:03 看護師がサビ管に報告し、今から与薬する旨を伝える 15:05 デバケンシロップ5mlを与薬	スタッフと看護師の確認不足。	朝必ず冷蔵庫からデバケンシロップ毎日の薬ポーチに付けるスタッフ、又は看護師が与薬したかお互いに確認していく。
10月6日	2階調理室	他害	利用者がコンロの前で調理中、窓際の椅子に座っていた他の利用者が近づいたところ、利用者さんが突発的に押ししまい転倒しかけるが、側にいたスタッフが左腕を支え転倒は避けられた。その時に左上腕部を支えた為、圧迫痕ができてしまうかもしれない。 (11:15 トイレにて身体確認。左上腕部圧迫痕など無し 13:10 トイレにて身体確認。左上腕部圧迫痕なし)	利用者が調理にとりかかろうとしたところ、他の利用さんが近づきすぎってしまったため。	コンロを使用する時は左側を使用し、火を使うときは椅子に座ってもらおう。 調理中(特に火を使っている時)は今まで以上に利用者さんの動きに注意する。
10月6日	モリコロパーク	薬紛失	外出でモリコロパークへ行き、そこで昼食を摂る。食後、薬を飲んでからおとうと薬ポーチから薬の入っているビニール袋から薬を取り出すが、見てみると普段なら漢方の袋にテープでビタミンのカプセル錠がくっついているが、ビタミン剤がない。袋や薬ポーチの中、周り(床など)落ちていないか探すが、ない。 けやきの家、サビ管に連絡し、外出から戻ってから服薬する。 15:20 外出から戻った時に紛失して飲めなかったフィトナジオン1錠内服する。	薬を袋にいれた際の確認不足。 漢方薬にフィトナジオンをつけるテープにしていたので落ちてしまった。	漢方薬にフィトナジオンをつける際、ホッチキスにする。 薬を袋にいれる際、又当日の朝薬の中身まで再度確認する。 袋に錠剤1、漢方薬1と表記し、誰にでもわかるようにする。
11月2日	けやきの家調理室	転倒	創作で絵の具を使用し、手が汚れた為スタッフが洗うよう声掛けする(2~3回) 「イヤ!」と身体を左に寄せひじ掛け辺りに体重を掛け、拒否姿勢。スタッフが3回目声掛け、また同じような姿勢になり、椅子が倒れ本人も落ちる。椅子左側が壊れる。倒れた時に椅子が壊れたのか、徐々にひじ掛けが外れ(ヒビ?)倒れたのかはわかりません(瞬間はみてません)	椅子が老朽化によって、左右に揺られることに耐えられなかった。	普段から物品の状態を点検し、状態の悪い物は使用しない。
12月22日	正面玄関下駄箱付近	脱輪 (ヒヤリ)	車いすで自走中、段差があるのにも関わらずバックした為、左後方のタイヤが段差から落ち、車いすが傾いていた。 近くにいたスタッフがすぐ気づき、車いすを元に戻した為、転倒することはなかった。	普段から、周りを見ずに自走してしまう傾向があるにも関わらず、見守りを怠った。	人混みが多い時や、危険箇所を自走する時見守り重視する。
12月27日	けやきの家外ベンチ	転倒	外(けやきの家駐車場)で、スタッフが隣について歩いていたが、地面のへこんだ部分に右の靴のつま先が引っ掛かったのか、つまずき頭から転倒。手の指が口の中に入っていたのもあり手が付けず。咄嗟のことでまさか転倒するとは思わず、スタッフも手を伸ばす事が出来なかった。 10:10 右側頭部擦過傷有り、発赤あり、腫脹軽度あり、出血なし、消毒する。 アイヌノンを外出するまで(~10:50位)貼用する。 トイレにて身体確認。右大腿部に薄っすら擦過傷(棒状)あり。 14:30 外出先に電話で状態確認。昼食、おやつは完食し、歩行も変わりなし。	右足がいつものように上がっていかなくて、つまずいてしまった。 ほんの小さな段差?でもつまずくことがあると認識しておく。	1人で歩行している時も近くで見守り、足元がふらつくときは、身体を支えるようにする

1月10日	外出先	転倒	外出でバスから降り、2、3歩歩きつまずき、転倒。 手が出ず、顔面から打つ(左側) 12:00 サビ管、看護師が外出先へ。 ・左鼻口下縦約1cm弱切傷あり出血わずかにあり ・左額擦過傷あり、他頭部傷なし ・左上眼瞼腫脹軽度あり ・左膝擦過傷軽度あり ※本日は入浴なしとする。他症状観察していく。 お母さまがみえ、バイロール軟膏塗布され、様子見となる	歩き方、すり足歩行でつまずきやすい	支援者がしっかりと支える
1月18日	2階	転倒	椅子に腰かけていましたが、ずり落ちてそのまま仰向け床へ落ちたようです。 12:45 トイレにて身体確認。今のところ頭部・背部・臀部など痣なし。歩行もいつも通りできている 12:50 Bp 154/106mmhg 脈85	浅く腰かけていて、脚が滑ったのも重なったと思われます。	目を離さない。離れる時は他のスタッフに声掛けする。 椅子に深く座ったことを確認する
2月7日	けやきの家室内	自傷	1階ブレイルームにて15時過ぎに席を立ち、後ろの壁に向かい自傷行為をされ頭部右側を出血する。すぐにサビ管に報告を行い、傷を見てもらいその場でカットバン処置を行う。	横にいた職員が他の利用者さんの対応している時に1人になった利用者さんが自ら後ろのコンクリートの壁に向かってゴンゴンと頭を打ち付け出血(頭部右側)してしまいました。	調子が悪い時は必ず横につくようにし、対応できないときは、他の職員にお願いし対応するか、横になっていただくことも必要だったかなと思います。
3月6日	けやきの家二階	物損	エアロバイク前にいた利用者さんに対し、無理やり移動させた。声を聞いたスタッフが近づき注意する。スタッフがボウシ取り上げ、しばらく持った後に本人が持って行く。 調理室に入り、自らハサミを取り出し、帽子を切り裂いた。	注意する人数が2名で、本人との距離が近すぎた。 本人の持ち物を取り上げる時間が長すぎた。	注意する人数は1人で他は声、手を出さない。
3月8日	調理室	ケガ	いつも調理室で一緒に職員が帰ってきて、嬉しさのあまり調理室や食堂をウロウロしたり、職員の物を移動させたりしていた時に急に鍋の蓋を開けてしまわれる。(30分前には火を止めていた)蓋の裏に着いたしずくが右足甲に垂れたようで、動きが止まったのですぐ靴下を脱がし、見ると赤くなっていた為冷やして様子を見る。	今まで何度も牛乳パックを調理中煮ていたが、側には来ないと思いこんでいた。	金曜日に煮る時は、利用者さんの様子を見てやるかどうか判断をする。
3月13日	けやきの家外	他害	バスから降りる際、前にいた(降りている途中)利用者さんを押す。	早くおりたかったから。	降りている人がいるときは、後方に居させない。降りてから、次の人。
3月13日	けやきの家外	他害	隣に立っていた仲間を押してしまう。	自分の真横に人がいて怖かった？	なぜ人を押すのか？ 押す可能性があるのであれば、配置をかえる。
3月14日	けやきの家	食事提供(ヒヤリ)	昼食のメニューにオクラと長芋の和え物がありました。長芋もアレルギーのあることに気付かずに利用者さんに配膳を行ってしまい、気が付いた時(サビ管が気付き教えていただく)には食べ終わっていました。 体調の変化がないか様子をみていました。	アレルギーに対する認識を怠っていたことと、配膳時に個人のプレートを見て確認することが出来ていなかった為	配膳時に利用者さん一人ひとりのプレートを見て食事の内容を確認すること、食べ始める時も周りのスタッフで確認すること。
3月29日	調理室	火傷(ケガ)	調理中、できたスクランブルエッグをフライパンからお皿によそっている時に(できて5分位)の淵を右手小指で誤って触ってしまわれる。 すぐ、冷水で右手小指を冷やす。みどころ腫れはない。サビ管に報告し、右手小指を見てもらう。特に異常なし。 看護師に診てもらう。異常はないということでした。	フライパンからお皿に移す時に、指で触ることを想定してなければならなかったと思います。	熱いフライパンを使うときは、必ず職員が見守り、危なそうな時があったら利用者さんから職員がかわって調理していこうと思います。

ヒヤリハット件数と内容(内訳)	
(内容)	(件数)
逃走・脱出	0件
ケガ	3件
怒り	0件
パニック	3件
誤薬・薬飲み忘れ	2件
他害・自傷 (噛みつき・爪たて等)	9件
物損	2件
異食	0件
転倒 (ぶつける含む)	9件
誤嚥	3件
ヒヤリ (スタッフ・利用者)	7件
※内容により重複あり	合計： 35 件

④事故・苦情報告

事故…7件 苦情…3件 要望…1件

発生日	件名	内容	ヒアリング	確認	その後	今後の対策
4月5日	運転マナーについて (苦情)	4/5(水)16:50頃 けやきの家に電話あり(女性 匿名) ○内容 16:30~40頃、19号を走行している時にけやきの家と書いてある白くて、緑で絵が描いてある車が、急にウィンカーを出してすぐ車線変更して割り込んできた。 子どもを乗せていたこともあり、とても怖かった。車線変更後にハザードを出せばよいという訳ではないし、福祉車両として危険行為だと思うので、今後はそのようなことがないように運転する人に言ってください。車両変更してから、そのまま春日井ドンキの信号を曲がっていった。19号は車線と車が多いので、急いでいたかもしれないが危険行為なので今後ないように。	該当するスタッフに事実確認を行うと電話内容と同じルートで運転していた。広い道路で、制限速度で運転し、車間距離にも余裕はあったと言われた。	危険運転をしたという意識はなく、通常通りの運転だったという認識であった。	苦情の連絡の際にその後の電話連絡は不要と言われる。	事業所の車で看板を背負っていること、普段以上に安全運転に心掛けるよう伝える。
6月12日	物品の取り扱いについて (苦情)	土曜日(6/10)帰宅後、外出すると言い、肩に袋とショルダーポーチを掛けている。 「その持っているものは女の子のだよ」ピンク、女の子の絵。どう見ても女物。『けやきの〇〇さんに貰った』おかしいから、それはやめて!! 本人は聞き入れず、外出に使用して行く。 親は、彼の持ち物、袋、鞆等中に入っている品物も理解できないほど多く、しばしば注意するのだが、片付け、整理ができず困ってました。 そこにピンクの女物ポーチを何の意味があって男性に渡されたのか。今までは服、靴等男物を使用していました。 本人に選択する力はありません。季節の理解もできず、親が用意するだけ。 このポーチを渡して下さった意図を知りたい。解らない人だからいいの？ 本人が欲しかったから？ 親は要りません。そちらで本人に話して返してもらって下さい。 外出先では、「あれあれ！」と見た人が多かったのではないのでしょうか。 心外で相談の文を書きました。	元々は破棄しようとしていたが、他の人からけやきに家に寄付してはどうか？と言われ、寄付することにした。それを利用者さん本人が見て『欲しい』と訴えがあった。個人の判断であげる事は出来ないで管理者かサビ管に確認するように伝えた。その後、勝手に持って帰っていたことは知らなかった。	スタッフはあげるという話はしてないこと、バックはけやきの家に寄付されたものであると伝え、返却を求めるとポーチを出して渡してくれた(特に抵抗もなし)	6/12(月)に確認した内容と本人のやり取りを母へお伝えし「手元にないなら解決ですね」と納得されて今回の件は解決しました。	スタッフには、物欲が元々強い方なので物のやりとりには気を付ける事と、自分で判断が難しい時には、本人と一緒にサビ管の所まで相談にくることを伝えました。

10月30日	荷物確認について (苦情)	2023年11月2日(木)夕方に事務所の冷蔵庫の上 に保冷バッグがあるのをスタッフが見つける。 ネッククーラーは冷やした状態であった。そ の後保護者の方から電話有り。 保冷バッグとシロクマのタオル、ネッククー ラー2つがけやきの家にないか確認が入る。 ちょうど見つけたことを伝える。	10/30(月)にけやき の家で使うために靴が ら出してから元の場所 に戻していなかった (スタッフいわく、月 曜日に散歩に行くとき に持って行ってもらっ たとのこと) そのまま誰が運んだか 不明だが2階にあり、 それを管理者が見つ け、事務所の冷蔵庫で 冷やしていた。 母は、靴に入っている と思って気付かなか ったが、水曜日の輪来 工場の時に使おうと して、ないことに気が 付く。輪来工場には ないため、けやきの 家に確認の電話を 入れた。	利用者さんからの荷 物は、取り出す人・使 用した人などそれが 責任を持って、どこ にあるか把握し、返却 したことを確認する 事。今回、誰が最終 的に持出して2階に 置いたかが不明であ るため、今後はきち んと把握されている 状態にしておく。 やりっぱなしにし ない。	11/6(月)母がけや きの家にいる時に改 めて謝罪。 「とても大事な物な ので無くなっては困 るので、管理をしっ かりしてほしい」と 正式に苦情がはいる。	忘れ物がないよう に荷物の確認を帰 りに行う。また、 散歩などで持ち 出しがあった場合 は、担当したスタ ッフが責任をも って管理する。ま た、周りに伝え ておく。
2月16日	外出時に気を付けて欲しいこと (要望)	2024年2月16日(金)18:00頃母より電話あり。 けやきの家に久々に行っての外出で楽しんで 自宅に帰ってきたが、腰と足の痛みがある様 で押さえている。長距離や階段を歩いたと連 絡帳に書いてあったが、預けている靴に履き 替えて歩いていたか?サンダルから履き替え られなかったときは、身体への負担が大き いので、散歩は控えるか短めにしてほしい。	スタッフに電話を受け てから聞き取り確認。 靴を用意したが、本人 が拒否。サンダルのま ま外出。本人の様子 として、歩行中はニコ ニコと表情もよく、庇 うような歩き方や、痛 みを訴えるようなこと はなかった。 上記内容を母へ連絡 し、初めの電話のない ようをスタッフに周知 するように伝えまし た。 その段階では痛みも なくなったようで、金曜	足腰に負担のかかる 場所では、預かって いる靴に履き替える か、難しい場合は、 負担の少ない場所 に変更するかバスで 待機するなど負担 がかからないよう にする。	靴の横幅が狭いた めか、靴を履くの をその後も嫌がら れたので、預かっ ている靴を返却し 、新しい靴を用意 してもらう。	長距離の場合には 、靴に履き替えて もらう。履けな かった場合は、距 離を短くするなど 配慮して散歩へ 行く。

②「輪来工房」概要

事業区分	障害福祉サービスメニュー
生活介護事業所	自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会を提供します。

ア 総括

地域の方にご理解をいただき、7月から輪来工房としてオープンしました。オープンしてすぐは、事務用品も創作に使う画用紙等もまだ準備が追いついていない状態から始まり、スタッフも利用者さんも手探りで毎日を過ごしました。次第に物品も揃い、お客さんだった利用者達もけやきの家を利用していたのよう動き、思うがまま動かれる姿が多くみられるようになり、慣れてきた様子です。

けやきの家で行ってきた取り組みを基に、輪来工房での取り組みスタイルに変更し、輪来工房ならではの畑や薪作業を行いました。また、今まで参加の少なかった、生産活動等にもけやきの家と協力しながら活動の幅を広げています。

以前までは、散歩先だった場所が活動の場所へ移行したことで、慣れるまでもう少し時間がかかる方もいらっしゃいますが、安全に配慮しながら元気に通っていただけるよう努めています。

(1)各報告

①外出全体まとめ

2023年7月から輪来工房が開所し、慣れない中で安心安全に支援を行うために、チームで工夫し、少しずつメンバー構成を変更して、現在のメンバーに11月頃から落ち着きました。グループみんなで、どこへ行こうか、何をしようか、ここに行ってみよう…など話し合い1日外出を楽しんでいます。

給食を持っていく日とお弁当を買う日があります。けやきの家と相談し、コロナウイルス感染対策緩和により2月からレストランにも行けるようになりましたが、輪来工房メンバーは元気なメンバーが揃っていて、また、春休みにも入ってしまったので、レストランへ行けたのは1グループだけでした。来年度もグループで話し合いながら、楽しい外出にしていきたいと思えます。

○火曜日外出チーム

毎週火曜日に利用者さん6名、スタッフ2名体制で1日外出へ行っています。メンバーも変わりどんな外出になるのかな？と不安あり楽しみあり、でスタートしました。

今まで関わりの少なかったメンバーもいて、利用者さんに戸惑いの様子がみられましたが、少しずつ新しいメンバー、環境になれてきて、最近ではチームみんながまとまってきたように思います。

お弁当を購入しフルーツパークや四季の森に行き昼食を摂ったり、桃太郎神社、航空宇宙博物館、定光寺などを散策したりしました。普段は室内でお昼ご飯を食べている利用者さんにとって、外で食べられることは気分転換にもなる良い機会だったのではないかと思います。年始には成田山に行き初詣をしました。利用者さんがお正月のイベントを楽しんでいる様子を見られて嬉しく思いました。

また、レストランにも挑戦してみよう！と出発、着いた先には子供がいっぱい…春休み初日でした。私自身、レストラン外出をすることが初めてでドキドキしていましたが、みんなでフードコートへ行き、マクドナルドに行くことができました。

来年度も引き続き利用者さん達がそれぞれ楽しめる外出になるよう工夫しつつ、利用者さん、スタッフ共に楽しめる時間にしていきたいと思えます。

火曜日外出担当

○水曜日外出チーム

水曜日の外出チームは利用者さん5名・スタッフ2人のチームで外出を行っています。7月に4人のメンバーでスタートし、ほとんどチーム変更がなかったメンバーなので、11月から新たに1人メンバーが加わることはどうかな?と思いましたが、皆さん自然に受け入れてくれました。

遅れて歩いている人がいたら、手を繋いで一緒に歩いてくれたり、展望台に登った時に足がすくんで動けなくなった人に手を差し伸べたり、利用者が増えたことで、利用者同士の気遣いが見られました。

散歩、ドライブが多くなってしまいましたが、季節行事として大縣神社に初詣に行ってきました。急な階段もなく歩きやすく、皆で手を合わせてお願いをしてきました。何のお願いをしたのかと考えると微笑ましく思います。

外出で皆さんが楽しみにしている食事は個性が現れます。毎回同じお弁当にする人・いつもは残すのに、自分が選んだお弁当だと量が多くてもペロリと食べてしまう人など毎回新しい発見がありました。

今年度もそうでしたが、知っていると思っていても知らない事ばかりだったんだと感じています。来年度もこの利用者さんは、こうだと決めつけず利用者さんの新しい面を見られるようにそれぞれの持つ思いを見逃すことなく、やりたい事のきっかけ作りや後押しを工夫しつつ行いたいと思っています。

水曜日外出担当

○木曜日外出チーム

利用者6名・スタッフ3人のチームで毎週木曜日に外出を行っています。

5月にコロナ禍の制限が縮小されたこともあり車両2台を使って普段なかなか行けない市外の公園に出かけて全員で一緒に昼食を食べ散歩を行っています。

月2回お弁当を食べる日を利用者さん達は楽しみにされています。お弁当を購入するお店のリクエストを利用者さんに聞いて決めています。スタッフと一緒にお店に入り好きなお弁当を店頭で選ぶ人、メニュー表から食べたいお弁当を直ぐに選ぶ人、穴が開くほどじっと見つめ吟味して選ぶ人と様々です。

外出先で昼食を摂る時は、昼食準備の声かけをすると食缶、お茶、食器セットをすぐに利用者さんたちが準備してくれます。グループの一体感を感じる場面です。運んだ後は、準備をじっと待てる人、待てない人とそれぞれの個性が出る場面でもあります。

人の多い場所が苦手な利用者さん達なので落ち着ける場所と言うことで今年度は、定光寺公園、森林交流館、潮見の森、自然が豊かな場所に行くことが多かったです。散歩中は、スタッフと手をつないで歩く人、周りの物に興味津々で中々真っすぐに歩かない人、下り坂が苦手だけど歩けたことをアピールする人と、皆さん思い思いに散歩の時間を愉しみにされています。

スタッフにとっても利用者さん達が楽しめる姿をみられるのは嬉しい事です。来年度も引き続きこのメンバーで共に様々な体験をし、いろんな思いを共に感じられるように支援していきたいと思っています。

木曜日外出担当

②けやきの家・輪来工房合同イベントのまとめ

新型コロナウイルスが5類になったことで、みんなで集まることができるようになりました。職員同士、何が楽しいか話し合い、“けやきの家と輪来工房の全員でやりたい!!”の意見から、バーベキューと入所式クリスマス会に決定しました。

けやきの家・輪来工房と活動場所が分かれたことで、会えなくなってしまった利用者さん同士やスタッフと久しぶりに顔を合わすことができ、どちらもとても楽しいイベントになりました。

来年度は何をするのか…企画するところから楽しみです。

○バーベキュー

2023年10月20日に小牧市民四季の森の会場を借りてバーベキューを行いました。

3年前はコロナ対策でグループを分けての開催でしたが、今回は会場と隣の芝生広場にブルーシートとタープを設営して、けやきの家と輪来工房メンバー全員参加の初の合同イベントとして、普段とは異なるメンバーの組み合わせをして交流を深めました。

当日は、天気にも恵まれて快適に過ごすことができ、準備中や食事の合間に公園内を散策しました。準備ができると皆で「頂きます」の合図と共に食べ始め、ポテト炒め、ホットドック、ハンバーガー、焼きそば、焼き鳥、鶏肉、豚肉、牛肉等フルコースを満喫し、デザートのパフェまで皆さんしっかり食べられました。会場にすぐに移動できない仲間もいましたが、しばらく車内でお肉を食べたりして過ごしていたら、自分から車を降りて、全員集合することができました。普段、少人数を好む方もみんなと一緒に会場で食事をしたり、他のテーブルを見に行ったりと、同じ空間でそれぞれの過ごし方で楽しむことができました。おかわりをしたい人は何度もお肉をもらいに来ていたので、食べすぎに注意していましたが、帰宅後、お腹いっぱいでも晩御飯が食べられない方もいました。食に関するイベントは皆大好きなので、後で辛くならないよう配慮しながら今後も楽しめるイベントを継続していきたいです。

バーベキュー担当

○入所式・クリスマス会

7月に輪来工房が開所、10月には新規に利用者さんが入所しクリスマスイベントと利用者さんの入所式を合わせてイベントを行いました。

イベントに向けて10月頃から会場の飾りつけに使う看板、紙チェーン、ツリーなどをそれぞれの取り組みで少しずつ作り始め、当日には歓迎ムードいっぱい・クリスマスムードいっぱいの会場が出来ました。

入所式は、先輩の利用者さんの進行で行いました。理事長、先輩利用者さんからの歓迎の言葉に続き、お父さんから挨拶をいただきました。Q&A形式で好きなことや嫌いなことなどをお伺いしました。限られた時間しかなかったのも、まだわからない事はたくさんあります。これから、たくさん一緒に時間を過ごし、知っていききたいと思います。

クリスマス会は、けやきの家の金曜日に来ていただいている、音楽療法士の渡辺先生にお願いしました。先生の演奏に合わせて、楽器を大きく振って鳴らしたり、みんなで行進したり、普段外で活動することの多い仲間も一堂に会し、皆で楽しい時間を共有する事が出来ました。

普段なかなか顔を合わせる事がなかった利用者さんも集まり楽しめたので合同で開催して良かったと思います。次年度も一緒に楽しめる行事が開催出来たらなと思います。

入所式・クリスマスイベント担当

③外部講師 ホースセラピー

輪来工房では、外部講師を呼ぶことが難しく、来てもらって何かをしてもらうことができませんでした。けやきの家メンバーと一緒にホースセラピーに出かけています。

けやきの家の時からのメンバーを継続して行っているのも、乗馬には慣れてきています。乗馬が楽しみになり、馬場を1周してきても「まだ乗っていたい」と降りようとしないう方も見えます。馬のことが大好きで、餌やりの時、顔を馬の顔のすぐ前まで、近づけてなめられている方も見えます。元々、馬が苦手だった方も見えますが、慣れてきて餌をあげられるようになった方も見えます。

それまで怒っていたり、走り回っていても、馬と接している間、とても穏やかな時間が流れています。今後も継続して行い、穏やかな時間が流れていくといいなと考えています。

ホースセラピー担当

④看護師業務報告

まきのファミリークリニック精神科医の牧野先生による月1回のカウンセリングを行っています。輪来工房が開所され、今まで関わりの少なかった利用者さんの支援に戸惑うスタッフもいたと思いますが、牧野先生に特定の行動についての対応の仕方アドバイスをもらったり、頓服薬はどのタイミングで服用したらよいか等を相談し、スタッフ全員が情報を共有できるようにしました。その結果、医師によるアドバイスがある事で、自信を持って支援できるのではないかと感じています。

輪来工房に慣れてきたタイミングで、昼食後の歯磨きも始めました。はじめは抵抗感のあった利用者さん達も、毎日昼食後に歯磨きを行うことで抵抗が少なくなり、歯科通院での抵抗感も少なくなっていけばと考えています。

健康診断(9月29日)、内科検診(10月26日)、インフルエンザ予防接種(12月7日)は、輪来工房の利用者さんもけやきの家へ移動して実施しました。毎年けやきの家で行っている事もあり、利用者さんも混乱なく実施することができたと思います。

利用者さん来所時の体温チェックも、スタッフ協力のもと、毎朝続けています。また、マスクも継続して掛けられるように、声を掛けています。

今後も感染拡大を防いでいけるよう、検温やマスク、消毒などを継続していきます。

⑤作品展示まとめ

今年度は12月に市役所、3月にむがむちゅう展で作品を展示させていただきました。全員で作り上げたクリスマスツリー、クリスマスリースを市役所の展示会に出展また、「輪来神社」をむがむちゅう展に出展しました。

今回は制作過程も大切に、利用者さんが得意な事、できることから考えて作品を作り上げました。中には、やってみたら実は得意だったなど利用者さん自身も驚いたこともあり、作品作りを通して新しい発見をしました。

会場にきてくださったみなさんからもお褒めの言葉をいただきました、ありがとうございました。

作品展示担当

⑥生産活動まとめ

○紙すき

7月から輪来工房が開所され、けやきの家と輪来工房の2か所での制作が始まりました。

輪来工房では、ポチ袋などの製品作り、完成品のラッピングから始めました。今まで以上にたくさんの人たちが、紙すき・紙製品作りに関わることで、「もっと色々なものが作れるのでは?!作ってみたい!」ということで、新たにお守り・封筒・色付きハガキ(便箋)を作ることになりました。

全く新しい挑戦なので、失敗したこと、何度もやり直してみたことも沢山ありました。そのたびに利用者さんやスタッフとどうすればいいか、どうしたら作りやすいかを確認し合い、ようやく形になりスタートしました。

型とり→型切り→折り→のり付け→袋詰めとたくさんの作業がありますが、それぞれ利用者さんたちの得意なことを活かせるよう分担し作業を行いました。難しい部分をスタッフがサポートしながら一緒にを行い、少しずつできるようになったこともありました。何度も試行錯誤した製品なので、完成した時の喜びは大きいものだったと思います。

まだ、挑戦中の物もありますので、どんなものになるのか来年度も楽しみにしています。

機会があればぜひご覧ください。

紙すき担当

○薪作業

輪来工場の薪作業は、薪割りをしています。レバーを何度も動かし、空気で圧を加え、薪を割っています。けやきの家の時代からやっているメンバーは慣れたものです。サッと準備をして割っています。それを見ていたあまりやったことがなかったメンバーも「やってみる」とレバーを引いてくれました。代わる代わるみんながレバーを引いてくれるので、薪割りのペースも上がりました。

今後、販売ルートも考えていかないといけないと感じています。

薪担当

○カレンダー

工程はたくさんあり、どんな風景や様子ならその月に合っているかを調べるところからです。毎月の季節の絵は何かを考え、下絵を作ります。黒くする部分、白くする部分を一緒に考え、木に写して版画を彫ります。木に写したら、黙々と彫ります。彫り終わると、けやきの家で漉いた紙に版画します。まずは絵の部分を書し、日付を書します。版画が綺麗にならないと、せっかくの和紙も使えなくなってしまうので、一番緊張する部分です。けやきの家の時は、販売が12月末になってしまうことが多かったので、少しずつ作業時間を延ばし、少し早めの販売開始を目指しています。

カレンダー担当

○缶納品

けやきの家で潰した缶を輪来工場で納品に行っています。トラックにたくさんの缶を積み、納品へ行き、重さを測ってもらったら、缶を降ろします。

何度も積み下ろしをしないとイケませんが、「力仕事は輪来工場メンバーに任せて!」と、頑張っています。

缶担当

○畑作業

輪来工場で新しく始めた畑作業、始めはどうなることか…と思いましたが、隣のビニールハウスの方に好くしていただき、畑らしくなりました。

夏はナスとトマト、ピーマン、さつま芋を植えました。畑を耕すところから利用者さんで行い、苗を植えてからは、毎日水やりをして収穫を楽しみにしていました。

収穫が出来るようになると、みんなで採り、調理やおやつの時間におしくいただき、またひとつの楽しみになりました。

夏野菜が一段落したところで、花壇も作りました。こちら土を耕すところから始め、みんなで苗を植えました。

現在、えんどう豆、ジャガイモ、ラディッシュ、ベビーリーフ、玉葱、にんにく…とたくさんのが植えられています。

調理やおやつで食べられるようになるか楽しみにしています。

畑担当

(2) その他事項

① 会議等

職員会議(月1~3回) 計33回(内イベント担当のみの会議5回)

※7月からけやきの家と合同で職員会議を実施

* 職員会議では、利用者ケース検討(11回)、担当業務報告、イベント打ち合わせ、輪来工房の話し合い、ヒヤリハット報告の共有、その他連絡・検討事項が主な議題内容

② 防災訓練

避難訓練(11月・3月)実施

11月：調理室から調理中の出火。初期消火しても火が収まらずに駐車場へ避難

3月：取り組み中に地震発生。揺れが収まるまで机の下に隠れ、安全確認の上、駐車場へ避難

イ 体制

		2023/7/1時点		2024/3期末	
		人員	常勤換算数	人員	常勤換算数
管理者	常勤	1	1	1	1
サービス管理責任者	常勤	1	1	1	1
生活支援員	常勤	1	7.4	1	6.2
	非常勤	17		17	
調理員	非常勤	2	0.1	3	0.1
運転手	非常勤	3	0.7	5	0.8
看護師	非常勤	1	0.3	1	0.4
医師	非常勤	1	0.1	1	0.1

利用日数と利用率

区分別	区分4	区分5	区分6	
男性		8	10	18
女性		1		1
合計		9	10	19

利用者数

月	開所日数	延開催日数	延利用日数	延利用率
4月	0	0	0	0%
5月	0	0	0	0%
6月	0	0	0	0%
7月	20	380	302	79%
8月	20	380	299	78%
9月	20	380	305	80%
10月	21	399	331	82%
11月	20	380	316	83%
12月	20	380	298	78%
1月	17	323	266	82%
2月	17	323	269	83%
3月	20	380	308	81%
合計/平均	175	3325	2694	80%

※けやきの家と併用利用されている方含む

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	2024.3現在
男性	1	3	3	5	6	
女性			1			
合計	1	3	4	5	6	19

総契約者数	19名	割合
男性	18名	約95%
女性	1名	約5%

退所者	2024.3.31
男性	0
女性	0

ウ ヒヤリハット報告について

ヒヤリハット報告の提出数 18 件

発生日	場所	内容	要因	対策
7月6日	輪来工房	消灯忘れ 点灯場所 食堂と従業員の出入口 18:50 近隣の方より連絡を受ける。	輪来工房退社時に最終確認ができていなかった。	退社時にスタッフ同士がお互い確認し合う、声掛けができていなかったの で、朝礼・終礼でスタッフ全員に周知 する。
7月21日	輪来工房の敷地外	逃走	屋食後、輪来工房の敷地外にて草取りをする。出たことと草取りの場所を確認した後、目を離し見守りができていなかった。	外に出て草取りをしていたのを確認し、それ以上行かないだろうという思いがあり、見守りを怠ってしまった。
7月26日	輪来工房近くのフェンスで囲った雑草	ヒヤリ	13:15頃、雑草を引き抜きたいこだわりも強くなり、輪来工房近くの川の雑草を抜いてもらう際、フェンスに囲われた田んぼに入り、スタッフも雑草なのでいいと思いつェンスを外し、田んぼに入れてしまう。	フェンスに囲まれた田んぼであるのに自分の判断で利用者さんを田んぼの中にある雑草を取りに行かせてしまう。
8月29日	薪部屋	他害	薪部屋で利用者さんが寝ていたところ、他の利用者さんが手をあげ、眉間あたりに傷を負わせた。	輪来工房の近くには用水路があるので田んぼでしかも侵入防止のフェンスがある川に利用者さんを自己判断でいれてしまうのは言語道断 道路等、一個人の土地に入ることはしないようにしなければなりませんでした。
8月29日	薪部屋	他害	薪部屋で利用者さんが寝ていたところ、他の利用者さんが手をあげ、眉間あたりに傷を負わせた。	取組の場所、本来外出でしたが、メンバーが集まらず待機に使ってしまいました。
8月30日	マックスパリュウで停車中の車内	他害	エスクエアの最後尾に利用者さん同士が座り、マックスパリュウに向かっていましたが、信号などで車が停止するたびにイライラを募らせていた利用者さんが、急に隣の利用者さんに掴みかかろうとしました。スタッフの声掛けで利用者さんの手が届くことはありませんでしたが、安全ではなかったです。	予定と違う取組場所を使用する際は、管理者、職員に報告し、他に過ぎやすい場所がないか検討してもらおう。
8月30日	マックスパリュウで停車中の車内	他害	エスクエアの最後尾に利用者さん同士が座り、マックスパリュウに向かっていましたが、信号などで車が停止するたびにイライラを募らせていた利用者さんが、急に隣の利用者さんに掴みかかろうとしました。スタッフの声掛けで利用者さんの手が届くことはありませんでしたが、安全ではなかったです。	いつもと違う座席配置にしてしまった。危険度が高いにも関わらず、そのまま走らせてしまった為。
9月1日	輪来工房外の玄関付近	ヒヤリ	連絡帳袋にはさんであった新しい薬（いつもお屋に飲む薬が少なくなったので）をスタッフが受け取りそれをズボンのポケットにいれました。ですが、走るなどした為気付かず、その袋に入った新しい薬がポケットから出てしまい、外に落ちていました。パートさんが気付いて拾っていただきました。	利用者さんの大切な薬なのに、大切に預からなかったため。走るなどしたら、簡単に落ちるポケットに袋をしまってしまった為。薬を預かったなら、すぐに看護師さんに薬を渡さなければよくないので薬をお預かり(すぐに)しなかったから。
9月6日	駐車場出入口付近	薬紛失	午後から取組と一緒に、それに伴い午前取組と一緒にだったスタッフから頓服薬の袋を預かりました。その為、袋を開けて薬がちゃんと入っているかチェックしました。チェックしたあとに袋に封をするのを忘れてしまったようです。封が開いたまま歩いたので袋の中の頓服薬一つとその薬の説明書を落としてしまいました。説明書は輪来工房駐車場で発見。頓服薬は行方不明です。	利用者さんのものをもっと大切に扱う。利用者さんのものは、落ちる可能性があるところにしまわず、チャック付きの靴の中などに保管する。薬などを預かり次第、すぐに看護師さんや、いないときはサビ管などにお渡しする。
9月6日	駐車場出入口付近	薬紛失	午後から取組と一緒に、それに伴い午前取組と一緒にだったスタッフから頓服薬の袋を預かりました。その為、袋を開けて薬がちゃんと入っているかチェックしました。チェックしたあとに袋に封をするのを忘れてしまったようです。封が開いたまま歩いたので袋の中の頓服薬一つとその薬の説明書を落としてしまいました。説明書は輪来工房駐車場で発見。頓服薬は行方不明です。	袋など入れものを開けっ放しにしないために指さし確認をする。この頃、戸締りする時は指さし確認できるようにってきているので、入れもののチャック閉めも指さし確認して「よし!」と言う。物を大切に。大切にすることを強く持つ。薬は他の人が飲んだら危険なので特に注意です。

9月13日	元気牧場馬場	落馬 (転倒)	乗馬の取組の元気牧場において、一番騎乗として馬場周回を始め、スムーズに駒を進め下馬位置直前で突然馬が飛び跳ね馬の左脇腰沿いに左足、左右肘の順に着地した。	ぶよの吸血により馬が驚いた。補助者の対応ができてしまった。	牧場主へぶよ等の虫の発生時には特に虫の駆除をお願いする。 安全な範囲で近接し、不安定な騎乗者に気を配る。
10月11日	農村公園までの道	他害	農村公園へ向かい散歩中、途中で休憩に入る。声掛けをして農村公園まで促すがそのまま輪来工房に戻るようになる。 戻る道の大谷川側を歩いていると急に背中に噛みつく。 仰向けに寝転び右胸にも噛みつき、次に腕にも噛みつき左足上部、下部にも噛みつく。 左手薬指、人差し指にも噛みつき、落ち着きを取り戻す。そのまま輪来工房まで歩く。	散歩の途中急に抱きつき、噛みつき行為になる。 一緒に散歩している他の仲間が先に歩いているのを止めるが、奇声にびっくりしてとまろうとしない。	11:30 頓服を服薬し、落ち着く。
10月11日	農村公園までの道	逃走	農村公園まで散歩の途中で、疲れたのか休憩。ブルーシートの被さった機械を気にしている。 農村公園まで行くのを諦め、輪来工房に戻ろうとするが、急にもう一人の利用者さんのテンションが上がリ、奇声を発する。それが怖くなり、そのまま先に進み行方不明になってしまう。	他の利用者さんの奇声にびっくりしてしまい、止まるよう声掛けするが、びっくりした気持ちでどんどん歩いて行ってしまう。輪来工房までは戻れない。	11:40 輪来工房近くの橋辺りでウロウロされているところを発見される。
10月20日	四季の森 BBQ会場	ヒヤリ	けやきの家と輪来工房の合同BBQです。 使い終わった紙コップを火の中に入れて燃やそうとした。 火のついた炭に乗りはしたが、紙コップに火は移らなかった。 気が付いたスタッフが燃える前にコップを回収して安全なところに持っていき、ゴミ袋にいれても大丈夫だと思った時にそれを捨てた。	スタッフが一瞬の隙を作ってしまう、その瞬間に紙コップを火が付いた炭へ入れてしまった。 食べ終わった後でゴミ類はすぐゴミ袋に捨てなかったからかもしれない。	利用者さんに目を離さない。又、隙ができないようにスタッフ同士で声を掛け合う。 もっと緊張感をもつ。食べ終わった後の出来事なので、火から離れた場所で過ごしてもらうか、すぐゴミ箱に捨ててもらおう。利用者さんは炭火に投げ入れて燃えるのを見たい様子でした。今後、火を使うときは近くでは過ごしてもらわないほうがいいです。
10月20日	四季の森 BBQ会場	転倒	BBQイベントの際、同じグループの利用者さんが椅子から転倒した。 13:20 トイレにて身体確認 右手首に擦過傷あり、消毒、絆創膏貼用する。	3×3の6人がけのテーブル、椅子セットだったが、片方に3人座り、片方は1人しか座っていなかった。その1人が立ち上がると重心が3人側になり、傾いてしまった為。	テーブルと椅子の作りを把握し、支援に取り組む。
11月28日	事務所からトイレ前	他害	顔が曇り、女性スタッフの手をこねこねして、つねろうとしはじめる。 「〇〇さんは違うよ。手の力抜いて」で、手の力をだんだんと抜いてくれ、10分程で曇り顔がなくなりいつもの顔にもどる。 その後、20分程してから思い出したのか、男性スタッフの腕(服の上から)に爪を立てて蹴ろうとする。一人でトイレに入って落ち着いてもらう。	他の利用者さんがパニックになり、その声やスタッフが止めているのを見て、避難させているスタッフに爪を立てようとする。	早めに避難させ、ドア等を上手に使い視覚から見えなくする。
11月28日	輪来工房玄関	他害	玄関ホールにてパニックになり、暴れた。 突然後ろから抱きつき噛みつきに来たので怪我しないように制止しながら、落ち着いていただくため、シャワー室へ誘導した。	自分に言われた事と違い、パニックになった。パニック前に事務所に入るが、出るように言われ、帰りの車に乗ろうとするが、まだ早いよと言われ、本人はどうすればよいか、わからなくなった為、パニックになったと思われる。	声掛けの仕方を変える。 本人さんが見通しがつのように声掛けを変更する。 例)具体的に行動を伝え、わかりやすく伝えてあげる。
11月30日	外出時	パニック	外出支援でけやきの家に昼食用の弁当を受け取りにいき、けやきの家玄関前で駐車中、スタッフが弁当を取りに戻って出発する時、玄関を指さし「あー」「あー」というので、玄関にある赤いコーンや自転車、玄関前にある物を言うが当てはまらず怒り出す。	イライラしている時に当てはまる動きや物が解らない場合に困ってしまう。 ニコニコする言葉に言い当てると落ち着いてくれるので早く落ち着ける言葉をさがしたい。	本人の特性や普段から何に興味があるかなど深く接し理解する。
12月5日	輪来工房駐車場	逃走	敷地外に出て一人でいた。 見えるところに居たので、声を掛け一緒に散歩に出る。(輪来工房から一番近い橋の手前で追いつく)	散歩に行きたかったと思う。 敷地内にいると思って目を離していた。	常に所在を把握していなければならない。
12月13日	元気牧場	盗食	乗馬の取り組み中、乗馬→ブラッシング→人参やりで元気牧場を利用していた(乗馬)人のペットボトルの水を盗って飲んだ。相手の方(利用者さんのお母さん)は赦してくれた。スタッフはお詫びをした。	障がい者用車いすに掛かっていたリュックサックの横ポケットに入っていたペットボトル(水・いろはす)を見つけた。 スタッフは人参やりのほうに気を取られていて、椅子に座っていた当該利用者さんがノーマークだった。	けやきの家・輪来工房以外の方がいる時は注意する。 利用者さんから目を離さない。
1月4日	薪部屋	物損	送迎まで少し時間があり、外の椅子で待っていたが、何か物音がして薪部屋の中を覗くと、壊れた椅子を持って慌てて逃げようとする。現行を見ていないが、以前にも物をわざと壊そうとする行為を数回目撃している為、今回も本人が壊したと思われる。	待っていたいた場所が薪部屋にすぐ入れて、中に入ると死角になる為、本人の行動を見逃した。 薪部屋には誰もいなかった。	器物破損行為があることを頭の中に置いて、本人の行動を常に観察する。

ヒヤリハット件数と内容(内訳)

(内容)	(件数)
逃走・脱出	3件
ケガ	0件
怒り	0件
パニック	1件
誤薬・薬飲み忘れ	1件
他害・自傷（噛みつき・爪たて）	5件
物損	1件
異食	1件
転倒（ぶつける含む）	2件
誤嚥	0件
ヒヤリ（スタッフ・利用者）	5件
※内容により重複あり	合計： 18 件

事故報告 9件

苦情・要望報告 2件

2023年度 事故報告一覧

発生日	場所	内容	要因	対策	
7月5日	けやきの家下の輪来工房駐車場	物損	乗り上げてはいませんが、少し乗り上げる感じで車体左後方タイヤ付近をガリッと傷つけてしまいました。擦った感じです。(エスクエア)	輪来工房用の駐車場の出入口の幅が狭いのを頭にしっかり入っていなかったので擦ってしまった。 左折で駐車場に進入する時は、大きく膨らんで入らないといけなかったです。	車幅の距離感が自身の車と違うので安全運転を心がけます。
7月10日	輪来工房外トイレ	他害	外のシャワー室に入り、切り替えが終わったと思いき、濡れた服を本人の近くで絞っていたら、パニックになり、スタッフにつかみかかっていたので様子を見て別スタッフが入り手や腕などを噛まれてしまう。	落ち着いたと思いき、近くで服を絞っていた為。	利用者の特性を理解し、対応を行う。
7月14日	輪来工房スタッフ用駐車場	物損	利用者さんの送迎で駐車場に左折して進入する時、内回りしすぎて緑石に左後輪フェンダー部分をぶつけ、傷つけた。(エスクエア)	緑石の見落とし。	車幅の距離感が自身の車と違うので安全運転を心がけます。
7月25日	春日井市外之原町、林昌寺駐車場	物損	右折時に小回りしすぎた為、右側下部を玉垣で擦りました。(ハイエース)	前方不注意。	車幅の距離感が自身の車と違うので安全運転を心がけます。
10月30日	松本町4丁目 かなじぞう公園前	衝突	信号を無視して出てこられた自転車を避けることができず、衝突してしまふ。(アトラス)	相手の前方不注意。	警察に届け、必要な手続きを行った。
11月15日	愛知用水	物損	アトラスにて薪配達中、愛知用水沿いの道路を走行中、対向車とすれ違う時に左側に寄った際、ドアミラーをフェンスに接触させてしまい、左側のドアミラーを破損させてしまった。	対向車に気を取られてしまい、フェンスと車両の距離を見誤ってしまった。	自身の不注意であり、気を付けて車輛を走行させます。
1月17日	岩舟神社付近	他害	13:30頃、岩舟神社近くの池の道を散歩中、利用者さんも息が上がっていたので、休憩の声掛けをするが、本人が「まだ行く」というので、神社用水路側の道でもう一度「休憩したい」の訴えがあり、「しばらく休憩ね」、「トイレにいくね」と言いトイレにいと後ろから頭部、右手指、上腕、下腕、左右の脚、各所に噛みつく。		最後の休憩の時、「先にトイレに行くね」と声を掛け、休憩してもらおうつもりで伝えるが、本人は「トイレに行く」を「一緒に行く」と間違っていたのかも。スタッフが先にトイレにいるのをパニックになったのかも。あまり声をかけすぎも良くなかったようです。
2月6日	輪来工房駐車場内	物損	利用者さん送迎でハイエースをバックし、方向転換をしようとした時に後方に停車していたエスクエアのハッチバックにぶつけてしまった。利用者さんが同乗していたが、怪我はなかった。	後方の確認が不十分であった。	車両を使用する時は常に周囲の状況を確認し、安全に使用する。 1、周囲の状況確認(利用者さんの有無、車両の位置) 2、車内の安全確認(シートベルト確認)
2月21日	輪来工房内	他害	昼食後、他の利用者さんがテンション高く何度か衝突。その後自分から頓服を飲まれましたが、なかなかテンションが下がらず、14:50にパニックになってしまふ。	テンションが上がっている時に、離れることができず、そのまま近くにいたため。	機嫌が良くても基本的にハグなどされない距離を保つようにする。

発生日	件名	内容	ヒアリング	確認	今後の対策
11月28日	パニック報告後の連絡 (苦情/要望)	<p>11/28 (火) 14:30頃、帰れると思った利用者が時間よりも45分程早かったこともあり、「まだだよ」と声を掛けていた。その間にも事務所に入ろうとしたこともあり、止められていた。14:45頃外へ行くこととする(何回目か)ので「もうちょっと待って」と言うと、パニックになる。大きめのパニックで他の利用者が近くに来たこともあり、男性スタッフが間に入る(他の利用者さんを避難させている間)</p> <p>男性スタッフの腕を引っ張り噛みつきこうとするが、手を払ったりしながら回避していた。</p> <p>当該利用者さんはそれでも噛もうとして、下に引っ張り寝転ぶ形になる。他の利用者が避難できたこともあり、スタッフも離れようとするが、腕を離してくれずなかなか離れられなかった。離れたところで、シャワー室へ行くよう(切り替え)声を掛け、シャワー室へ。15:00シャワー室内で頓服服薬。</p> <p>15:15帰宅時間の為声を掛けると、出てきて少しすっきりした顔をしてお宅とする。</p> <p>シャワーから出てきた時に、右目こめかみ付近が赤くなっているのを発見。</p> <p>自宅へ到着する前に大きめのパニックがあったこと、右目付近が赤くなってしまったこと、手を払ったりしている時に当たってしまったのかもしれないこと、15:00に頓服を飲んだこと、多分ではあるが、帰れると思ったのに帰れなくてパニックになってしまったことを伝える。</p> <p>11/29 9:00頃電話あり</p> <p>朝起きたら、目が充血していること。大きい声が苦手なのに、大きい声をだしたのではないかと</p> <p>噛みつきことがあるので、顔を押しさえたくなるのはわかるが、今回目の近くに傷ができたこと、朝になり目が充血していることもあり、怖いで顔を押しさえるのはやめてほしい。</p> <p>機能の状況を説明し、対応したスタッフのことを気にしていたので、別の人ということも伝えた。</p> <p>今後パニック時にスタッフに噛みつきこうと向かってきた時にどう対応したら良いか伺う。</p> <p>自宅(父・母)では、顎をグイッと上げるようにしている。(顔を上に向かせる感じ)</p>	<p>早めの頓服をする。</p> <p>本人への声掛けは穏やかに明確にする。</p> <p>(昨日は送迎時間より30分程早く本人が帰ろうとしたため、「まだだよ」と伝えていたが、「15:15になったら」(時計がなんとなくわかるので)など、見通しが持てるような声掛けをする)</p>	<p>①本人への説明は明確に、スケジュールを伝え、本人に確認をし、拒否が出る場合は無理に誘わない。誘っても本人が行動に移す事はない為、無理強いせず、本人が自身で切り替えるタイミングを待つ行動に移し、その間、集団での取り組みができないとしてもやむを得ないとする。</p> <p>②女性スタッフが多く、力では対応できない為、周りの利用者と一緒に避難する。</p> <p>③パニックが起こると他の利用者も連鎖的に怒りが伝わってしまう事がある為、他の利用者の安定を意識し、支援をおこなう。</p> <p>④パニックは自身で落ち着く事ができる為、本人への過度な声掛けをやめ、「シャワー-いいよ」等切り替えに繋がる環境や動作を促し、本人自身で収めてもらう。</p>	<p>人それぞれパニックを起こす・起こる要因は様々あるが、スタッフとしては現状できる限りの対応と頓服を併用しながら対応していく必要がある。また、スタッフに対してであっても人にケガを負わせる行動・行為は利用者本人が生活するあらゆる環境下において、他者からはマイナスの面で捉えられてしまう事が多くあると考えられる事から、噛みつきなどの自己表現方法ではなく、他の表現方法を模索する必要性と普段から発している本人の表現や状態を観察し、その中でも本人の表現をうまく活用しながら、支援に携わる事が求められる。また、本人の表現を過度に重視する事で、生活介護事業所として大切にしている集団での行動が行えなくなる場合も十分に想像できる為、何にしましてもバランスが大切であると考える。</p> <p>職員においても、行動障がいの特性を理解するための研修を行い、「行動障がいとは何か」の基礎知識の習得と利用者個々の研修を今後取り入れ、利用者対応力を補い活かす事が必要であることから、そのような機会を設ける。</p>
2月13日	お店の駐車場 (苦情)	<p>2024年2月13日 14:20頃</p> <p>けやきの家に男性(他の客)から電話あり</p> <p>13:55頃、篠木のトップワンの駐車場で、紺色のワンボックス(ハイエース)に乗っていた人が壁に向かって小便をしていた。職員が隠すように立っていたが、お客はみな嫌がって離れていたし、自分も不快だった。店内にトイレがあるのにわざわざ壁でさせるのはおかしいのではないかと二度と見たくないの、今後ないようにしてもらいたい。今回、車の後ろに、事業所の名前と番号がかいてあったからその番号で連絡した。</p>	<p>電話を受け、当該する車がハイエースであったため、輪来工房のサービス管理責任者へ連絡し、事実確認を依頼。確認の結果、調理の買い物に出掛けていたグループであると発覚し、事実確認と理由を確認し、出発前にトイレに行かなかったために到着して、車から降りてトイレ誘導の声掛けをすると利用者がズボンをおろしてしまい、トイレまで間に合わないと判断し、駐車場ですませてしまった。</p>	<p>①外に出る前には必ずトイレ誘導を行う。外出する前の基本であるトイレ誘導が出来ていなかったのが今回の一番の原因。</p> <p>②声掛けは、利用者さんに分かりやすい声掛けになるよう工夫する。声掛けが直線的で利用者さんが余裕をもった行動に出られない様子が見られると指摘されていたが改善されていなかった。</p> <p>③取組の目的が何であるかを考え、それに沿った声掛けになるようにする。今回は、買い物が目だったのに、到着の声掛けがトイレ誘導になり、取組の目的が違っていた。</p>	<p>電話をもらった後に、お店へ謝罪に伺う。</p> <p>店長さん不在とのことで、副店長さんに対応してもらい、事の経緯をお伝えする。副店長さんは知らなかったとの事で、再度謝罪する。「ご親切にありがとうございます。」との対応をしてくださる。</p>

③「第1けやきホーム」概要

事業区分	障害福祉サービスメニュー
障害福祉サービス事業	共同生活援助事業(介護サービス包括型)

ア 総括

今年度は、新たな試みが2点ありました。1つ目は昨年度3月31日で「わだち」を閉鎖したため、わだちの利用者さんが「ほくと」へ動くことになりました。スタッフでお部屋の準備をしたりどうしたら新しい住人さんも、今いる住人さんも大きな変化なく過ごしていけるかなど、サービス管理責任者を中心に試行錯誤してきましたが、心配をよそに、なじんでくれていたと思います。そこには世話人さん、支援員さんの注力や、配慮が利用者さんの気持ちの安定につながっていったと思います。

2つ目は、世話人さんの合同会議を行い、7つのホームの様子などを話し合いました。また、1部2部(午前午後)に分けて、保護者の方々とスタッフが和気あいあいと話せるような座談会を開催しました。これに関しては高評価だったため下半期にもホーム別にて一人一人の利用者さんの「ホームでしか見れない様子」や、「ご自宅での親御さんしか知らない様子」を教えていただいたりと、更に利用者さんを知る機会になっていきました。この合同会議がきっかけで「ニッコリホット」が誕生しました。「ニッコリホットってなんだ!？」と思われたかと思いますが、「ヒヤリハット」の反対版!「ニッコリ」「ホット」な利用者さんを見つけよう!という試みです!この合同会議で、何か新しい事を考えよう!というテーマからあるスタッフが、「ヒヤリハット」は、何だかイヤな気持ちになるよね~ならば、ニコニコで、ホットになる情報を集めるのはどうか!という意見から、この「ニッコリホット」が誕生しました。

「ニッコリホット」は各ホームにもファイリングし、ひと月まとめて親御さんにも配らせていただいています。利用者さんを知るという意味では、凄く良い企画を皆で考えることができたと思います。また、少しずつ高齢になっていく利用者さんへの生活のリズムの変化に気づけるよう各ホームで定期的に会議を開き、支援の見直しを行いました。ホームでは安心安全にプラスしてニッコリホットな一年になりました。

管理者

2023年度で一番大きな出来事は、ほくとの利用者さんが一人増えた事です。利用者同士トラブルが起きないか心配でしたが、スタートしてから1年が経ち小さいトラブルはあるものの大きなトラブルもなく、自分達らしく生活している様子が見受けられます。

この1年で利用者さん達の適応力に驚くばかりです。私たちスタッフ側は「こんな事がおきるのではないかな…」「大丈夫かな?」「無理じゃないかな」など心配が先に立ちますが、皆は受け入れも早くそれぞれの5人の生活を始めました。私たちが思っているよりも、利用者さん達には適応する力や新たな環境でも自分らしく過ごせる力があるんだなと感じました。年々高齢化が進み足腰の弱りや食欲不振による体重減少など色々できています。少しでも長く自分で歩き自分のしたい事が出来るように日頃から出来る事をしたいなと思っています。

また、誕生日会も行いました。事前に自分は何のケーキを食べたいのかをスタッフと相談して決めます。決めた日から当日までにケーキはいつ食べられるの?と何度も何度も聞き楽しみにしている方もいます。ケーキを食べている表情は、ニッコリホットの激写ポイントです♪今年も、ニッコリホットがたくさん出るようなホームにしていきたいです。

サービス管理責任者

各ホームのまとめ

【ゆいまーる】

一年を振り返ると体調不良になる方が多かった様に思います。ホーム利用を限られるなど利用者・家族・

スタッフにもそれぞれの対応をお願いしました。ひとりひとりが健康で長く安心して生活出来る場所であり続ける為には、免疫力を高めながら自分の健康も含め、それぞれに合った健康維持の為に日々努力したいと思っています。健康といえば利用者さんの中には運動が苦手な方も多く、中々難しい面もありますが食生活や体調変化などを注意深く見守っていきます。昨年度は大きな事故・ケガもありませんでしたので今年度は更に安全の為の予防も含めて検討します。末長く利用者さんが笑って過ごせるようにしたいです。

ゆいまーる担当

【いまじん】

2023年度、ホーム担当の交代が春、秋2回ありました。それによって利用者の様子は、特に混乱なく今まで通り過ごせていました。

土・日を利用する利用者が1名おり、朝夕の支援は他事業所にも、協力を得て継続しています。感染防止対策として、パーティションの設置やアルコールは万全にしてきましたが、残念ながら、コロナウイルス、インフルエンザの感染拡大の影響はありました。ホームの一時的な閉鎖により、混乱を生じる利用者もいましたが、その後の影響は特に見られず、皆さん元気に日常生活を送っておられました。

利用者さんの生活面では、夕食までゆっくりコーヒーを飲む、新聞でTV番組を確認する、自室でゆったりする等、日中活動からホーム生活への切り替えを利用者さん毎にされています。利用者さん同士の談話は少ないですが、夕食後は、入浴、洗濯をしたり、好きなDVDを観たり、リビングでスタッフと会話を楽しんだり、それぞれの余暇時間として楽しんでいます。

健康面では、前述にもありますが、コロナウイルス、インフルエンザの感染拡大の影響はありました、発熱により自宅療養、待機は避けられない状況もありました。スタッフにおいても、発熱時の対応、支援の他、感染防止対応についても、より身についたと思います。季節毎に寒暖差があり、室内各部屋に温度湿度計を設置、温度調節を行い利用者さんの体調管理は行っています。

高血圧治療を継続中、深夜覚醒が増える、短期記憶の低迷、足腰の弱体化が見られる利用者さん等、様々でいずれも投薬治療が必要な場合は、継続されています。

利用者さんの加齢に伴う変化が見られはじめており、今後の課題となってくることは考えられます。ホームの設備においては、ホームの開所から20年を経過しており、各所劣化はみられます。今年度は、給湯機が故障して交換作業を迅速に行っていただきました。

今後のホームの課題としては、利用者さんの加齢による健康面、精神面などを重視し、生活環境の改善を図ると共に利用者さんの変化を見逃すことなく、支援を進めていかなければならないと考えております。

いまじん担当

【ほくと】

4月からほくとホームの利用者が5人体制になり、あっという間の1年でした。

長年同じメンバーや環境でやっていたところに新しく人が入居するという事で何か利用者同士でトラブルが起こるのではないかと心配していましたが、スタッフが拍子抜けしてしまうほど、それぞれの利用者さんが新しい環境を柔軟に受け止め、それぞれの生活サイクルを崩すことなく落ち着いてスタートすることが出来ました。

1年を通して見れば大小さまざまな変化はありましたが、利用者さんそれぞれが安定した状態で2023年度を終えることが出来てほっと一安心しています。

設備面ではファンヒーターの故障や居室のエアコンの故障などがありました。ほくとは年季の入った物もあるので順番に故障など出てくるのではないかと考えています。

ほくと担当

【しらかば】

しらかばの利用者たちのこの1年間の生活は、特に大きな変化もなく、穏やかに過ごされていたと思います。時には体調を崩し休まれたり、思うように伝えられなくイライラしてしまったりすることはありましたが、概ね元気に健康で過ごせた1年間だと思います。本人が出来ることを伸ばし、危険なこと、やっではないけないことに注意をし、素のままの姿で安心した生活をしてもらうことが、我々スタッフが大切にしている支援ではないかと思います。

しらかば担当

【しおん】

2023年度も大きなケガをする事なく、それぞれが自分らしく過ごせたのではないかなと思います。毎年1年のまとめでは高齢化を感じます…と報告していますが、今年も感じる場面はありましたが、高齢化って悪い事ばかりじゃないのかもしれないと彼女たちに教えてもらっています。精神面では、自分はこうしたいのと自分の意志を示す手段が色々増えた方、リハビリを始めて「私の先生よ」と手を引き自室へ連れていきカッコイイ男性の方に良いところを見せようと頑張る方、それぞれ毎年違った表情や表現方法をしています。

身体面では、理由のわからないケガやアザがある事があります。歳を重ねるとどこかにぶつけなくても、物の上に手足を置いているだけで内出血になるんだよと医師に教えてもらった事があります。アザやケガが多いと行動を制限してしまいそうになりますが、ケガやアザは出来るだけ避けながらそればかりにとらわれずに、自分の過ごしたいように行動して欲しいなと思います。

しおんが建って20年以上が立ち、前年度はシャッターや洗濯機などの故障がありました。他の家電も頑張ってくれていますが、開所当時から使っている家電はいつ壊れるのかヒヤヒヤしています。壊れた物は随時購入をするか、直していきます。

しおん担当

【ひまわり】

今年度は、体調不良などの理由で何日かお休みする方がいました。いつも3人で賑やかなひまわりが、1人お休みするとリビングは静かになってしまいます。日頃の食事前の配膳や洗濯干しのお手伝いは、「今日は、〇〇さん休みだから変わりにやるね」と言ってくれて、お互いへの気遣いがあります。夕方、お茶タイムに、日中けやきの家で外出したこと、土・日曜のお出掛けの話で盛り上がり楽しい時間を過ごしています。

季節が春になり、花粉症のため皮膚状態が悪くなる事、精神的に不調になることがありました。スタッフ一同、皆でケアしてくつろげるホームでありたいと思います。

ひまわり担当

【なでしこ】

今年度は、スタッフも固定され利用者さんも今日はどのスタッフが来るのかを理解し、安心して落ち着いて過ごせることが出来たのではないかと思います。慣れた事で自分の気持ちを出せるようになり、いたずらする事や怒るなど、開所当時には見られなかった感情が出てきました。スタッフの伝えたい気持ちを説明すれば受け入れる事が出来る事もあり、納得出来ない時も時間を置いてから説明するなど工夫する事により解決出来る様になっています。それが、精神的な自立に繋がるといいなと思います。今年度も第2の家として、なでしこで安心・安全に生活していけるようにスタッフ一同支援をしていきたいです。

なでしこ担当

イ 体制

		期初 (2023/4)		期末 (2024/3)	
		人員	常勤換算後人数	人員	常勤換算後人数
管理者	常勤	1	0.5	1	0.5
サービス管理責任者	常勤	2	1.1	1	1
従事者	常勤	3	15.7	2	16.4
	非常勤	33		39	
			17.3	17.9	

利用日と利用率

★2023年度 第1けやきホーム ホーム別開催日数

	ゆいまーる	しおん	いまじん	ほくと	ひまわり	しらかば	なでしこ	利用日数計
2023年4月	146	95	105	124	75	99	82	726
2023年5月	142	92	103	119	71	94	84	705
2023年6月	146	86	107	130	78	104	88	739
2023年7月	146	92	105	123	50	93	77	686
2023年8月	127	90	103	120	58	92	81	671
2023年9月	141	100	106	124	73	100	80	724
2023年10月	146	98	107	125	75	95	83	729
2023年11月	140	100	109	125	74	100	87	735
2023年12月	138	100	106	123	67	93	83	710
2024年1月	133	80	91	100	56	73	63	596
2024年2月	123	80	90	97	58	79	72	599
2024年3月	141	104	110	123	74	104	76	732
合計	1669	1117	1242	1433	809	1126	956	8352

★開催日数 過去3年との比較

	ゆいまーる	しおん	いまじん	ほくと	ひまわり	しらかば	なでしこ	利用日数計
2021年度	1730	1123	1254	1179	886	1171	971	8314
2022年度	1670	1075	1205	1134	841	1132	933	7990
2023年度	1669	1117	1242	1433	809	1126	956	8352



※開催日数的には、「hokuto」で1名増員で、開催日数が増加して、収入も増えた。

★2023年度区分表

	ゆいまーる	しおん	いまじん	ほくと	ひまわり	しらかば	なでしこ	利用日数計
区分4	0	0	1	1	1	0	1	4
区分5	3	1	2	1	0	0	2	9
区分6	2	3	1	3	2	4	1	16
合計	5	4	4	5	3	4	4	29

※2024年3月時点。

★2023年度の利用率

	開催日数	利用日数	利用率 (%)
区分4 (4名)	1184	1169	98.7
区分5 (11名)	2904	2648	91.2
区分6 (16名)	4820	4534	94.1
29名	8908	8351	94.7

ウ ヒヤリハット報告

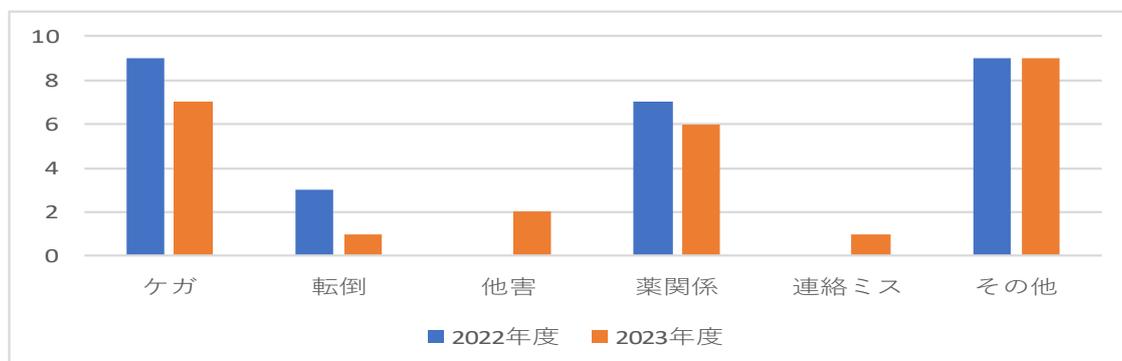
2023年度ヒヤリハット・事故報告一覧

No	発生日	ホーム名	状況	内容	要因	対策
1	4月18日	ゆいまーる	服薬忘れ	朝食後の服薬忘れ	飲み始めの為、初日の分をセットし忘れる。	チェックシートを食前・食後に確認する。
2	5月18日	ゆいまーる	服薬	飲み薬を処方量の半量しか飲まなかった。	口頭とメモでお母さんから量を聞いていたが、メモを無くしてしまい勝手に判断してしまった。	親御さんから薬を受け取る際、お薬説明書を一緒にもらい、薬の錠数を確認する。
3	6月1日	しらかば	ケガ	けやきの家に向かう車内でケガをする。本人より、〇〇さんに引っ掻かれたと本人は教えてくれるが、スタッフは見えていない為詳細は不明。	〇〇さんがしたと推測すると、前日に寝不足だ為情緒不安定で座席の前にいた利用者を引っ掻いたのではないかと推測される。	少しでも情緒不安定な時は詳細を送迎スタッフに伝えて、席の移動など工夫をする。
4	6月2日	ほくと	ケガ	入浴時、鎖骨下にアザがあるのを見つける。本人に聞かぬが不明。	どこかでぶつけたと思われる。	日常的に入浴時など身体にケガやアザはあるのかを確認する。
5	6月2日	しらかば	ケガ未遂	利用者に飛びかかろうとしたが、スタッフが間に入りケガなど無く済んだ。	前日から情緒不安定だった。	不調な事に早めに気付き、距離感を気を付ける。
6	6月6日	ゆいまーる	発熱	日中から帰宅後すぐに検温すると38.0℃の熱あり。	前日にワクチン接種を行ったのでそれが原因と思われる。	ワクチン接種後は体調に気を付ける。
7	6月6日	しらかば	服のしまう場所を間違える	利用者の服を違う人の棚にしまってしまう。	思い込みでしまってしまう。	衣類には必ず名前を書き、名前を確認して棚にしまう。
8	6月12日	ゆいまーる	ケガ	利用者が耳を掻いて出血。	爪がギザギザになっていた。	爪を切る時に深爪にせず、やすりをかけて爪がギザギザにならないようにする。
9	6月14日	しらかば	ケガ	装具が腕の肉を挟み傷が出来た。	装具をつける時に挟んだと思われる。	①腕のカバーを腕の上付近までしっかりあげる ②装具のベルが皮膚にかまないようにする ③ベルトをしめる時に指一本入るくらいの隙間を開ける
10	6月22日	しらかば	鍵	玄関の鍵が開いていた	鍵の施錠は確認した為、利用者が開けたと思われる。	・鍵の施錠の確認をする。 ・利用者が開けたのなら理由を探る。

11	6月28日	ゆいまーる	他害	スタッフのお腹を拳で3回叩き、足で5回蹴る。	テレビの音大きいと利用者より言われていたが、皆が観てるので10分待ってねと声掛けすると怒って叩いてきた。	叩く行為の前に、夕食を大盛りにして欲しいとの訴えがあったので少しだけ多くした。それが本人の思っている量よりも少なくして不満があったのかもしれない。その不満のイライラが暴力に繋がったのかもしれない。本人の希望を全て叶えられる訳ではないので、対応を考え直す。
12	7月2日	いまじん	セットミス?	飲み薬を規定量より少ない量を飲もうとした為、薬箱を確認すると翌日に一錠多く入っていた。薬を飲み終わる前に気が付いたので、量の間違えは起きなかった。	利用者本人が薬ケースから飲む薬を出す為、セットの時点で間違えていたのか、取った際に違う所に入れてしまったかは不明。	薬をだす時、飲むときの錠数が合っているのかを確認する。
13	7月19日	ゆいまーる	床が濡れていた	浴室から物音がするのでスタッフが見に行くと、利用者がシャワーを浴びていた。	シャワーを2度浴びていると思われる。理由は不明。	なんでシャワーを浴びたのか、要因をまず探る。
14	8月22日	ほくと	事故	スライドドアと車体の間に足が挟まった。	車から降りようとした時に足が危険な場所に入ってしまった。	どの場所に足が着地するのかを降りる時に確認する。
15	8月25日	ひまわり	転倒	立とうとしたがバランスを崩し転ぶ。	床に座っているのを立とうとしたが、机を指数本で支えていた為手に力が入らず転倒した。	危険な立ち方をした場合は、本人への声掛けやスタッフが近くにいるなど転倒しないように気を付ける。
16	9月5日	ほくと	他害	利用者がスタッフの頭を平手打ちする。その後も頭突きしようとするので世話人が止める。	急に叩いた為明確な理由はわからないが、スタッフとの関わりを求めての行為ではないかと推測する。	利用者のテンションが高い時や、叩きそうな行為がみられた時は、支援員と利用者の方に世話人が入り、回避する。
17	9月5日	ゆいまーる	ケガ	右目下に1.5cmの傷が出来ていた。	傷が出る前に訪問看護の方から爪はきちんと丸く削ってありますねと言われていたが、傷が出来てしまっているのが原因ではないかと思われる。	爪が長くないかギザギザしていないかを小まめに確認する。
18	9月9日	ゆいまーる	ケガ	右手中指で額を掻いたところ傷が二つ出来る。	爪を切ったあとヤスリはしているが、ヤスリのかけ方が甘かったかもしれない。	掻いてもケガをしないように、バンソーコーを指に貼るなどして保護するなど工夫する。
19	6月28日	しらかば	危険	トイレの大便器横にスロップシンクがあり、便器に座っている時に転倒などした場合危険ではないか。	身体に緊張がある為、急に反ったりする事があると思われる。	座位に不安のある利用者の方は、傍から離れない。

20	11月4日	ゆいまーる	発熱	発熱者がいるホームに泊まらせてしまう。	当初は泊まらない予定でしたが、当日に泊まると言われる。その日の夜勤者から担当者に報告があったが、受け入れてしまう。	夜勤者から担当者に連絡があった場合はすぐにサビ管又は管理者に報告して、その後の動きを確認する。
21	11月5日	ゆいまーる	発熱	発熱の利用者を徒歩で帰らせてしまう。	発熱した事を母へ連絡した所「これから帰ってくるね」と言われ、夜勤スタッフにその事を伝える。その時に本人が歩いて帰ると言っていると言うのを納得してしまい、そのまま歩いて帰らせてしまう。	発熱などの体調不良時は、徒歩で帰ると本人が言ったとしても道中に倒れてしまう可能性もあるので親御さんに迎えに来てもらう。
22	11月5日	ゆいまーる	連絡ミス	発熱をして帰宅した事を他事業所に連絡をしなかった。	親御さんが熱が下がったから来たと言われ、日中のスタッフが言われるが日中のスタッフは発熱がありホームから帰宅したことなど知らなかった。	ホームから自宅に帰った時など他事業所の連絡を怠らない。
23	12月8日	ほくと	未遂	朝の日課にしている新聞読みをしていると、別の利用者に大切な新聞の端を破られる。破られた後に、叩こうとしたがスタッフが間に入り未遂におわる。	利用者が大切にしていた新聞を破ったから。	なるべく新聞読みの時間は利用者が近くに来ない様にしているが難しい所もあるので、今回の様にスタッフが間に入り対応するしかないと思われます。
24	12月12日	なでしこ	服薬	食前の薬をの食前に飲ませ忘れる。	不調になりがちな利用者がスムーズに食卓にむかえる誘導を優先してしまう。	事前に薬を準備していたが、他の事に気がいってしまった為服薬準備をしてから食事に誘導する。
25	3月22日	しおん	セットミス	看護師がセットを間違えていたが、飲ませる前に気が付き未然に防ぐことが出来た。	看護師が朝食後と夕食後の薬を入れ間違える。	看護師にもセットする時にミスがない様に伝える。また、飲ませる前には確認する。
26	3月28日	しらかば	服薬ミス	朝食後に夕食後の薬を飲ませてしまう。	薬ケースは朝食後と夕食後で分かれているが、急いで薬を用意した為しっかり確認出来なかった。	急いでやらず余裕をもって薬を準備する。

	ケガ	転倒	他害	薬関係	連絡ミス	その他	計
2022年度	9	3	0	7	0	9	26
2023年度	7	1	2	6	1	9	26



※その他…(例)服のしまう所を間違えた、床が濡れていたなど

エ 会議、研修一覧

2023年 各会議一覧

ホーム担当者・推進会議

日時	時間	会議名	内容	参加者
4月25日	13:00~15:00	ホーム担当者・推進会議	各ホームの状況、事務連絡、管理者交代、今後の会議の進め方	7人
5月23日	13:00~14:30	ホーム担当者・推進会議	各ホームの状況、事務連絡、管理者交代、BCP、活動方針	8人
6月27日	13:00~14:30	ホーム担当者・推進会議	各ホームの状況、事務連絡、ヒヤリハット、看護師への薬の仕分け	7人
7月25日	13:30~15:00	ホーム担当者・推進会議	各ホームの状況、事務連絡、レクリエーションについて、研修について	8人
8月29日	13:00~14:30	ホーム担当者・推進会議	各ホームの状況、事務連絡、パトリリーダーについて、室温系導入について	8人
9月14日		推進会議	保護者会に向けて	4人
9月26日		ホーム会議	保護者会が終わっての感想、今後やりたい事(ニコリホット)	
10月24日	13:30~15:00	ホーム担当者・推進会議	各ホームの状況、事務連絡、修繕について、事務所のレターケースについて	6人
11月28日	13:30~15:00	ホーム担当者・推進会議	各ホームの状況、事務連絡、勤務体制について	6人
12月26日	13:30~15:00	ホーム担当者・推進会議	各ホームの状況、事務連絡、防犯カメラについて、座談会について	6人
1月23日	13:30~15:00	ホーム担当者・推進会議	各ホームの状況、事務連絡、急な休みや勤務時間変更について、座談会について	6人
2月16日	13:30~15:00	ホーム担当者会議	各ホームの状況、事務連絡、避難訓練について、議事録者について	7人
2月28日	13:30~15:00	推進会議	事務連絡、今後のホームについて、夜間緊急時対応について	4人
3月15日	13:30~15:00	ホーム担当者会議	各ホームの状況、来年度の事業所目標について、発注について、節約について	7人
				7人

外部研修

日時	研修名	内容	参加者
6月	世話人研修会	～世話人になって3年目～を発表する。他事業所の事を知る。	高木
	行動援護研修	強度行動障害を知ろう	奥村(宜)
10月	キャリアパス対応生涯研修	中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理/サービスの理念を知る/チームケア/後輩指導/行動方針作成など	高木
	相談支援従事者初任者演習	ケースのロールプレイ/利用サービスの計画案作成など	山縣(聡)
11月	第19回オンライン全国大会	30年の歴史/意思決定支援について/ホームの援助ポイント/視覚障害のある方の暮らし	担当者全員
12月	サービス管理責任者(実践研修)	「人材育成」「プロセス管理/モニタリング」「プロセス管理/個別支援会議」「事例検討」	水野(高木)
12月	強度行動障害	強度行動障害を知ろう	水谷/青木
1月	管理者研修	管理者としての役割と目標	兎野

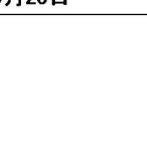
研修

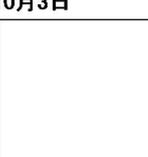
日時	研修	内容	参加者
8月	虐待・身体拘束	義務化された内容を確認	全スタッフ
11月	救命救急	AEDに使い方や緊急時の対応	泊りスタッフ全員
3月	避難訓練	各ホームで実施(火災又は地震を想定)	全ホーム

オ その他（にっこりホット）

ホーム 2023年度にっこりホット まとめ

	2023年9月15日		『ありがとう』
1	なでしこ		今日は、春奈さんの38歳の誕生日。いつもは、言葉が中々自分から出ない春奈さんですが「おめでとう」とみんなから言われると自ら「ありがとう」と言いました。他の3人も嬉しそうにケーキを食べていました。
	2023年9月9日		『いたーい』
2	しおん		元気な亜希子さん。元気すぎて声がとても大きいので「カ〜ラ〜ス〜♪」と歌うと私の太ももを手で掴みました。私が「いたーい」と言ったときに大笑い!! その時の笑顔です。反応が面白いのかな?
	2023年9月14日		『私の楽しみ』
3	なでしこ		今日科捜研やるかな〜?と楽しみにしています♪一緒にテレビ欄を見ると今日じゃなくて、昨日がやる日でした。落ち込むかな?と思いましたが気持ちは前向きで、来週見る〜と話してくれました。その時の笑顔の写真です!
	2023年9月14日		『もりのくまさん』
4	ひまわり		帰宅後のティータイム。レモンティーを飲みながら、大好きな音楽を聞いています。飲むよりも、歌にノリノリな佳美さん♪この笑顔は、もりのくまさんを聞いているときです!!
	2023年9月14日		『がんばったね』
5	ひまわり		スタッフがダイエットで頑張ってるんだ〜と話したら「頑張ってるってえらいね」と褒めてくれた優しい裕美子さん♪その話をしているときの笑顔です!!
	2023年9月14日		『できるようになったね』
6	ゆいまーる		入れ歯の洗浄、いつもはスタッフが声をかけるとしていましたが、今日は自らすすんでやろうとしていた。お水も自分で部屋に運んでいる。「出来てるねえ」と伝えると嬉しそうにしていた。水を運んでいるときの表情。
	2023年9月14日		『言葉の訓練中』
7	しらかば		小倉さんと、野菜や果物の写真を見ながら、言葉の練習をしています。興味のある食べ物を指差し、一緒に名前が言えるよう楽しんでいます。
	2023年9月14日		『笑顔の武士』
8	ほくと		いつもは探し物が見つからない時など、気持ちが不安定な時に武士になり刀を振るポーズをする村瀬さんが、今日は楽しそうに時代劇の台詞を言いながら雑誌を丸めて刀を振っていて、スタッフが切れ役をやるとワハハと笑っていた。
	2023年9月15日		『気が利く人』
9	いまじん		余合さんが帰ってきて、夕食を食べる時、箸を渡してくれました。ありがとね、と伝えると、「はい〜」と言って嬉しそうにしていた渥美さんでした。
	2023年9月15日		『ほっと一息』
10	ゆいまーる		帰宅後、すぐ自室には行かず、リビングのソファーに座りほっと一息する日下部さんと村井さんです。

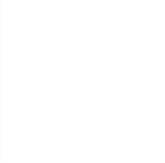
11	2023年9月15日		『ハイ、ポーズ』
	ゆいまーる		日下部さんのお部屋で何かリズムカルな音がしているな～と思い、訪室するとマラカスを持って振っていました。写真を撮る前は笑顔でしたが、カメラを構えると、ハイ、ポーズ。
12	2023/9019		『ご機嫌』
	ほくと		気持ちの切り替えが苦手で、日中活動からホームに帰宅するとイライラして、頭叩きをしてしまう中谷さん。今日は送迎車から降りた時からニコニコしていて、穏やかな様子でソファでくつろぐ。
13	2023年9月19日		『ほっと一息』
	ほくと		入浴後にソファでほっと一息している山縣さん。スタッフがしたポーズを真似してニコニコ笑っていた。
14	2023年9月21日		『みてみてー』
	なでしこ		春奈さんがこの洋服がいいと私の腕をつかんでアピールしてくれたことにニコニコホット。おしゃれな春奈さんです♪
15	2023年9月27日		『嬉しい気持ち』
	なでしこ		里枝さんが帰ってくると、〇〇君が結婚しよーって言うてくれた♪と嬉しそうに教えてくれました!! 返事は、なんて言ったの?と聞くと「辞めとこー」と言ったようです。
16	2023年9月25日		『絶好調』
	なでしこ		春奈さんが、夕食後、手を引きに来るので、部屋に行って「カセットデッキで音楽聴きますか?」と聞いても表情が変わらないし、スイッチも押してないから、部屋を見回したら枕が転がっていました。お布団敷いて欲しいの? と聞くと、「ふとん」とハッキリ教えてくれました!
17	2023年9月28日		『さてさて…』
	しおん		朝食後に新聞を読むのが千春さんの日課。表紙だけではなく、中身もくまなくチェックします。時には新聞が上下逆さまになっていることも…?! 何事もなくペラペラとページをめくるので読んでいるようです(笑)
18	2023年9月28日		『さてと干しますか…えっ』
	しおん		時間に余裕があると洗濯干しをしてくれる淳子さん。そんな場面を撮ろうとカメラを向けたら、ニコリ! じゃなくてポカン顔が撮れてしまいました(笑) 以前はカメラを向けるだけで逃亡していましたが、最近は大丈夫だったり…?
19	2023年9月28日		『ぎゅー、ぎゅー。逃がさない〜』
	しおん		歯みがき後、すぐに起き上がるかと思ったら…青木の太ももを両手でぎゅー。亜希子さん、顔が挟まっておるぞ(笑)「8時までねー」とお約束して好きなように遊んでもらいました。めっちゃ嬉しそうだった。時間がきたので「おしまーい」と太ももを退けようとしたら、右手で力いっぱい握り返されました。”逃がしません”です。5分の延長入りしましたー
20	2023年9月29日		『大満足〜』
	しらかば		花井さんは、朝の支援員さんに、『カモメの水兵さん』と一緒に歌ってもらうことが大好きで、時間になるとお願いしてきます。一緒に歌えて大満足〜♪

21	2023年9月29日		『お手伝い』
	しらかば		小倉さんは、朝のお掃除を手伝ってくれます。四角い部屋も、まーるくお掃除…(笑) それでも椅子はちゃんと動かしますよ～♪
22	2023年9月29日		『カレンダー』
	しらかば		けやきの家で作ってもらうカレンダー♪ 堀井さんは、ずっと握りしめて放しません。手に握るカレンダーはもう11月…(笑) 時代を先取りしていますねえ～♪
23	2023年9月30日		『朝食最高』
	ほくと		朝食が出来上がる前から椅子で待機していた中谷さんが嬉しそうに食べている写真です。
24	2023年9月30日		『しょうがないなあ、僕がやるか』
	ゆいまーる		何回もスタッフを呼ぶが、他の支援中で、「ちょっと待って」と言って待ってもらっていた。しばらくして、「何ですか」と聞くと、、ソファーに座ってニヤニヤしていた。居室を覗くと、ベッドのパッドや、マクラカバーがセットしてあった。「自分でやってくれたんだ、さすがだねえ」と伝えると、自慢げにしていた。
25	2023年9月30日		『ちゃんと約束守ったよ』
	いまじん		青山健太さん、昼頃、スタッフの携帯電話にかけてきて、「夕食買ってかないかん？」と言ってきたので、「夕食の弁当を買って、5時には帰ってきて下さい」と伝えると、「5時かあ! わかった」と言っていた。期待せず待っていると、5時ぴったりに帰ってきた。「きちんと時間守れたねえ、さすがです」と伝える。嬉しそうに、どもりながら喜んでいました。
26	2023年10月5日		『くつろぎタイム』
	なでしこ		佐々木さん、テレビ台に足を伸ばしてリラックス!
27	2023年10月3日		『すごいねえ』
	ひまわり		夕食前、早々に佳美さんがテーブルについていました。目の前に、ハムカツが置かれていましたが、手を付けずにちゃんと待っていてくれました。それを見ていた、真由美さん、裕美子さんが笑顔で手をたたいて「よっちゃん、すごいねえ」って褒めてくれました。
28	2023年10月7日		『DVD録画、自分で出来たよ』
	ほくと		「失敗しちゃうからDVD手伝ってよ」と話していた英男さんですが、自分で出来るよと後押しすると、手順を見ながら頑張っていました。一度失敗しましたが諦めずチャレンジして「出来たよ!」と報告してくれました。
29	2023年10月7日		『一步前進』
	ほくと		ゴミの分別を手伝ってくれる北原さん。いつも袋を縛るときに空気をパンパンに入れるので「捨てるときは空気を抜くんだよ」と伝えると「やだ、こっちがいい!!」と反発していましたが、気持ち収まった後にゴミ袋を持ってきて、どうやってやるのかを聞きに来てくれて上手に空気を抜いて縛ることが出来ました。
30	2023年10月6日		『お誕生日』
	いまじん		青山さん、念願の誕生日ケーキと500mlのビールを前にして満足気! 毎日のように、「ケーキは何時、ビールも良いかなあ!」と言い続けていたが、本人、願いがかなって、ホッとした様子。

31	2023年10月9日		『お弁当好き』
	いまじん		余合さん、今日はいまじん泊まりで、かつ丼を出しました。弁当を手渡したとたんに、ハイペースで食べ始めた。「ヒビノさん、美味しい」と言ってくれました。笑顔はありませんが、きっと嬉しかったのでしょう。
32	2023年10月10日		『僕のお仕事』
	しらかば		小倉さん、食品、日用品が届くと自室から出てきて、気にしている。レジ袋が欲しかったようなので、袋を全て渡すと、綺麗に三角折り、渡してくれました。「いつも助かるわ!」と伝えると、首をたてに振っていました。
33	2023年10月19日		『美味しそう』
	ひまわり		今朝の真由美さんの様子です。リビングでTVを見ながら朝食を待っている。番組がデザートに代わり「美味しそう」「食べたい～」と満面の笑顔。
34	2023年10月19日		『安心して寝れる』
	ゆいまーる		村井さん、いつもは早々と部屋に行き、ベッドの上でパズルをして過ごし、知らない間にウトウトしてしまうけど、今日は隣にいた支援員さんの腕枕でウトウト…。とても気持ちいい。
35	2023年10月25日		『忘れ物ですよ～』
	しらかば		堀井さん、自室からしつこく声が出て、訪室すると、TVを指していた。TVの前を見ると塗り薬が置いてあった。私が忘れていったことを思い出し、「教えてくれて、ありがとう」と伝える。小声で「うん」と言っていた。
36	2023年11月3日		『いつも通りのニッコリでホット』①
	いまじん		渥美さん、緊急で突然いまじんに泊まることになりましたが、特に混乱することもなかったです。①帰宅直後のティータイム。
37	2023年11月3日		『いつも通りのニッコリでホット』②
	いまじん		②リビングでゆっくり。
38	2023年11月3日		『いつも通りのニッコリでホット』③
	いまじん		③弁当が嬉しくて集中しています。
39	2023年11月3日		『いつも通りのニッコリでホット』④
	いまじん		④自室でDVD鑑賞。いまじんでニッコリして、ホット一息ついてました。
40	2023年11月4日		『憩いのひと時です♪』
	いまじん		渥美さん、れすばから帰ってきてティータイムの一コマです。お出かけ楽しかったよ♪ と機嫌良く過ごしています。

	2023年11月13日	『クリスマスツリー』
41	ゆいまーる 	可児さん、10月より、「クリスマスツリー出します」と言っていたのですが、ようやくクリスマスツリーを出すため、スタッフと一緒に飾り付け。完成後には出来たのポーズ☆
	2023年11月17日	『3日遅れの誕生日』
42	いまじん 	浜田さん、「3日遅れの誕生日、ごめんねえ」と伝える。驚いて「そうだ」といった表情をしていた。「何歳ですか」、「51歳です」と答えていた。
	2023年11月21日	『クリスマスツリー設置完了』
43	いまじん 	浜田さん、約束通り、一緒にクリスマスツリーを作りました。ビールを付ける担当で、全て付けてくれました。
	2023年12月16日	『今日はたくさんお茶飲むの♪』
44	しおん 	上西綾子さん、朝食後も優雅にお茶タイム。でも、飲み足りなかったのか、トイレ後も”お茶くださいーい”でした。2回目のお茶タイムはソファで。テレビを見ながらゴクゴク飲んでいました！（今日も今日とて寝癖が強いのはご愛嬌）
	2023年12月19日	『お誕生日おめでとう』
45	ゆいまーる 	今日は可児さんのお誕生日会☆ チョコレートケーキを食べてニコニコの尚孝さん。チョコレートケーキが口について真っ黒！！
	2023年12月19日	『もっと食べたーい』
46	ゆいまーる 	今日は可児さんの誕生日会でチョコレートケーキを食べました。日下部さん、自分の分を食べてもまだ食べたくて、貰えないかな？と待ってる様子です！
	2023年12月19日	『4日遅れの誕生日会』
47	ゆいまーる 	可児さん、自分で選んだケーキをみんなで食べ、祝ってもらえて嬉しかったようです。誕生日を迎えての目標は「カッコいい男になる」です。
	2023年12月21日	『ひざまくら〜』
48	しおん 	亜希子さん、広告の切りあと、机の下に潜り込んできて、青木の太ももをにぎにぎ。なんだろうかと尋ねたら膝枕してくれーでした。お布団行こうかはお断りされ(泣) しばらく太ももで遊ばれていました。ピタッとやんだので、はて今度は？と様子を見たら、目を瞑って寝ていました。(約5分の膝枕タイムでした)
	2023年12月21日	『夕食、嬉しいなあ』
49	ゆいまーる 	薄田さん、夕食の声掛けは、自ら立ち上がって、テーブルに向かってアピール。すごく積極的です。椅子に座ると、こんな表情です。
	2023年12月20日	『お誕生日おめでとう』
50	なでしこ 	佐々木さん、今日は、私の誕生日。ケーキを食べてお祝いしました。

51	2023年12月20日	『リズムに合わせてノリノリカ』
	なでしこ	 里枝さん、テレビの音楽に合わせて身体を揺らしている所です。
52	2024年1月8日	『新しいパジャマが届いた』
	ゆいまーる	 新しいパジャマをお父さんが持ってこられて、薄田さん、笑顔でお出迎えする。パジャマ見て喜んでいたのかは、判りませんが、よく似合ってます。
53	2024年1月11日	『コーヒーうまい！』
	ほくと	 大好きなコーヒーを嬉しそうに味わって飲む栄さん。
54	2024年1月23日	『ダンシングた〜いむ』
	しらかば	 カモメの水兵さんと歌いながらダンシング♪ その場でぐるっと一周まわる花井さんです。
55	2024年1月19日	『今日は私が主役！』
	しおん	 1月16日に誕生日を迎えた淳子さん。しおんでの誕生日会は1月19日に行いました🎂 誕生日ケーキは淳子さんご所望のチョコケーキ！濃厚なチョコの香りに参加者のテンションもアップです☆ お歌のあと、お待ちかねのチョコケーキ🍰 「うまい、うまい」と親指を立てながら食べていました！（50歳になったよと伝えるためにメモを見せた際「50歳だと……(・ω・)」となっていたのは笑い話）
56	2024年1月25日	『送迎待ちのひととき』
	いまじん	 余合さん、「リモコン貸して」と言ってきたので、手渡しすると、嬉しそうに受け取って、満足そうでした。
57	2024年2月15日	『お揃い』
	なでしこ	 スタッフの着ているボーダーのシャツを指差して、ニコニコ笑顔の美香さんです。
58	2024年2月15日	『私もできるもんカ』
	なでしこ	 里枝さんからスタッフが持っていたコロコロに手を伸ばしてくれたので、渡してみるとコロコロしてくれました。
59	2024年3月1日	『少し早いひなまつり』
	しおん	 1人ずつ撮るつもりが私も私もと集まり全員集合。みんなとても良い表情で、可愛い写真撮れました。「みんないい顔して…」で淳子さん、千春さんは、手を上げハイポーズ！
60	2024年3月5日	『大好きな理学療法士さんと』
	しおん	 リハビリ中の亜希子さんです。なかなかスタッフさんたちが見ることができないので撮ってみました。右、左と上手にボール蹴りながら歩行訓練中です。亜希子さん、頑張ってます！

	2024年3月8日	『早くひげ剃りしたかったんだ！』
61	しらかば 	朝の整容で居室に行ったら、井村さん自らひげ剃りをしていました。「さすがだねえ」と、声を掛けるものの、ただひたすら剃っていました。待てなかったのかな、申し訳ない！ 自ら剃っている光景は、初めてでした。
	2024年3月1日	『歯を綺麗にして下さい！』
62	ゆいまーる 	日下部さん、自ら糸ようじを持って来て、隣に座ると、糸ようじを差し出してきた。最近、始めたのですが、より積極的になりました。終わるとしっかりうがいをして「歯も綺麗になって今日もがんばるぞー」、といった感じでした。
	2024年3月8日	『肩トントン』
63	ほくと 	夕食中、食事介助をしている支援員の肩をニコニコしながらトントン叩いている中谷さんです。
	2024年3月22日	『井村さんお誕生日』
64	しらかば 	「お誕生日おめでとう」と伝えるが、表情は「あれっ」。ケーキを出すすと実感したのか、表情が明るくなり、ゆっくり綺麗に完食しました。
	2024年3月20日	『私もできるもん！』
65	なでしこ 	他の利用者さんがお手伝いしてくれてたので、美香さんも量むの上手だよ？ と口拭きを渡すと、上手に量んでくれました。すごいねー！と言うと、とても嬉しそうな顔をしました。
	2024年3月27日	『お手伝いできた！』
66	しらかば 	小倉さん、お米の入れ替え、何故か持っていて、支援員さんが米袋を持ってくると、率先して手伝ってくれました。力仕事は任せておけと言っているようでした。
	2024年3月27日	『笑ってください！』
67	ほくと 	河地さん、いつも顔を合わせると、笑ってください、と伝えてくる。マスクを取って、笑うと、一緒にははは、と笑っていました。会うたびの習慣になったようです。マスク姿が、怖かったんでしょうか。
	2024年3月28日	『自分で着替えたよ』
68	しらかば 	井村さん、ひげ剃り機を持って行ったので、ひげ剃りして待って下さい、と伝えしばらくしてから、訪室すると、すでに着替えてベッドに横になっていた。待てなかったのかな。ひげ剃りから、着替えまで、できる事、ステップアップしました。
	2024年3月28日	『たまには違う番組もいいなあ』
69	ひまわり 	普段はEテレを視聴している佳美さん。この日、選抜高校野球が放送されていましたが、気分じゃないのかウトウト(ノ口)°°。

④「れすば」概要

事業区分	障害福祉サービスメニュー
障害福祉サービス事業 (訪問系)	居宅介護(身体介護、家事援助、通院等介助、乗降介助) 重度訪問介護、行動援護、
地域生活支援事業 (春日井市補助事業)	移動支援
多胎児育児支援事業 (春日井市)	多胎児

ア 総括

2023年度「れすば」は、特に大きな変化はなく目の前の支援を一つ一つこなしていく事に重点をおいた一年となりました。

5月にコロナが5類になり、外出範囲も広くなりました。しかし、利用者さんも少しずつ高齢化が進んでいることもあり、ゆっくりゆったり過ごす事を好んでいる姿も見られました。また、今年度は通院介助が増え、定期的に病院へ行く時に利用者さんが嫌がらず落ち着いてスムーズに行く事ができるような配慮を意識的に行うように伝えてきました。れすばの訪問や余暇を楽しみにして下さる利用者さんと、充実した時間を過ごせたと思います。

管理者

(1)「居宅介護」について

自宅での生活を続けていく上で、健康面が課題となる1年でした。本人の心身の状態やご家族の状況などにより、入退院やショートステイの利用などが増え、他のサービス、施設等と連携を取りながら支援させていただきました。

今後も加齢に伴う変化は増えていく事が予想されます。一事業所だけでは対応しきれない場面・状況も出てくる事が考えられるため、多職種連携をより一層強め、安心した生活を支えていきたいと思えます。

また、行動援護についてはおおむね安定した利用をいただいています。それぞれのこだわりへ寄り添いながらも、「ダメなものはダメ」を大切にしながら、外出を楽しんでいます。

(2)「移動支援」について

人混みは避けながらも余暇外出へ色々なところに出かけています。大好きなスケートへ久しぶりに行って楽しんでいる姿や、レストランで沢山のメニューをみてどれにしようか悩んでいる姿など、楽しんでいる姿を沢山みることができ、従来の外出を取り戻しつつあります。今後も新たな楽しみと元々の楽しみをミックスしながら充実した余暇活動を支援していければと思います。

また、行動援護同様、それぞれのこだわりへ寄り添いながらも、「ダメなものはダメ」を大切にしていきたいと思えます。

サービス提供責任者

(3) その他共通事項(詳細は別資料)

①研修、技術指導会議等

事業所内研修 : 12回(全員対象)

キャリア別研修・会議等 : 3回(個別)

②防災訓練、救命訓練

【防災訓練】

5月に事業所内研修として実施。緊急時の連絡方法や対応内容の確認。
緊急時の対応方法確認、緊急連絡先の確認。

【救命訓練】

11月に春日井東消防署にて救急救命講習開催。

③ヒヤリハットについて…別資料

ヒヤリハット報告の提出7件。

④事故・苦情について・・・別資料

事故報告（物損・紛失を含む）の提出 2件

苦情の提出 0件

イ 体制

2023年度		期初 2023/4		期末 2024/3	
		人員	常勤換算後人員	人員	常勤換算後人員
管理者	常勤	1	1	1	1
サービス提供責任者	常勤	1	1	1	1
従業者	常勤	0	0	0	0
	非常勤	11	2.4	10	2.4
資格保有者	介護福祉士	8		7	
	実務者研修修了者				
	初任者研修	4		4	
	ヘルパー2級				
	行動援護資格保有者	8		7	
	同行援護従事者	6		5	

年齢構成、支援区分、障害種別

年齢構成

	～18歳	19～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51歳～	合計
居宅介護等	0	1	1	0	3(3)	6(4)	5(1)	7(2)	23(10)
けやき&ホーム	0	0	0	0	2(2)	3(2)	4(1)	6(2)	15(7)
けやき ホーム	0	0	1	0	0	0	1	0	2
れすばのみ	0	0	0	0	1(1)	3(2)	0	1	5
居宅+移動支援	0	0	0	0	3	4	1	2	10
移動支援	1	2	1	2	7(3)	5(4)	2(1)	5(2)	25(10)
けやき&ホーム	0	0	0	0	2(2)	3(2)	2(1)	5(2)	12(7)
けやき ホーム	0	0	1	0	0	0	0	0	1
れすばのみ	0	0	0	0	2	3	2	5	12
計	1	3	2	2	7	7	6	10	38
れすば24	2(1)	3(2)	4(2)	3(1)	5(5)	4(4)	7(6)	10(9)	38(30)
合計	2	4	4	4	7	7	7	11	46

*注居宅移動支援は、居宅介護と移動支援の両方を利用している人
 *居宅移動の()内の数字は両方契約している人の数
 *れすば24の()内の数字は24と居宅もしくは移動を契約している人
 *計は、両方利用している人を考慮した数値 契約実数

*合計は、24を含めた実契約実数
 *けやき、ホームの数値は両方利用している人も実数1として計上
 *「居宅介護等」=身体、家事、通院、乗降、重訪、行動、同行)の人数

障がい支援区分

	児童	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	判定なし	合計
居宅介護等	0	0	0	2(1)	3(2)	6(4)	12(3)	0	23(10)
けやき&ホーム	0	0	0	0	1	3(3)	10(3)	0	14(6)
けやき ホーム	0	0	0	0	0	1	1	0	2
れすばのみ	0	0	0	2(1)	2(2)	2(1)	0	0	4
居宅+移動支援	0	0	0	1	2	4	3	0	10
移動支援	1	0	0	3(1)	5(2)	8(4)	8(3)	0	25(10)
けやき&ホーム	0	0	0	0	1(1)	6(3)	6(3)	0	13(7)
けやき ホーム	0	0	0	0	0	1	2	0	3
れすばのみ	0	0	0	3(1)	3(1)	1(1)	0	0	7
計	1	0	0	4	6	10	17	0	38
れすば24	3(1)	0	0	2(2)	6(5)	9(8)	18(14)	0	38(30)
合計	3	0	0	4	7	11	21	0	46

*注居宅移動支援は、居宅介護と移動支援の両方を利用している人
 *居宅移動の()内の数字は両方契約している人の数
 *れすば24の()内の数字は24と居宅もしくは移動を契約している人
 *計は、両方利用している人を考慮した数値 契約実数

*合計は、24を含めた実契約実数
 *けやき、ホームの数値は両方利用している人も実数1として計上
 *「居宅介護等」=身体、家事、通院、乗降、重訪、行動、同行)の人数

障がい種類別

		身体	身知的	身精神	知的	知精神	精神	合計
障がい者	居宅介護等	2	4(1)	0	16(9)	1	0	23(10)
	けやき&ホーム	0	4(1)	0	10(6)	1	0	15(7)
	けやき ホーム	0	0	0	2	0	0	2
	れすばのみ	0	0	0	4(3)	0	0	4
	居宅+移動支援	0	1	0	9	0	0	10
	移動支援	0	2(1)	0	22(9)	0	0	24(10)
	けやき&ホーム	0	2(1)	0	12(6)	0	0	14(7)
	けやき ホーム	0	0	0	3	0	0	3
れすばのみ	0	0	0	7(3)	0	0	7	
計	2	5	0	29	1	0	37	
れすば24	0	6(5)	0	28(23)	1(1)	0	35(29)	
合計	2	6	0	34	1	0	43	
障がい児	居宅介護等	0	0	0	0	0	0	0
	けやき&ホーム	0	0	0	0	0	0	0
	けやき ホーム	0	0	0	0	0	0	0
	れすばのみ	0	0	0	0	0	0	0
	居宅+移動支援	0	0	0	0	0	0	0
	移動支援	0	0	0	1	0	0	1
	けやき&ホーム	0	0	0	0	0	0	0
	けやき ホーム	0	0	0	0	1	0	1
れすばのみ	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	1	0	0	1	
れすば24	0	0	0	3(1)	0	0	3(1)	
合計	0	0	0	3	0	0	3	
障がい者と障がい児合計	2	6	0	37	1	0	46	

*注居宅移動支援は、居宅介護と移動支援の両方を利用している人
 *居宅移動の()内の数字は両方契約している人の数
 *れすば24の()内の数字は24と居宅もしくは移動を契約している人
 *計は、両方利用している人を考慮した数値 契約実数

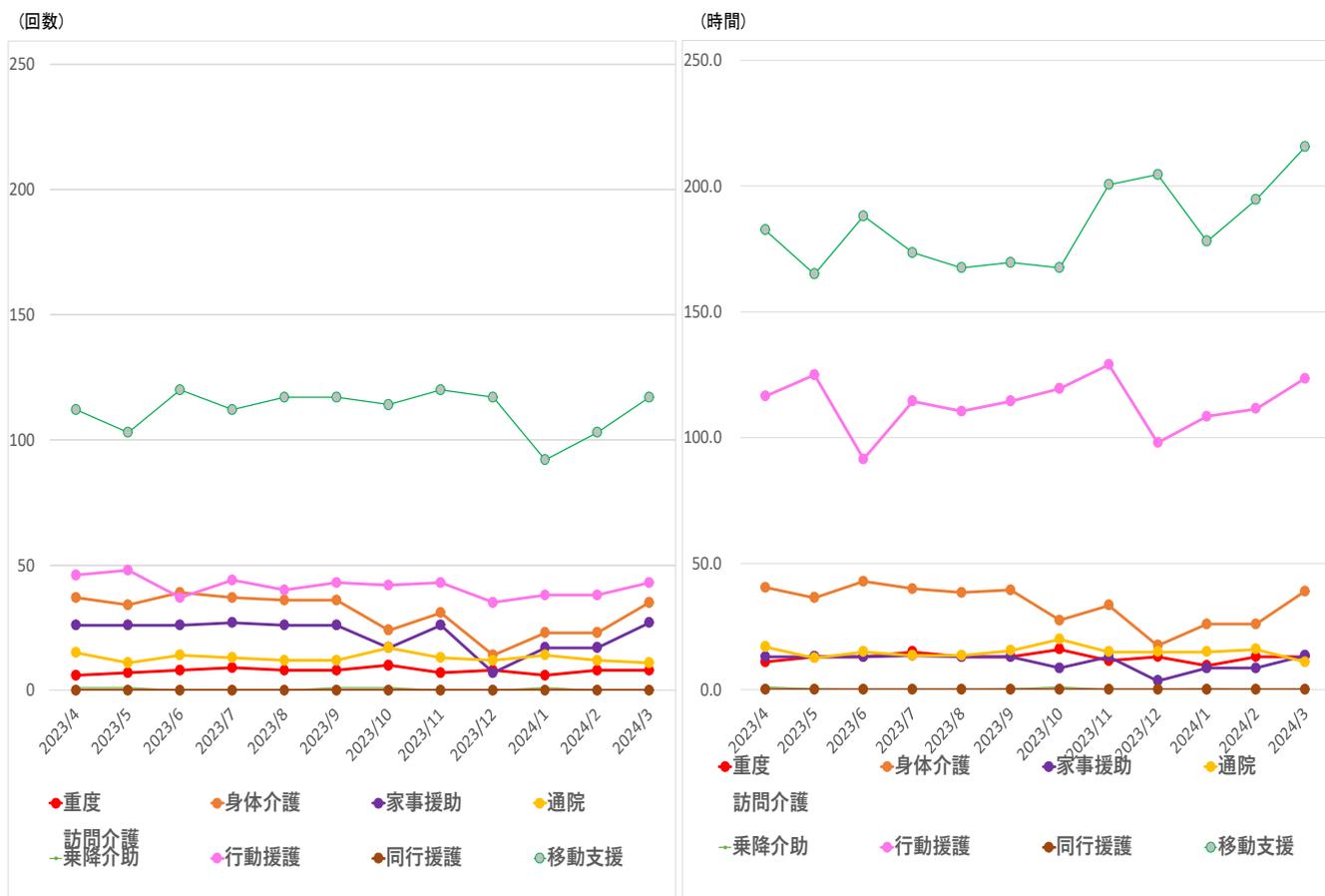
*合計は、24を含めた実契約実数
 *けやき、ホームの数値は両方利用している人も実数1として計上
 *「居宅介護等」=身体、家事、通院、乗降、重訪、行動、同行)の人数

利用実績(居宅介護、移動支援)まとめ

2023年度 月別【居宅支援】【移動支援】実績まとめ

	サービス利用回数									合計	サービス時間									
	居宅支援							地域支援	移動支援		居宅支援							地域支援	移動支援	合計
	重度訪問介護	身体介護	家事援助	通院	乗降介助	行動援護	同行援護				重度訪問介護	身体介護	家事援助	通院	乗降介助	行動援護	同行援護			
2023/4	6	37	26	15	1	46	0	112	243	2023/4	11.0	40.5	13.0	17.0	1.00	116.50	0.0	182.5	381.5	
2023/5	7	34	26	11	1	48	0	103	230	2023/5	13.0	36.5	13.0	12.5	0.25	125.00	0.0	165.0	365.3	
2023/6	8	39	26	14	0	37	0	120	244	2023/6	13.0	43.0	13.0	15.0	0.00	91.50	0.0	188.0	363.5	
2023/7	9	37	27	13	0	44	0	112	242	2023/7	15.0	40.0	13.5	13.5	0.00	114.50	0.0	173.5	370.0	
2023/8	8	36	26	12	0	40	0	117	239	2023/8	13.0	38.50	13.0	13.5	0.00	110.50	0.0	167.5	356.0	
2023/9	8	36	26	12	1	43	0	117	243	2023/9	13.0	39.5	13.0	15.5	0.25	114.50	0.0	169.5	365.3	
2023/10	10	24	17	17	1	42	0	114	225	2023/10	16.0	27.5	8.5	20.0	1.00	119.5	0.0	167.5	360.0	
2023/11	7	31	26	13	0	43	0	120	240	2023/11	11.5	33.5	13.0	15.0	0.00	129.0	0.0	200.5	402.5	
2023/12	8	14	7	12	0	35	0	117	193	2023/12	13.0	17.5	3.5	15.0	0.00	98.0	0.0	204.5	351.5	
2024/1	6	23	17	14	1	38	0	92	191	2024/1	9.5	26.0	8.5	15.0	0.25	108.5	0.0	178.0	345.8	
2024/2	8	23	17	12	0	38	0	103	201	2024/2	13.0	26.0	8.5	16.0	0.00	111.50	0.0	194.5	369.5	
2024/3	8	35	27	11	0	43	0	117	241	2024/3	13.0	39.00	13.5	11.00	0.00	123.5	0.0	215.5	415.5	
年間合計	93	369	268	156	5	497	0	1,344	2,732	年間合計	154.0	407.5	134.0	179.0	2.8	1,362.5	0.0	2,206.5	4,446.3	
月平均	7.8	30.8	22.3	13.0	0.4	41.4	0.0	112.0	227.7	月平均	12.8	34.0	11.2	14.9	0.2	113.5	0.0	183.9	370.5	

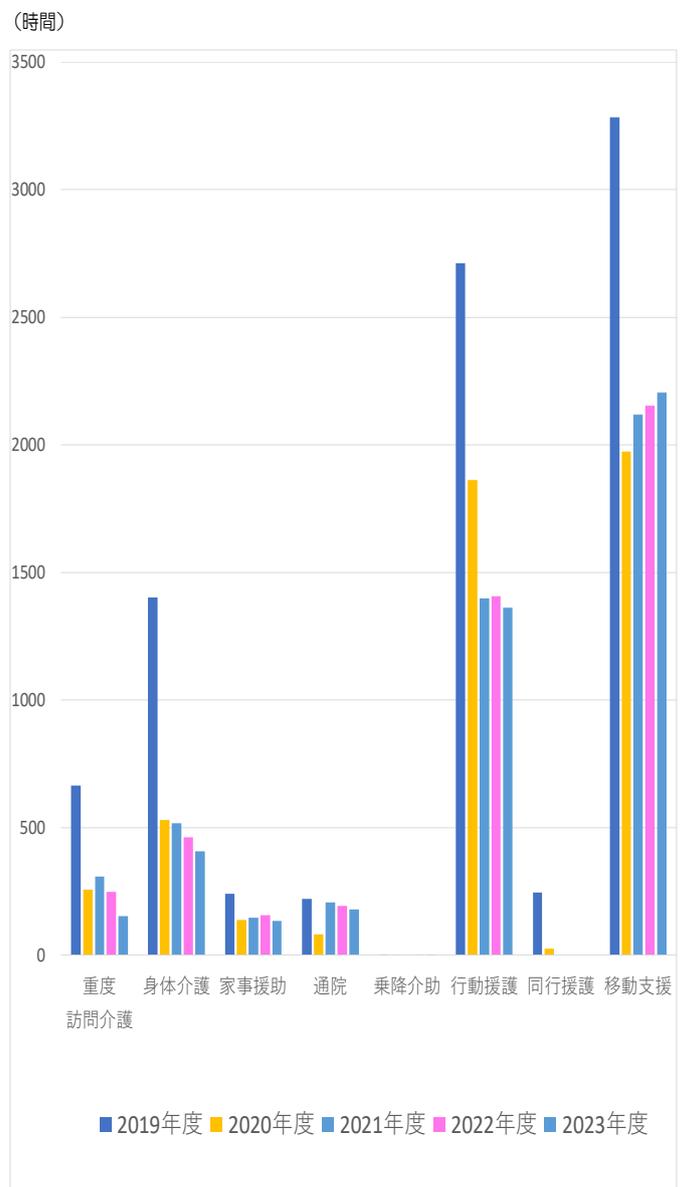
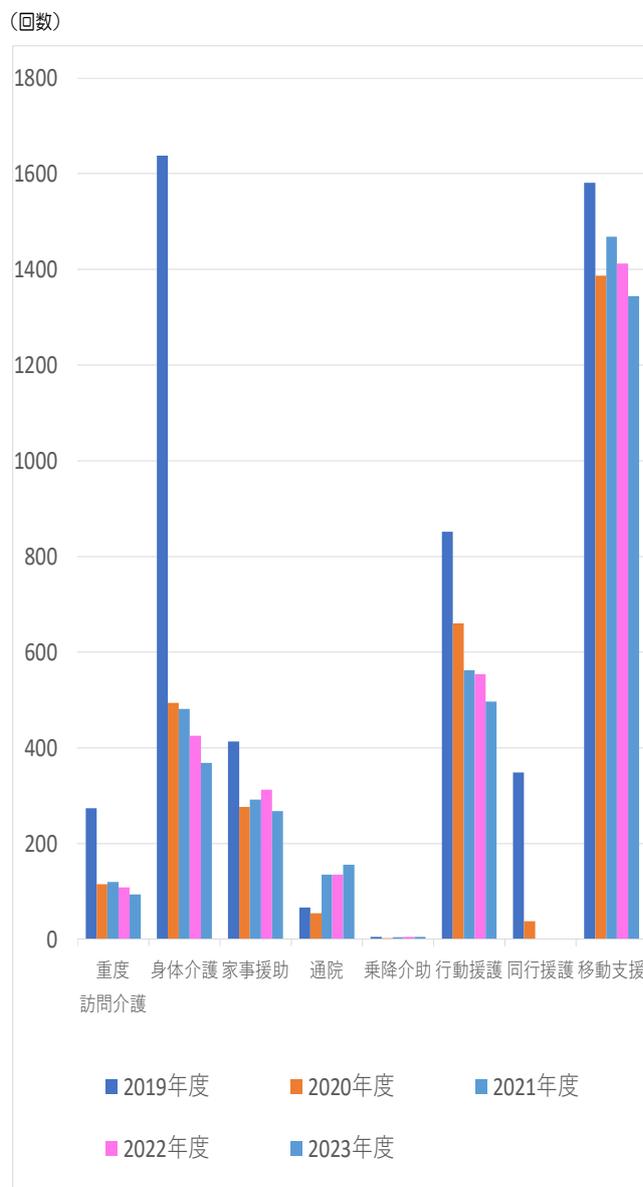
2023年度 月別【居宅支援】【移動支援】実績まとめ



年度別 【居宅支援】 【移動支援】 実績まとめ

(回数)	重度訪問介護	身体介護	家事援助	通院	乗降介助	行動援護	同行援護	移動支援	合計	(時間)	重度訪問介護	身体介護	家事援助	通院	乗降介助	行動援護	同行援護	移動支援	合計
2019年度	274	1637	414	66	5	852	349	1581	5178	2019年度	664.5	1401	240	221	3	2712.5	245.5	3285	8772.5
2020年度	115	494	277	54	3	661	38	1387	3029	2020年度	257	530.5	138.5	83	2.3	1862	25.5	1973	4871.8
2021年度	120	481	292	136	4	563	0	1468	3064	2021年度	308.5	517	146.5	207	1	1398	0	2119	4697
2022年度	109	426	313	136	5	554	0	1412	2955	2022年度	249	463	156.5	194	2	1407	0	2153.5	4625
2023年度	94	369	268	156	5	497	0	1,344	2,733	2023年度	154.0	407.5	134.0	178.9	2.8	1,362.5	0.0	2,206.5	4,446.1

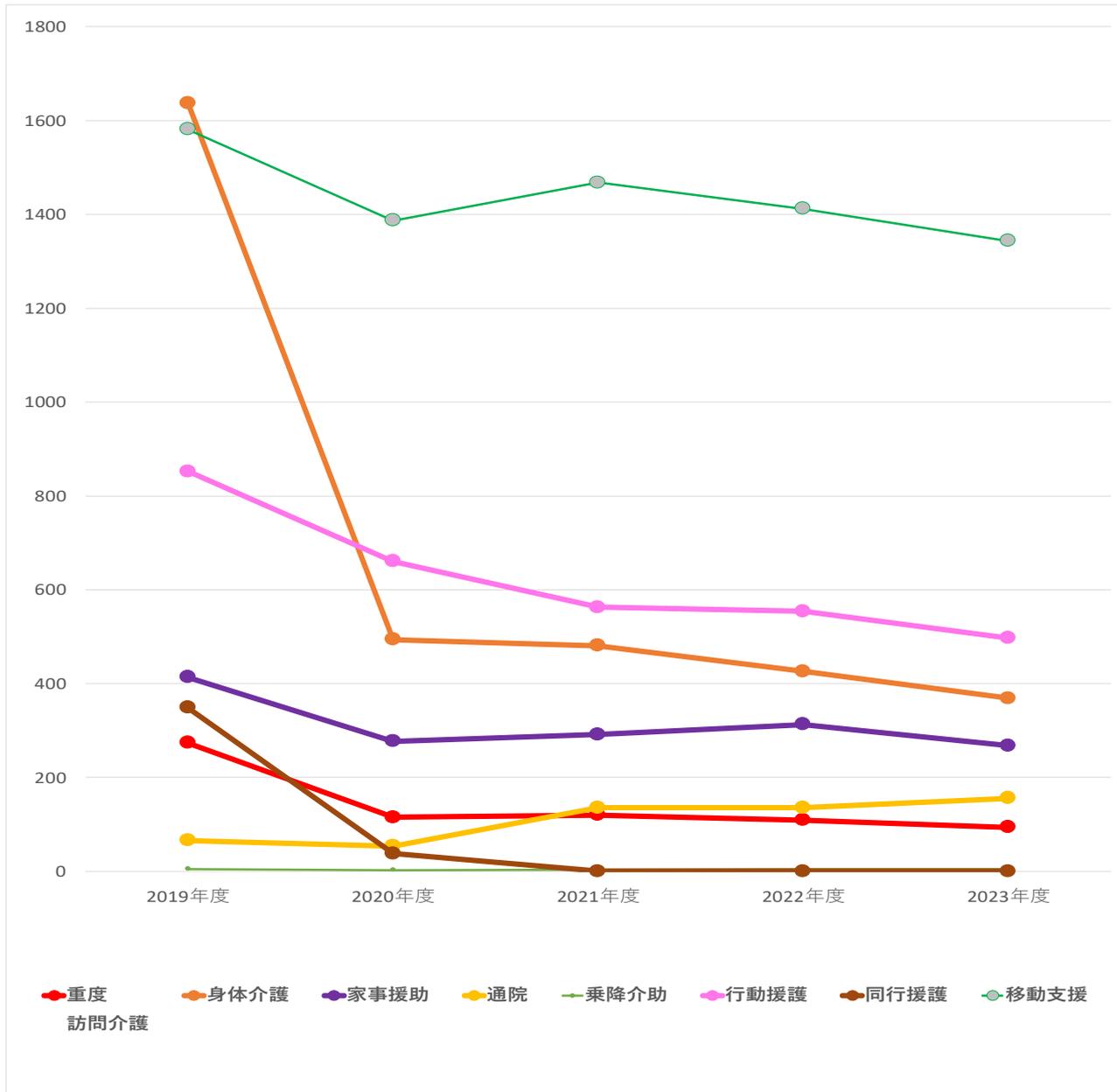
年度別 【居宅支援】 【移動支援】 実績まとめ



年度別【居宅支援】【移動支援】実績まとめ(回数)

	サービス利用回数								合計
	居宅介護							地域支援	
	重度 訪問介護	身体介護	家事援助	通院	乗降介助	行動援護	同行援護	移動支援	
2019年度	274	1637	414	66	5	852	349	1581	5178
2020年度	115	494	277	54	3	661	38	1387	3029
2021年度	120	481	292	136	4	563	0	1468	3064
2022年度	109	426	313	136	5	554	0	1412	2955
2023年度	94	369	268	156	5	497	0	1344	2733

(回数)



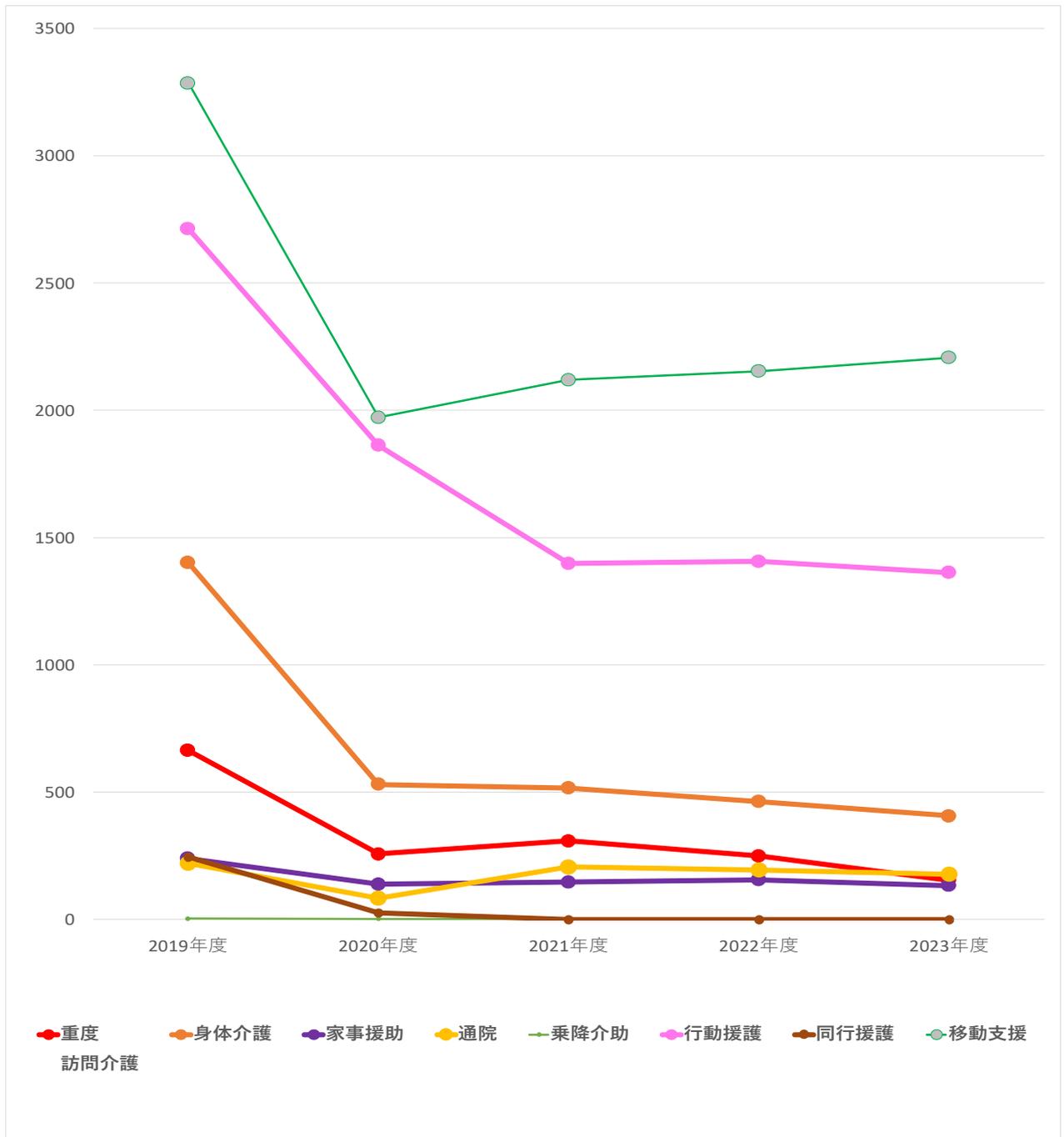
補足

- ・重度訪問介護については、R4.10より利用者が1名となりましたが、毎月ほぼ固定の利用頻度でご利用いただいています。
- ・身体介護、家事援助は利用者の入退院が複数回あり、利用回数が若干減りました。
- ・通院等介助は利用希望が少しずつ増えており、ニーズの高さを感じています。
- ・移動支援、行動援護についてはR4.10の利用者数減少後の利用頻度を維持しています。

年度別【居宅支援】【移動支援】実績まとめ(時間)

	サービス利用時間								合計
	居宅介護							地域支援	
	重度訪問介護	身体介護	家事援助	通院	乗降介助	行動援護	同行援護	移動支援	
2019年度	664.5	1401	240	221	3	2712.5	245.5	3285	8772.5
2020年度	257	530.5	138.5	83	2.3	1862	25.5	1972	4870.8
2021年度	308.5	517	146.5	207	1	1398	0	2119	4697
2022年度	249	463	156.5	194	2	1407	0	2153.5	4625
2023年度	154	407.5	134	178.9	2.8	1362.5	0	2206.5	4446.2

(時間)



補足

・移動支援は利用回数が減少している中、時間数は増加と、1回の支援ごとの利用時間が伸びていることが分かる。

ウ ヒヤリハット、事故報告まとめ

2023年度ヒヤリハットまとめ

発生日	区分	内容	要因	対策	
1	4/3	その他	利用者と移動中、若干の段差があり通過時に利用者がよろけ、そのまま座り込むようになった。	支援者が通過した際は段差を感じなかったが、利用者はバランスを崩してしまい、咄嗟で支えることができなかった。	〇〇するかもしれない。と事前に予防しておくことと、咄嗟でも支えられる位置取り、声掛けによる予防を再度意識して支援に臨む。
2	4/17	対物	利用者と調理をしている最中に、食器が割れてしまった。	いくつかの料理をそれぞれ盛り付けるために、複数の食器を並べていたが、スペースに対して食器を多く出してしまい、滑って1枚割れてしまった。	一度にすべての準備をしようとせず、一つ一つ確実にやっていくようにする。
3	6/6	対車両	支援先の駐車場で、他のスタッフの駐車中の車両に、自身の運転してきた車両が接触。幸いにも傷等はなし。	敷地の段差を越え乗り入れるために、アクセルを踏んだが、踏み込みが強くなってしまい、思っているより勢いよく入ってしまった。	周囲の状況により一層気を付け、無理にやろうとせず、余裕を持った運転を心掛ける。
4	7/13	その他	いつもと違う支援予定でシフト組されていたが、「いつも通り」と思ってしまい、支援先を間違え時間に到着出来なかった。	曜日によって支援が固定と思込んでおり、シフトの確認を怠ってしまった。	自身のシフト表はきちんと確認をするようにし、月によって多少支援予定が変わることがあるので、「いつもと一緒に」と思い込まないように気を付ける。
5	10/9	対物	支援時に利用者よりお預かりした障害者手帳等の入ったポーチを支援終了時に返却し忘れてしまった。	支援中に使用することが無かった為、カバンの奥に入ってしまった、支援終了時に気付かず、忘れてしまった。	預かり品は貴重品が主となる。取り扱いには十分に気を付け、支援終了時には目視にて返却の確認を行う。
6	12/10	その他	移動支援にて外出中、お出かけ先から「動きたくない」と移動できなくなってしまい、支援終了時間になっても帰ることができず、親御さんに迎えに来てもらった。	本人の希望を聞くことで、本人がどんどん固執してしまって、より動けなくなってしまった。固執する前に切り替えができ、移動開始できてたかもしれない。	本人の調子、変化に配慮しながら、この先どうなるかを予想してみる。
7	1/7	その他	移動支援出発後に療育手帳を預かっていないことに気づく。バスや電車を多数利用する支援の為、最寄り駅まで親御さんに届けてもらった。	出発時に他のこだわり等があり、支援者も利用者もそちらが気になってしまい、荷物チェックをないがしろにしてしまった。	支援開始時の荷物チェックは、支援の基本事項の一つの為、必ず行うようにする。また、他ことが気になるようであれば、一旦そちらを処理してから落ち着いて確認すること。

2023年度 事故報告のまとめ

発生日	区分	内容	要因	対策	
1	4/5	対人	支援終了時の報告作業中、支援者が印鑑をいただくために後ろ向きにしゃがんだところ、利用者に脇腹を蹴られた。	利用者からすると、話途中であったり、話しているのに無視されていると感じてしまったようで、怒ってしまい蹴ってしまった。	支援報告中も支援であり、利用者から意識を外さない。利用者の動向を感じられていれば、蹴られることはなかった。
2	10/9	対人	行動支援にて外出中、エレベーターのボタンを押そうとしたところ、利用者が膝からガクッと崩れ、頭頂部をエレベーターのパネルにぶつけてしまった。	ボタンを押しに行く際に、利用者の立位がしっかりしているかの確認が出来ていなかった。	本人のペースで動くことで、転倒リスクは大幅に減らすことができる。また、「手を離す」「どのように動く」などをしっかりと伝え、利用者本人にもその気になってもらう。

2023年度 苦情まとめ

本年度は苦情件数ゼロ

エ 会議、研修一覧

2023 年度 研修 一 覧

技術指導等会議			キャリア別研修&ケース会議		
	主な概要(共通)	内容(会議後記入)	参加者	研修・会議名	内容(会議後記入)
4月	年間計画・個人目標・虐待防止	年間計画			
5月	避難訓練	安全運転・緊急対応			
6月	安全運転・緊急対応	ケース会議	大森・小林・中野・浦和・橋本・北田 森山・鈴木・本橋・青木尚	可児ケース会議	支援方法検討
7月	熱中症・食中毒	熱中症			
8月	障害特性の理解	虐待防止・身体拘束	全スタッフ	虐待防止・身体拘束	法人全体でzoomによる講義
9月	ボディメカニクス	避難訓練			
	安全運転管理者講習	安全運転	児野	安全運転管理者講習	安全に運転業務につくためによるもの
10月	救急法	支援報告、実績入力について	大森	キャリアパス研修(中堅)	中堅職員としての役割と目標
	中堅	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程	大森	キャリアパス研修(中堅)	中堅職員としての役割と目標
11月	感染症と感染予防	救急法	大森・浦和・橋本・森山・本橋・小林 中野・北田・鈴木・青木尚・藤森 その他	救急法	救急救命講習(普通救命講習Ⅰ)
12月	虐待防止について	虐待防止			
1月	アンガーマネジメント	利用者情報共有	大森・小林・中野・浦和・橋本・北田 森山・鈴木・本橋・青木尚	岡島、江口、浜田情報共有	心身の変化や支援内容共有
	管理者研修	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程	児野	キャリアパス研修(管理者)	管理者としての役割と目標
2月	身体機能について	安全運転			
3月	年度纏め、ヒヤリハット	年度纏め			

オ その他(多胎児育児支援事業)

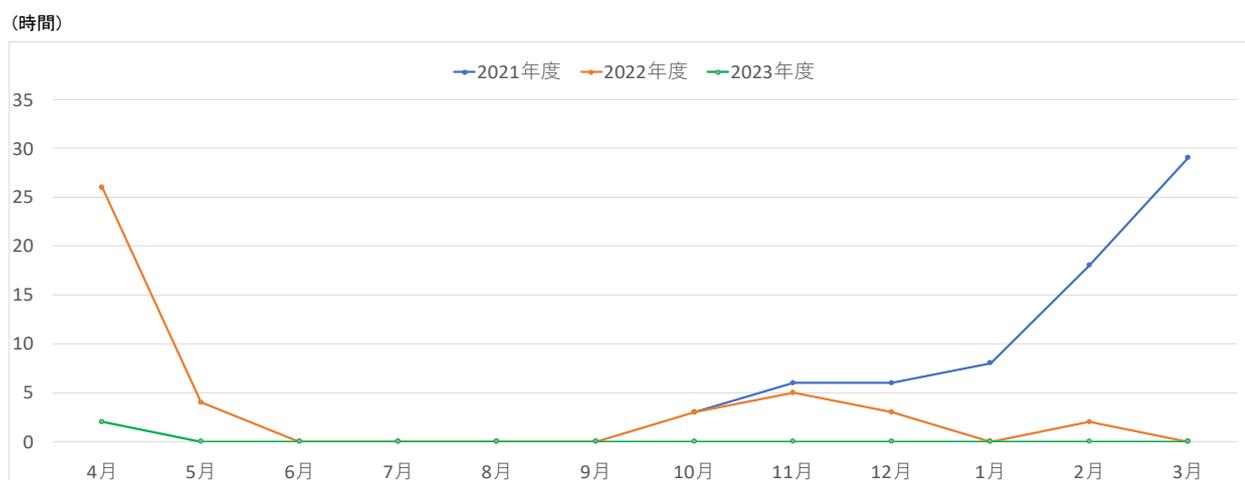
産前・産後ヘルパー派遣事業(旧多胎児育児支援事業)

多胎児育児支援 利用者数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度							1	1	1	2	2	2	9
2022年度	3	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	8
2023年度	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

サービス利用回数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度							1	3	3	4	9	15	35
2022年度	14	2	0	0	0	0	2	3	2	0	1	0	24
2023年度	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1



サービス利用時間													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度							3	6	6	8	18	29	70
2022年度	26	4	0	0	0	0	3	5	3	0	2	0	43
2023年度	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2



今年度より、多胎児育児支援事業は産前産後ヘルパー派遣事業となり、利用対象者が多胎児を養育するご家庭から、出産・育児をされる方へと拡大となった。年間を通して、新規利用の問い合わせは1~2ヶ月に1件程度のペースでいただきました。しかしその相談内容が「単胎児の産後、登園中に炊事家事をお願いしたい」や「玄関回りの草むしりをお願いしたい」などで、事業開始当初の「多胎児を養育するにはお母さん一人では手が足りない」というものから離れてしまっていたり、ヘルパー業務から逸脱してしまっていたりするものが多くなっていった。その為、市役所に事業所への問い合わせ・相談の内容が当初の目的からずれてきていること、お母さんたちへの事業説明をしっかりと行ってほしいことなどを伝えてきた。今後も「手が足りないお母さん」からのご利用依頼には対応していきたいと思っております。

⑤「こんぱす」概要

2023年度 こんぱす 活動報告

ア 総括

令和4年9月に入職したスタッフ（相談員補助）が、本人都合で令和5年6月末で退職されたため7月より1名体制に戻りました。

そのため、約90名の利用者の相談と事務を一人で抱えることになり、オーバーワークにならないよう事務的な部分を法人管理部に振り分けられる範囲で協力を得ながら、相談に専念できる体制を少しずつ整えてきました。

その後、法人内のスタッフが相談支援専門員の資格を得たので、12月半ばから2名体制（常勤1名+非常勤1名）の状態に戻ることができ引継ぎの業務が増えましたが、来年度以降少し余裕がでてくるのではと考えていました。

しかし、法人全体の存続を考えた結果、現在の運営形態の維持は難しく、残念ながら次年度から営業日・営業時間を縮小することになりましたが、引き続き利用者に寄り添った相談を行えるよう努力します。

また、現在任命されている「春日井市地域自立支援協議会」の委員も来年度が最終年になるため、少しでも存在感を残していければと思います。

管理者

相談支援専門員として

コロナが令和5年5月から5類に移行となり、コロナが過去のものになりつつありますが、担当者様に於いてはコロナ禍の数年間が現在も大きな影響を及ぼしているのではと感じた1年でした。施設入所されている方に於いてはご家族と面会や、集団での活動や外出、外泊が制限されていたことで、活動が減り、気持ちがふさぎ込み、意思表示や言葉の発語が減ってしまったのではと感じる方や、施設に入所されていない方でも、様々な活動制限によりストレスや不安で粗暴な行為が増えてしまった方、こだわりなどが増えてしまった方もおられるように感じています。これらのことはあくまでも私の推測ではありますが、担当者様そしてご家族や支援者にとってもコロナの数期間は非常に厳しいものだったと感じています。また相談内容や必要な支援も多様化しており、話を伺うと支援が必要に感じる事でも、障がい福祉サービスの枠内では支援することが難しいケースも多々あり、対応できないこともありました。

令和6年4月からこんぱすの営業時間を短縮することになりましたが、短縮の影響がないように相談業務に励みたいと思います。

相談支援専門員

業務実績の報告

【契約利用者】 2024年3月31日 現在

計画相談支援	障がい児相談支援
80名	10名

1) 新規契約者数 1名 (計画相談支援 1名 障がい児相談支援 0名)

2) 契約終了者数 1名 (計画相談支援 1名 障がい児相談支援 0名)

3) 障がい種別 (手帳種別)

療育 61名 身体 4名 精神 4名 療育+身体 19名 療育+精神 5名 手帳なし 2名

【相談支援の実績】 2024年3月31日現在

サービス利用支援 (計画作成)	継続サービス利用支 援 (モニタリング)	障がい児支援利 用援助 (計画作成)	継続障がい児支援利用援助 (モニタリング)
68	189	11	12

イ 会議、研修一覧

【会議・研修】

こんぱす内会議・研修	6回 (会議 6回)
外部研修	5回 (外部研修 1回 法人内研修 1回 自立支援協議会 3回)

※複数人で参加した研修は1回とする。

【事故報告・ヒヤリハット報告・苦情対応報告】

苦情対応報告 0件

⑥「れすぱ～さくら館」概要

ア 総括

さくら館 2023 年度まとめ

2023 年度は 6 月にスタッフと子供の新型コロナウイルスの感染により、さくら館を閉鎖せざるを得ない状態になり 1 週間お休みをしました。

また、7 月からはスタッフの異動により新しいスタッフ体制になり、3 月には長いことアルバイトに来てくれていた学生さんも卒業され、環境は変わりましたが、子供達なりに理解し順応してきたのではないかと思います。

少しでも時間がある時は、10 分でも公園に遊びに行っていますが、学年が上がるにつれ、6 時間授業の割合が増えたり、クラブ活動があったりと、さくら館に来る時間も少しずつ遅くなってきています。

勉強面では、文章を読み解かないといけない問題も増えてきて、分からなくて泣き出す子や怒り出す子もいます。「残りは家でやってもいいよ」と声掛けしても「ここでやる」という子や「3 つあるから 2 つでもいい？」と交渉する子もいて反応は様々です。

絵の具を使っての創作では、沢山の色を使い過ぎて、暗い絵になってしまったり、手に絵の具がつくのが嫌なため、レゴブロックを使って上手に塗っている姿もみられました。

夏休みの時間がある時には、塩と氷を使って、シャーベットを作ったり、片栗粉と水を混ぜて個体から液体に変わる感触を楽しんだりしましたが、段々と振ったり触ったりすることが、派手になり、床が粉まみれになっていました。

また元々、感覚過敏の子はいたのですが、音に対して不調を訴える子が出てきました。

ピアノが弾きたい子⇔ピアノの音が苦手な子

大きな声で叫びたい子⇔大きな音が苦手な子

イヤーマフが使える子には使ってもらっていますが、使えない子もいますので、部屋を分けたり、音が軽減できるようにドアを閉めたりしています。

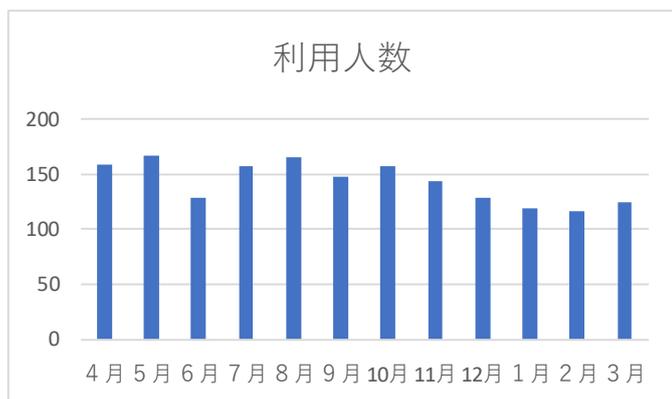
一部の子だけ我慢する状況を作らないようにしていきたいと思います。

管理者/児童発達支援管理責任者

イ 体制

利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数	159	167	129	158	166	148	158	144	129	119	116	125	1718
開所日数	20	20	16	20	20	20	21	20	20	19	19	20	235
1日平均 児童数	7.9	8.3	8	7.9	8.3	7.4	7.5	7.2	6.4	6.2	6.1	6.2	7.3
キャンセル 回数	11	1	8	3	3	12	8	9	14	18	21	23	131



2024年3月時点 登録児童12人

2021年度年間利用人数・・・1631人
2022年度年間利用人数・・・1697人
2023年度年間利用人数・・・1718人

学年別児童数

	小学1年～3年	小学4年～6年	中学生	高校生	計
支援学校	1	3	0	2	6
支援級	4	2	0	0	6

		2023年4月		2024年3月	
		人員	常勤換算後人員	人員	常勤換算後人員
管理者	常勤	1	0.5	1	0.5
児童発達支援管理責任者	常勤	1	0.5	1	0.5
児童指導員	常勤	1	1.2	1	2.2
	非常勤	1		4	
保育士	常勤	1	1.3	0	0.4
	非常勤	1		1	
指導員	常勤	0	0.2	0	0
	非常勤	5		1	

ウ ヒヤリハット、事故報告まとめ

2023年度 ヒヤリハット

発生日	経緯	原因	対策
4月11日(火)	公園から帰る時に、1人で公園から出て道路を渡ろうとする	テンションが高く、公園に行く前の室内でもソワソワしている状態だった。	落ち着いた状態で外に出られるように公園から出てしまう可能性がある事を再周知する。
4月11日(火)	トイレに入っている児童に気付かず1人残してしまう	スタッフの連携不足、確認不足。	最後に出る人は、残っていないか確認してから出る
5月8日(火)	公園から帰る時にスタッフの所に行って戻りを繰り返していたが、少し車道にでてしまう。	追いかけると逃げる遊びになってしまっていた。	本人に帰る時は遊びでないことを公園に行く前にはしっかり伝える。
5月23日(火)	段差から大きめの石を落とす	石を落とす遊びになってしまっていた	遊びとして定着しないように注意していく
7月4日(火)	腰ぐらいの高さの窓を開けていた。(外に出ていってしまう可能性がある児童)	遊びとして開けていたかもしれない。会談にある柵を乗り越える事が出来てしまったので、同じような動きが癖になってしまったのかもしれない。	ロックを厳重にする。死角になりやすい場所にもなるので、利用者の所在とともに注意を払う
7月18日(火)	スタッフがロッカーを開けた時に立ち上がり、扉に肩をぶつけてしまう	スタッフの連携不足、確認不足。不注意	子どもの所在の確認や行動を予測し、安全を確保する。

2023年度 事故

7月6日(木)	自転車と送迎者が接触	運転者の確認不足	歩行者や自転車が出てくるかもしれないことを考えた運転をする
8月31日(木)	子どもが足を上げて壁にぶつけたところ、壁が壊れてへこんでしまう。	同じ部屋にいた児童が音などが不快だったのか突発的に怒ってしまった。	音が苦手になってきている為、他の部屋に誘導したり、イヤークフなどの備品を準備する。
1月17日(水)	玄関から外に出ていったしまう	1人になりたかったのか涼しい所に居たかったのか室内と玄関の間にあるドアを閉めて過ごす。玄関が施錠しておらず、柵を乗り越える事を想定していなかった。	施錠を3箇所すること、ドアが開いたときに鳴る防犯チャイムを設置する。1人になりたい時は、他の場所を提案する。
3月11日(月)	車とガードパイプが接触してしまう	交差点でハンドルを切りすぎてしまった。	内輪差を考慮して運転に注意する

エ 会議、研修一覧

2023年度 研修

年間研修	テーマ	内容	場所
4月	さくら館で大切にしていること	接し方の共有	さくら館内
5月	子どもの心・体・性の成長変化	発達段階アセスメントシート	さくら館内
6月		開催できず	
7月		開催できず	
8月	虐待	身体拘束について	さくら館内
9月		開催できず	
10月		開催できず	
11月		開催できず	
12月		開催できず	
1月	てんかんについて	てんかんについて	さくら館内
2月	障がい児の虐待について	児童虐待について	市役所
3月		開催できず	

オ その他（評価表）

放課後等デイサービス自己評価表

回答率 在籍職員数8人、回答職員8人 回収率100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	5		来所人数によっては窮屈かも使えるスペースを使い切って、パーソナルスペースを保っている
	2	職員の配置数は適切であるか	6	2		基準は守れているが個別に対応する場面があると難しい時も
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2	1	現状では肢体不自由の利用者はいない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1	5	2	支援目標や課題等についてスタッフ全員で話し合う場は作れていない
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	3		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	7		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1		ただ、もう少し研修があってもいいかなと思う
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	7		話し合う場をあまり持たれていないこともあり、話せたときに話す
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	4		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	4		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	4		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	5		なるべく話すようにしているが、時にはその場で伝えることもあります
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	5	1	毎日ではないが、気になったことを話し伝え次回に結びつけています 支援後では時間がない、その日の活動報告には気付いたことを書いてはいる
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	3		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	3			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	3		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	2	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	5	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3	1	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	4	公園で遊びに行く時は近所の子も交流があります
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	4	2	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	3		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		7	1	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	4		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	3		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6	2	そこまでの交流がないですが、交流を望まれる方には話をすることもあります
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	4		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	3		
	35	個人情報に十分注意しているか	7	1		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	2		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	3	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	4		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	2		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	3		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	4		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 4月 18日

アンケート期間： 2023年 2月 1日～2024年 1月 31日

事業所名 れすぽ～さくら館

保護者等数(児童数)10名(12名)回収数 11 割合 91%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	3			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	3			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	3			
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	8	3			
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	4	7			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		2	9	春日井市は就学前は、ごちゃ混ぜ保育なので交流機会はありました。就学後は支援学校とデイ以外の居場所はなく、閉ざされた中で暮らしている間隔はあります。と言っても何かイベントをやらせてもらえたとしても、うちの子は不穏になっちゃうタイプなので、更に難しいです	
保護者 への 説明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	3			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	3			
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	3			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	8		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2			
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	4			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	5			
非常 時 等 の 対 応	14	個人情報に十分注意しているか	11				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2	6	3		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	5	3		避難訓練は行われているが、報告が漏れていたため情報発信していきます。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	9	2			
	18	事業所の支援に満足しているか	8	3			

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

⑦「れすば24」概要

れすば24とは
<p>利用目的として次のようなケースが考えられますが、しょうがいを持つ方やご家族が必要とする場合であれば特に理由は問いません。都度相談してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイ、デイサービス、ホームヘルプなどの公的な福祉サービスが利用できない場合（障害福祉サービス契約外支援） ・冠婚葬祭に出席する時の付き添い、ご家族が冠婚葬祭などで留守の時の預かり ・レクレーション活動 ・移送サービス

「れすば24」について

制度上、移動支援等の支給で外出ができない方の外出支援希望を、定期的にいただいており年間を通して支援がありました。また自宅療養の見守り依頼やご家族の急病等による緊急依頼もあり、都度法人全体で相談しながら対応させていただきました。「困った時のれすば24」ということで様々な相談をいただいておりますが、法人全体の協力もあり、お断りすることはなく対応することができました。福祉有償運送については、移動支援・行動援護が徐々に元の形を取り戻しつつあることや、通院等介助の依頼が微増していることから、昨年度に比べ増加しました。

担当

れすば24

	登録会員数		支援回数		支援時間		宿泊利用回数	
	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度
4月	37	36	11	2	25.5	4.5	0	0
5月	37	37	8	12	33.25	28.75	1	0
6月	37	37	1	8	2	15.25	0	0
7月	37	37	5	8	18.75	21.25	0	0
8月	37	37	4	18	10.5	54.55	0	0
9月	37	37	6	13	18	28.75	0	0
10月	37	37	4	10	12.5	21.25	0	1
11月	37	38	5	20	18	56.5	0	0
12月	38	38	6	12	12.75	30	0	0
1月	38	38	7	19	23	56	0	0
2月	38	38	5	16	8.75	40.75	0	0
3月	39	38	8	21	15	41	0	0
合計	39	448	70	159	198	398.55	1	1

福祉有償運送実績データ

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
登録自動車数 ()は軽	公用車(台)	8 (4)	8 (4)	9 (4)	10 (4)	10 (4)	10 (4)	10 (4)
	マイカー(台)	3 (2)	3 (2)	3 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (0)
登録運転手(人)		13	13	15	18	22	22	22
登録利用者数 ()は重複	身体障害	8 (7)	10 (9)	10 (9)	7 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)
	知的障害	41 (7)	43 (10)	42 (10)	40 (7)	37 (7)	39 (7)	39 (7)
	精神障害	0	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
運送実績	実走行距離(km)	16,132	11,537	12,698	11,094	12,413	10,514	12,183
	輸送回数(回)	1,440	1,241	1,179	1,153	1,335	923	1,022
	輸送人員(人)	1,255	1,241	1,179	1,153	1,335	923	1,022
	収受金額(千円)	2,756	2,657	2,062	1,713	1,925	1,707	1,921
交通事故件数		0	0	0	0	0	0	0